

令和5年度  
飯田OIDE長姫高等学校

地域人教育 活動報告集



長野県飯田OIDE長姫高等学校  
Iida OIDE Osahime High School

商業科

## 「研究」とは

校長 松原 均

地域人教育は旧飯田長姫高校時代の平成 24 年の飯田市、松本大学、旧飯田長姫高等学校との三者協定に端を発し、旧飯田工業高等学校との再編統合により平成 25 年からは飯田 O I D E 長姫高等学校に引き継がれてきました。「地域人とは地域を『愛』し、地域を『理解』して、地域に『貢献』する人財(たから)」と定義されています。飯田市、松本大学、本校が相互の教育方針や人材育成を尊重しながら協働し、相互により高い成果をあげられることを、10 年後を見据えて、住みやすく暮らしやすい地域の在り方を創造できる人材育成を図ることを目指しています。



今年も 10 の班が地域人教育の活動を行ってきました。それぞれ課題と向き合い、生徒たちの感覚で解決方法を考えてきました。地域人教育にとって肝要であるのは、テーマ設定と問いを立てることではないかと思えます。問いを立て仮説に添って解決策を立証します。その問いは課題解決につながっていなければなりません。課題解決には時間と労力が必要です。立てた問いは高校生が手に負えるものなのか、時間的制約はないのか見定める必要があるのです。課題の答えが調べれば分かるものであれば、調べて答えを発表すればいいわけです。そのような課題は「探究学習」のテーマとしてふさわしくないはずですが。答えのない課題や対策を施さなければ解決しない課題が設定されなければなりません。地域人教育に携わる 3 年生には研究期間が最大 1 年間と限られています。その間に解決すれば良いのですが、途中で終わってしまい後輩に受け継ぐ研究となる場合もあるでしょう。高校生が手に負えるテーマであること、仮説を立て検証することができるものであることが必要です。自ら立てた問いが課題解決に繋がるものであるのか、仮説や考察が重要となってきます。

地域人教育は授業スタイルとして意欲があれば何でもできるような気がしますが、かなりの制約の中で研究が進行します。このような環境で研究をやり遂げることが探究学習の醍醐味ではないかと考えます。自ら考え、論理的に検証し、実証や証明する。すべての事象を与えられた情報を鵜呑みにするのではなく、自ら論理的に考え、答えを導く力や常識を疑う力。これも研究を進めるうえでの原動力となるでしょう。これらの力を養うことがいずれの教科でも必要となってきます。今年のテーマはいかがであったでしょうか。研究成果をご覧ください、ご指摘いただけると幸いです。

## 地域を知り、自分の生き方を考えよう

飯田市長 佐藤 健

12月の成果発表会では、素晴らしい発表を聴かせていただきありがとうございました。年間の活動のまとめを拝見すると、皆さんが多くの学びを得られたことが伝わってきます。私の高校時代には、このようなプログラムが無かったため、改めて、地域人教育を通じて様々な経験を重ねた皆さんを羨ましく思います。



地域人教育は、日本全国どこでもできるかという、実はそうではありません。「ムトス」の精神と、「結い」の力を持つ飯田において、地域の皆さんが自分たちの暮らしをより豊かにしようと自ら考え行動し、協働した自治の活動が展開されています。飯田市としても、市内20地区に公民館を設置し、地域の皆さんの自治の活動を支援しています。このような自治と学びの土壌、まさに飯田らしさを生かしたプログラムこそが地域人教育なのです。飯田の自治に触れ、地域の人との関わりや協働を通じて地域を知り、自分の言葉で地域を語り、そして、これからの自分の生き方を考えるというこのプログラムで得たことは、皆さんの今後の大きな財産になると思います。

今年度、3年生の皆さんには、私が考える飯田市の魅力やこれからの飯田市像などについてお話ししました。「日本一住みたいまち飯田」を創っていくために、飯田の自然風土、文化、先人たちが築いてきた暮らしの豊かさを守っていくこと、目指すべきはそういうこの地域の良いところ(らしさ)と利便性、先進性を兼ね備えた「上質なローカル」であると申し上げました。地域人教育を経験した皆さんは、きっと、この地域の「らしさ」を実感し、地域の皆さんと共に暮らしの豊かさを守り創っていく活動ができたと思います。この取組を通じて、仲間の「らしさ」を認めながら、あなた「らしさ」について見つめ、今後の自身の生き方を考える機会になればと願います。ぜひ、この経験を今後の人生に生かしていただきたいと思います。

最後に、皆さんのこれからのご活躍をご祈念申し上げますとともに、お世話になった地域の皆さん、先生方のご努力に敬意とお礼を申し上げます。

## 自由を担保する

りんご並木ネットワークコーディネーター 桑原利彦

地域人教育の成果発表会に参加し今年度も生徒たちにとって多くの学びの場となったことを実感しました。また地域の人たちにとっても多くの学びがあったことと思います。



双方にとって有意義な取り組みですが、その場を提供する立場の一人として最近思うことは自分の高校生の頃と今の生徒たちが置かれている環境にとっても大きな違いがあるということです。世の中がIT化とともに進歩した半面、やってはいけないことがとて多くなった・・・禁則でがんじがらめという感さえあります。

シニア世代の人たちは、我々は魚とりや石けりや色々な遊びを自分たちで工夫して楽しんだものだと言います。今の子どもたちはそれができないと・・・しかし周りを見てみれば、川で遊んではいけない、道路で遊んではいけない、刃物は使うな・・・など、自由にできることが本当に少ないのです。大人が居ないとやってはいけないことも多い。そんなことを考えるとこの取り組みもまた違った意味を持っている様な気がします。生徒たちがものを考え実行するうえにおいて、できる限りの自由を地域や関わっている人たちが担保してくれているということです。色々なことに挑戦したり試すことができる、失敗してもその先がある。まさにトライ&エラーを実現できる場でしょう。大人たちとの係わりが最も少ない高校時代においてのこの取り組みはやはりこういった意味からも大切だということ強く感じます。

自分自身もいまだにトライ&エラーの繰り返しですが、様々なことに取り組む際に心がけていることが三つあります。

まず一つ目に『楽しいことしかやらない』。これはけっして『楽』ということではなく、たとえ苦勞であってもやりがいや意味を感じることで楽しめるということ。

二つ目は『それを独り占めしない』。仲間を巻き込んでみんなで苦勞したり楽しんだりということ。

三つ目は『悲しむ人を作らない』。正しいと思っててもそれを悲しいとか辛いとか感じる人ができてしまうとしたらどこかが間違っていると判断する。

言うは易しで案外難しいことですがこんなことを生徒たちにも是非とも勧めたいと思います。

ますますの楽しい地域活動につながることを願って！

## 深化する地域人教育

松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋

12月の地域人教育成果発表会では、3年生の1年に亘る地域での活動についてその成果を発表して頂きました。発表はどれも素晴らしいものばかりでしたが特に2つの点において地域人教育の意義を再認識することができました。

ひとつめは、継続的に地区に関わり、その地区やそこに住む住民の抱える課題や歴史、文化など地域を深く理解したうえで、実践活動に取り組んでいる点です。大学生や高校生がブームのように地域を訪れ課題解決を図るという取組が数多くありますが、地域のことをきちんと理解する、あるいは理解したいと思うかと言えばそうではなく、地域からすればいらぬお節介だったりすることもあります。先生と主事さんのサポートもあって、人々の暮らしに寄り添い肌感覚で地域を理解し、時には外からの視点で地域を俯瞰することでそこに住む人が気づかない課題も把握する姿に地域人教育の深まりを感じることができました。



ふたつめは、住民や企業、行政などが高校生を育てていこうという意志が伝わってきたことです。若者に過度な期待をせず、彼らのペースにあわせ、暖かく高校生を迎い入れる飯田の地域力の高さに今更ながら感心しました。高校生が失敗したり挫折しながらも柔軟に方針転換をして最終的には満足の得られる成果をあげることができたのは、地域の方々が若者を育てるという地域人教育の意味を理解し、当事者として関わっていただいたからではないでしょうか。学校の地域貢献でもなく、地域の学校支援でもない、学校と地域が連携して地域の未来である若者を育てる取り組みとして地域人教育が今後ますます発展していくことを期待しています。

## 新たな価値観に基づく「地域人教育」

松本大学地域づくり考房『ゆめ』専門員 大野 整

いわゆる昭和的な古い価値観の中で引き起こす問題が、教育やスポーツ・企業・芸能・政治など多くの分野で多発しています。「不易流行」という言葉がありますが、「不易」という言葉は古い価値観に固執することではないはずです。今松本市は大手ショッピングセンターの撤退問題で揺れています。ここでも一極集中で成長してきた今までの経済システムが、地方に大きな課題を投げかけています。「地方の時代」と言われて久しいですが、なかなか地域が経済的に自立することは困難です。魅力ある地域の資源を活かして地域の中でお金が還流できる新たなシステムがますます重要になってきています。では高校生は地域に対して何ができるのでしょうか。大それたことなどできないかもしれませんが、地域に興味や愛着を持つことで地域に向けて目を開くことはできます。「知る→参画する→解決する」、この流れは知識から知恵への価値の転換でもあります。知識はインプット型、知恵はアウトプット型から生まれます。今までのような知識をインプットするだけでは生きる力を培うことはできません。「地域の課題を解決する」といった言い回しはとても烏滸がましいです。しかし知識を知恵にしてアウトプットできれば、それは新しい価値観に基づく生涯の学びになる教育です。「地域人教育」は、多くの高校生が将来にわたって夢をもって充実した生き方をするための新しい学びであると期待しています。



## 飯田 OIDE 長姫高等学校地域人教育発表

松本大学地域づくり考房『ゆめ』専門員 倉田 吉春

「空き家問題」「若者が集まらない問題」「人口減少」「地域活性化問題」などの課題を何とかと知恵を絞り、地域の人、公民館の皆さんと共有し、積み上げてきた地域人教育が、高校生によって新たな風を吹かせているようです。リンゴ飴、竜峡小梅、カレンダー、夢をかなえる切符、リアカー販売、スマートグラスを使った謎解きゲーム、縁日と獅子舞、パンにピザ体験、観光プラン作り、特産品を使った商品開発とできることを一生懸命取り組んできた成果が見られました。イベントや商品の中には地域の人々の温かい思いも込められているように感じました。



今回の発表を見て、伝統という縦の関係と学年全体の協力という横の関係、そして、他学科の先生の知恵、企業さんのお力を借りているところが、研究を争うのではなく協力して高め、飯田市のために取り組もうとする姿勢に何かレベルの高い雰囲気を感じさせてくれました。またそれが高校生皆さんの良い経験と自信を育て成長させていることに驚かされました。この日の表情は、4月当初に比べると明らかに違っているように感じました。

最後にこれからは「行政と市民がデータを活用していく社会」になると言われていますので「データは利益を生む宝です」現状分析だけでなく予測に使えるようになります。ハードプラスソフトの工夫で課題解決ができる時代が来ると思います。研究の更なる発展に向けて後輩に繋げていってくれることを期待します。

# 令和 5 年度 飯田OIDE長姫高等学校「地域人教育」活動報告集 目 次

巻頭言〈飯田OIDE長姫高等学校長 松原 均〉	1
飯田市長より	2
地域の方より	3
松本大学より	3
地域人教育とは	6
地域人教育の取り組み	12
1 学年「地域人教育」	13
2 学年「地域人教育」	14
3 学年「課題研究」各グループの活動報告	
年間計画	15
丸山地区	16
座光寺地区	26
羽場地区	36
中心市街地	46
鼎 地区	56
龍江地区	66
飯田今昔	76
全 市	86
上郷地区	96
続・空き家	106
地域人教育成果発表会	116
資 料	123
推進委員	136

# 地域人教育とは

## 飯田OIDE長姫高等学校「地域人教育」沿革

2012年(平成24年)	4月18日	飯田長姫高等学校・松本大学・飯田市による パートナーシップ協定調印式 於：飯田市役所
2012年(平成24年)	4月18日	「地域人教育」開講式(商業科1～3年生240名が参加)
2013年(平成25年)	4月1日	飯田工業高等学校と飯田長姫高等学校 統合 →「飯田OIDE長姫高等学校」となる
2013年(平成25年)	4月26日	飯田OIDE長姫高校・松本大学・飯田市による パートナーシップ協定調印式 於：飯田市役所
2015年(平成27年)	5月9日	飯田市長牧野光朗氏による特別講義(商業科3年生が参加) 以降、毎年4～5月に講義を実施
2015年(平成27年)	12月25日	「地域人教育成果発表会」の開催 於：鼎文化センター 以降、毎年12月下旬に同様の発表会を実施
2016年(平成28年)	4月20日	長野県教育委員会「21世紀型教育モデル校」に指定される
2017年(平成29年)	4月26日	地域人教育推進委員会を組織する。以降、定期的に会を開催
2017年(平成29年)	6月23日	飯田下伊那地域 地域おこし協力隊員による講義
2017年(平成29年)	11月16日	第25回全国高等学校生徒商業研究発表大会 参加及び見学 商業研究部による飯田水引の研究が「優秀賞」に選ばれる (商業科1～3年生約240名が参加) 於：ホクト文化ホール
2017年(平成29年)	11月24日	文部科学省職員視察調査 高校生を対象とした学校教育と社会教育が連携した教育実践
2018年(平成30年)	1月11日	第11回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等 文部科学大臣表彰
2018年(平成30年)	8月20日	文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革の推進」 全国の先進的な事例として紹介される
2019年(平成31年)	4月3日	文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業 プロフェッショナル型」に採択される(令和3年度まで)。
2019年(令和元年)	8月	ベネッセ教育総合研究所月刊誌『VIEW21』にて紹介される
2020年(令和2年)	1月24日	長野放送「信州・学びの改革～主体性・協働性・創造性を育む」 にて紹介される
2020年(令和2年)	2月	リクルート進学総研月刊誌『キャリアガイダンス』にて紹介される
2020年(令和2年)	3月～5月	新型コロナウイルス感染症予防対策による休校措置 学校再開を見据えた「Ready for 地域人教育」の実施
2020年(令和2年)	4月24日	書籍『地方創生の地域経営』(金融財政事情研究会)にて地域人 材育成の事例として地域人教育が掲載される
2021年(令和3年)	4月16日	飯田市長佐藤健氏による特別講義(商業科3年生が参加)
2021年(令和3年)	5月15日	二宮書店発行社会科教育に関する機関誌『地理月報』にて地域連 携学習の事例として地域人教育が紹介される
2021年(令和3年)	7月28日	進研アド発行高等教育情報誌『Between』にて地域連携及び高大 連携の事例として地域人教育が紹介される
2021年(令和3年)	11月25日	第29回全国高等学校生徒商業研究発表大会 参加 「新時代に目指すべきビジネスモデルの構築」の研究にて「奨励 賞」を獲得
2023年(令和5年)	2月19日	信越放送「虹の道標 地域協創スペシャリストを目指して ～飯田OIDE長姫高校統合創立から10年～」にて紹介される

# 地域人教育

飯田OIDE長姫高校で展開している「地域人教育」は、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育み、地域活性化や地域社会に貢献できる人財を育成する教育プログラムです。飯田市と松本大学と飯田OIDE長姫高校は2012年に協定を結び、互いに協力しあって「地域人教育」を進めています。

伸ばしたい力 → **自分で考え、行動できる力**

学ぶ力  
探究力

人間性  
社会性

愛郷心  
故郷への誇り

育てる人財像 → **地域の産業、暮らしの中核を担うリーダー**

地域のヒト・モノ・企業をつ  
なぎ、仕事を創る職業人

地域資源を生かした新ビ  
ジネスの起業家

地域活動に参加し暮らしと  
文化・伝統を支える社会人

住民・企業と協働して課題  
に取り組む行政リーダー

## 3年間の学習の流れ



地域の専門家から  
現地で学ぶ



大学の先生から  
地域について学ぶ



調査、分析したポスター  
を制作。公民館の  
主事さんへ報告



地域の方とのイベント  
準備、実施



フィールドスタディ  
(地域の方に聞く)



地域の魅力、課題を  
まとめる、発表する

### 1年次 目標 地域を知る

#### 講義

##### 地域探究入門

大学の先生による当  
地域を知るための講  
義のほか、探究学習  
が必要となる問題の  
気づきや解決の手法  
について学びます。

#### 実践

##### フィールドスタディ

松本市と飯田市の  
中心市街地にて、街  
の人から地域の魅力や  
課題を教えてもらっ  
るとともに、自分たち  
でも発見をします。

学びの積み上げ

### 2年次 目標 地域の未来を描く

#### 講義

##### 地域探究基礎

地域の見方・考え方  
に関する講義のほか、  
調査のための技法、  
チラシやポスターの  
制作、プレゼンテー  
ション技法について  
学びます。

#### 実践

##### 地域イベント参加 インターンシップ

地域イベント（運営  
者として参加）、イ  
ンターンシップなど  
での交流から、世代  
を超えた協働とコミ  
ュニケーション力を  
磨きます。



インターンシップに  
て働く人から実践的  
に学ぶ



地域の方と一緒に  
イベントを運営する

### 3年次 目標 地域の課題解決 に向け行動する

#### 実践

##### 企画・実践・ふりかえり

地域の方の協力のも  
と、発見した課題の  
解決に向けた企画・  
実践をします。その  
後、自分たちの成長  
や地域の変化などにつ  
いて地域の方と一  
緒にふりかえります

#### 発表会・報告集

##### 地域への感謝

自分たちの活動の集  
大成として、発表会  
の実施と報告集を制  
作します。ここには  
お世話になったたく  
さんの地域の方に対  
する感謝の思いが込  
められています。



地域を盛り上げる取組  
(お祭り、こども食堂等)



地域の方を招待する発表会  
(12月 鼎文化センター)



日常を明るくする取組  
(カレンダー制作、地下  
道の防犯等)



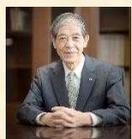
地域での取組をまとめた  
活動報告集(3月発刊)

地域人教育成果発表会

学びの積み上げ



飯田市  
佐藤 健 市長



松本大学  
菅谷 昭 学長

「ムトス」の精神が息づいた飯田では、地域の皆さんが自らの暮らしを自ら切り開く、自治の活動が展開されています。地域人教育を通して、地域で活躍している様々な住民の皆さんと出会います。その体験の中で、ムトスの精神を引き継ぎ「自分で考え、行動できる力」を育み、「地域の産業、暮らしの中核を担うリーダー」となっただけの事を期待しています。

飯田OIDE長姫高等学校、飯田市、本学による先見性に富む「地域人教育」の取組みは、今日、わが国の最大にして且つ未だ方向性の定まらない課題の一つである、少子高齢化に伴う人口減少問題の解決に向け、重要な示唆を与える方策と思います。今後、本取組みが地方の人口増加並びに再生・活性化を促す“地方創生モデル”に繋がることを期待しています。松本大学も、若年世代の「出生地定着増促進大学」として更なる努力を重ねて参ります。

# 人材サイクリル構築に向けた取組事例 「地域人教育」

## 地域人

地域を「愛」し、「理解」して、地域に「貢献」する人材

平成24年度に飯田長姫高校(現 飯田OIDE長姫高校)・松本大学・飯田市の3者によるパートナーシップ協定を締結。

### 地域人教育の目的

- 1 地域人教育を通して結ぶ力を学び、地域理解を深め、地域での生き方を考え、地域愛を育み、地域において活動ができる地域を担う人材を育成する。
- 2 10年後を見据えた、住みたい、暮らしやすい地域のあり方を創造する人材を育成する。



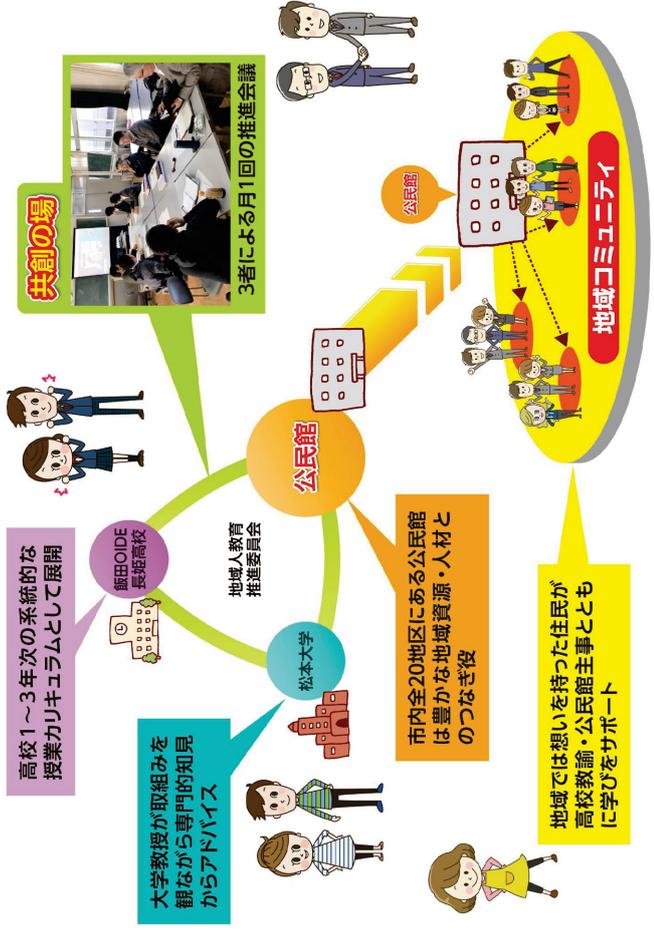
### パートナーシップ協定のイメージ



### 事業展開



# 地域人教育の仕組み



## 地域人教育のカリキュラム

学年	科目	学習内容
1 学年	【基礎】 地域人教育 (1単位・3.5h)	* 講義・演習 外部講師による講義 ワールドスタディ (松本市、飯田市)
2 学年	【応用】 地域人教育 (2単位・7.0h)	* 地域でのイベントの運営サポート "りんご並木まつりネットワーク"に参加 年間6回程度イベントの運営サポート インターンシップを連携企業で実施
3 学年	【実践】 課題研究 (3単位・10.5h) 金曜日4~6時間目	* 地域づくり・課題解決への取り組み 地域商品開発・販売 イベント企画、運営 地域課題の取り組み (公民館との連携)

## 地域人教育 (3年生) の授業プロセス



# まちじゅうが教室

～長野県飯田市 天竜舟下り～



飯田OIDE長姫高校 「地域人教育」

# 身につけさせたい力＝伸びる力

経営における意思決定要素  
(経営学者：ミンツバーク)

学力

論理、思考、学問  
サイエンス

人間性・社会性

経験 (失敗含む)、実績  
クラフト

愛郷心・矜持

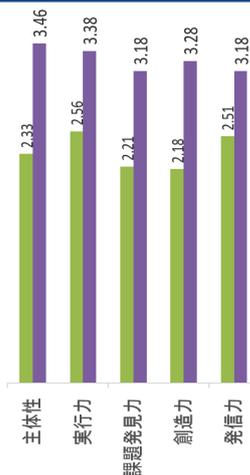
思い、ビジョン  
アート

人間性・社会性

経験 (失敗含む)、実績  
クラフト

地域人教育の基礎学習における

生徒自己評価 (H28.4.10 H29.2.27)  
【母集団 1年生 82名 5段階評価による平均値】



地域に飛び出すことで、様々つながりが生まれる  
**時間** (歴史や伝統、未来とのつながり)  
**空間** (自然や科学とのつながり)  
**人間** (人と人とのつながり)

学校教育 + 社会教育

地域人教育

社会性・人間性が伸びる可能性が高い

実現・充実のために求められる機能  
 地域：協働者 (共有)  
 家庭：強力な支援者 (価値観の転換)  
 高校：社会関係資本を活用する教育機関  
 自治体 (行政)：政策、財政、法整備

学力

論理、思考、学問  
サイエンス

地域事象  
事柄  
行為  
営み

背景  
自然  
社会  
歴史

心象  
人  
精神  
こころ

学び (教養) と地域社会がつながる  
気づき

主体性  
向上

社会関心力  
向上

学力  
向上

愛郷心・矜持

思い、ビジョン  
アート

表現する上で押さえておくべきポイント

自己呈示

自己開示

地域における  
学習・経験・気づき  
を表現する

地域の方 (他者) からのフィードバックの影響大

社会心理学における3つの視点を導入



【マズロー 欲求段階説】 【アドラー 共同体感覚】 【ルフト、インガム ジョハリの窓】

目指す姿：自己呈示と自己開示を組み合わせながら表現しあう集団、学校、地域、家庭  
 具体的な姿：地域を語り合う、人 (背景・心象) を語り合う、変容した自分や友のことを語り合う

## 飯田 OIDE 長姫高等学校地域人教育推進に関するパートナーシップ協定

飯田 OIDE 長姫高等学校において実施する地域人教育プログラムの推進について、長野県飯田 OIDE 長姫高等学校(以下「飯田 OIDE 長姫高校」という。)、学校法人松商学園松本大学(以下「松本大学」という。)、飯田市は、「飯田長姫高校地域人教育推進に関するパートナーシップ協定」(以下「協定」という。)を次の通り締結します。

### 1 用語の定義

- (1) 地域人  
地域を「愛」し、「理解」して、地域に「貢献」する人材をいいます。
- (2) 地域人教育  
飯田 OIDE 長姫高校において、地域人を育てるための教育活動全体を指します。

### 2 パートナーシップ協定の目的

- 飯田 OIDE 長姫高校が進める地域人教育の目的とするところは次の通りです。
- (1) 地域人教育を通して結ぶ力を学び、地域理解を深め、地域での生き方を考え、地域愛を育み、地域において活動できる地域を担う人材を育成する。
  - (2) 10年後を見据えた、住みたい、暮らしやすい地域のあり方を創造する人材を育成する。
- 松本大学は、地域社会に支えられ、地域社会に貢献する、地域密着型の教育を目指し、平成 14 年に開学今日に至り、地域や高等学校などと積極的な連携を図っています。
- 飯田市は平成 18 年、持続可能な地域をつくり出すための、地域を担う人材やさまざまな分野で活躍する人材を生み出す人材育成のシステムとして、地育力連携システム推進計画を策定しました。そしてこの計画の柱の一つとしてキャリア教育を位置づけ、これまで小中学校において地域や企業を結ぶ取り組みを進めてきましたが、高校生への展開を課題としています。
- 飯田 OIDE 長姫高校が進める地域人教育は、松本大学の教育方針や、飯田市の人材育成方針とも合致することから、3 者のパートナーシップにより、より高い成果を上げることが狙い、協定を締結します。

本協定は、地域人教育を推進するためのそれぞれの役割分担及び協力の内容を定めるものです。

### 3 パートナーシップに関する原則

飯田 OIDE 長姫高校、松本大学及び飯田市は、パートナーシップ協定に基づき、相互の情報及び意見交換を密に行い、互いに協力し合って地域人教育の取り組みを進めます。

### 4 飯田 OIDE 長姫高校の役割

- (1) 飯田 OIDE 長姫高校は、地域人教育の主体として、授業カリキュラムを企画し、実施します。
- (2) 飯田 OIDE 長姫高校は、地域人教育の授業を進めるために、松本大学や飯田市と、情報交換や意見交換、及び調整のための会議を、必要に応じて計画し、実施します。

## 5 松本大学の役割

- (1) 松本大学は、授業計画へのアドバイザー、講師の派遣、その他地域人教育を推進するために必要な支援を行います。
- (2) 松本大学は、飯田 OIDE 長姫高校の実施する、会議に参加します。

## 6 飯田市の役割

- (1) 飯田市は、授業計画づくりにむけたアドバイザー、講師の派遣及び幹旋、公共施設及び機材等の貸出、その他地域人教育を推進するために必要な支援を行います。
- (2) 飯田市は、飯田 OIDE 長姫高校の実施する、会議に参加します。

## 7 その他

本協定に定めのない事項で、今後本協定を遂行する上で必要と認められる事項、また、疑義を生じた事項については、飯田 OIDE 長姫高校、松本大学及び飯田市の間で協議して、定めるものとします。

平成 25 年 4 月 26 日

- 11 -

飯田市 市長  
飯田市 市長

飯田市 市長  
飯田市 市長

松本市 新村 2095 番地 1  
学校法人松商学園松本大学

学 長

飯田市 大久保町 2534 番地  
飯田市

飯田市 市長

# 地域人教育の取り組み

1 年生

## 「地域人教育」学習内容報告

### 観光の視点から地域を知る



#### 【研究メンバー】

1 年生

生徒 F 組 40 名 G 組 40 名

國松 秋穂（指導教員） 二木 麻友（指導教員）

#### 【ご協力いただいた方々】

松本大学 白戸先生 大野先生 倉田先生

信濃毎日新聞社 市川様

りんご並木まちづくりネットワーク 桑原様

公民館主事の皆様

#### 1. はじめに

私たちは「観光の視点から地域を知る」をテーマに、松本市・飯田市のフィールドワーク、自分史の作成を行った。

#### 2. 学習したこと

##### (1) 松本市フィールドワーク

松本市上土地区をグループで歩き、街の様子を見ながら街頭インタビューをおこない、「地域の宝物・おもしろいもの」と「地域の困ったもの・課題」を見つけた。それをもとに「地域に若者がいられる居場所」についてグループごとにアイデアを検討し、発表した。

5月26日 事前学習「インタビューの仕方（市川様）」

5月29日 事前学習「なぜ松本でフィールドワークをするのか（白戸先生）」

6月6日 松本FW、まとめ 9日 アイデアの検討、資料作成 16日 発表



写真1：グループワークの様子



写真2：発表の様子



写真3：まとめた模造紙

##### (2) 自分史の作成

地域を知る前に自分のことを改めてよく知ることを目標に、自分史の作成・発表を行った。自分を見つめなおし、クラスメイトのことをよく知ることができた。

##### (3) 飯田市フィールドワーク

飯田中心市街地のフィールドワークを松本の時のように実施した。各グループに公民館の主事の皆様に入っただき、アドバイス等いただきながら行った。フィールドワークでの調査をもとに、「飯田の高校生から見た中心市街地のまち」をまとめ、発表した。

10月23日 事前学習「持続可能なまちは誰がつくるの？～おかの上を事例に～（桑原様）」

飯田FW、まとめ

10月24日 まとめ、発表

## 2年生

## 「地域人教育」学習内容報告



### 2年生

生徒 F組 37名 G組 39名  
指導教員 山田 将晶 林 秀孝  
白木 日菜 原 真由美

### 【ご協力いただいた方々】

信州ライフキャリア研究所 代表 折山 旭 様  
公民館主事の皆様

### 1. はじめに

2年生は「地域の未来を描く」を学習のテーマとし、様々なケーススタディおよびボランティア活動を通して、地域の思い、地域の今を自分事として感じ取ることにより、地域の未来を考えていく心を育んだ。

### 2. 学習内容

#### (1) 名古屋フィールドワーク

1年次に実施した飯田市 FW での経験をもとに、名古屋港水族館および周辺を今後の地域人教育での活動に活かせるよう観察・調査を行った

6月 名古屋フィールドワーク事前学習（調べ学習）  
名古屋フィールドワーク

#### (2) インターンシップ

地元の企業で働いている大人の姿を見るとともに、実際に働く経験をする事により、身近な未来を描く経験を積んだ。また、インターンシップを実施するにあたり、講師を招きマナー講習会も併せて行うことにより、社会人としての心構えについても学んだ。

6月 インターンシップ事前学習・ビジネスマナー講座  
7月 インターンシップ・活動報告書の作成  
8月 インターンシップ報告会



インターンシップの様子



インターンシップ報告会

#### (3) 飯田市公民館による講義・まとめ

3年次の課題研究に向け、飯田市公民館の主事さんにご来校いただき、飯田市の現状についての講義を受けた。その講義から、個々で自分なりの課題を発見し、発表を行った。初めての試みであったが、3年生になり、実際に地域にでて、地域の方々からのお話を自分事としてとらえ、課題を発見する練習としてよい経験をする事ができた。

#### (4) 探究基礎学習「エナジード」

1年次に引き続き、3年次の課題研究の活動で必要となる探究学習の基礎的知識および、グループ活動を通してコミュニケーションの構築を行った。

飯田O I D E 長姫高校 地域人教育 3年生 年間計画

1 目的

- (1) 地域人教育を通して結ぶ力を学び、地域理解を深め、地域での生き方を考え、地域愛を育み、地域において活動できる地域を担う人材を育成する。
- (2) 10年後を見据えた、住みたい、暮らしやすい地域のあり方を創造する人材を育成する。

2 3年生の学年テーマ

「交流を重視した地域連携学習 ～社会（地域）に対して当事者意識を発揮する～」

学期	回	月	日	学習項目
1	1	4	14	ガイダンス
	2		21	佐藤市長特別講義
	3		28	地域調査 ①
	4	5	26	地域調査 ① ふりかえり
	5	6	2	地域調査 ②
	6		9	地域調査 ② ふりかえり
	7		16	地域調査 分析、追加調査（球技大会予備日）
	8		30	研究テーマの仮決定、研究計画の立案
2	9	7	14	仮説の設定、研究計画の検討
	10		21	仮説の設定、夏期休業中の計画
<b>夏季休業中の研究調査および実践活動</b>				
2	11	9	1	テーマに沿った研究、実践活動
	12		8	白戸先生 相談会(予定)
	13		15	テーマに沿った研究、実践活動
	14		22	テーマに沿った研究、実践活動
	15		29	テーマに沿った研究、実践活動
	16	10	6	中間発表(予定)
	17		13	テーマに沿った研究、実践活動
	18		20	テーマに沿った研究、実践活動（球技大会予備日）
	19		27	テーマに沿った研究、実践活動
	20	11	10	テーマに沿った研究、実践活動
	21		17	活動のふりかえり、まとめ
	22		24	地域人教育成果発表会準備、報告書の作成
3	23	12	1	地域人教育成果発表会準備、報告書の作成
	24		8	地域人教育成果発表会準備、報告書の作成
	25		15	地域人教育成果発表会準備、報告書の作成
			20	地域人教育成果発表会リハーサル(午後)
	26		21	地域人教育成果発表会(鼎文化センター)(午前)
	27		22	地域人教育成果発表会のふりかえり
	28	1	12	年間のふりかえり、全校発表会準備、報告書作成
		19	全校 課題研究発表会	

## 神撃の食、降臨



## 【研究メンバー】

安藤 美南 伊藤 大羅 川中島 鈴音 佐々木 舞香  
 塩澤 春來 中 萌花 藤澤 心音 山村 珂乃  
 國松 秋穂(指導教員) 山口 真奈(丸山公民館主事)

## 【ご協力いただいた方々】

丸山公民館 館長 藤本 清明 様  
 まるやま石窯部 田中 秀明様 伊藤 晃様  
 中田 早苗様 岩戸 いつみ様  
 丸山公民館文化部 林 貴美子様 蜂谷 未緒様  
 丸山青少年健全育成部長 武井 玲子様  
 いずみの家 杉山様 パン工房 ゆめのや 後藤様

## 1. はじめに

私たちは丸山地区が食に関する行事が多いことに興味をもち、こうした行事に私たち(以下丸山班)も参加したいと思い丸山地区において研究を開始した。

## 2. 研究課題

丸山地区の調査を進めるなかで、丸山地区に住む方々、特に若者と地域の繋がりが薄まっていることを大きな課題と考えた。そこで、丸山班の好きな食を通しての交流を企画・実施することで、若者と地域の結びつきが強まるのではないかと考え、活動することにした。また、今年だけではなく来年以降も若者と地域が繋がっていく活動を目指す。

## 3. 研究経過

4月 丸山地区散策(フィールドワーク) 9月 ピザレシピ考案、試作  
 5月 館長さんからお話を聞く 10月 石窯部の皆さんと交流  
 6月 丸山保育園訪問 11月 丸山地区文化祭参加、ピザ作り体験  
 7月 桜姫祭でパン販売 12月 課題研究発表会、公民館大掃除  
 8月 寺子屋、人形劇フェスタ参加 1月 お正月遊び、餅つき大会

## 4. 研究内容

## (1) 丸山地区の調査

私たちの班には丸山地区について知っている人が少なかったので主事さんと館長さんから丸山地区の魅力や地域と若者の繋がり、絆が希薄化されていることなどの丸山地区の課題をお聞きした。そして、丸山地区についてより詳しく知るために実際に地区の中を探索して、地域の自然(風越山、虚空蔵山、風越山麓公園、風越子どもの森公園)、文化(郊戸八幡宮、村正、和泉守兼定)があり、それらを守るためにたくさんの活動が行わ

れていて、地域の方たちみんなが丸山地区を大切にしていることが分かった。また、探索の中で丸山保育園との交流や公民館事業のボランティアに積極的に参加してきました。そんな中で私たちは丸山地区の「食」に着目し、活動をしようと考えた。

#### (2) 丸山地区の食に関わる活動(桜姫祭)

丸山地区の食について調査をしていく中で、丸山地区には「今宮半平」やパン屋さんが2つあること、そして丸山公民館に地域の方の手作りの石窯があることを知った。桜姫祭では、丸山地区にあるパン屋さんの1日目は「ゆめのや」さん、2日目は「いずみの家」さんのパンを販売することに決めた。そこで、それぞれのパン屋さんに協力していただくために販売交渉に行き、どちらのパン屋さんも快く引き受けてくださった。桜姫祭当日、どちらのパン屋さんのパンも完売させることができ、無事に桜姫祭を終えることができた。

#### (3) 公民館事業の活動(寺子屋、人形劇フェスタ)

夏休みに入り丸山公民館で行われた人形劇フェスタ、夏の寺子屋に参加した。人形劇フェスタではアナウンスをしたり、アンケート配布や観客誘導を行った。

夏の寺子屋では、小学生の夏休みの宿題のお手伝い、ホットドック作りやレクレーションなどで一緒に遊びました。その結果、丸山地区の方とくに小学生との繋がりが強まった。

#### (4) 丸山地区の食に関わる活動(丸山地区文化祭)

イベントで食を通して丸山地区の地域の方と交流したいと思い、丸山地区文化祭への参加を決めた。そこで丸山地区で活動している石窯部や青少年健全育成部の方々に協力をお願いしてピザ作り体験を実施することになった。

その際、石窯部の方々が石窯を使った新レシピを考えてることをお聞きしたので、自分たちのオリジナリティを出した「おいでカレーピザ」を開発し、当日は「スタンダードピザ」とあわせて二種類のピザづくり体験を実施して来てくださった地域の方と一緒につくることで交流を深めることができた。また、その際夏の寺子屋や丸山保育園で交流した子供たちが親子一緒に来るなどこれまでの活動で関わりがあった方たちとの交流がより深められることができた。

### 5. 考察

丸山地区の課題として出てきた若者と地域のつながりが薄くなっていることに、「食」に着目して若者と地域の方との絆を繋ぎなおすことを目標に活動をしてきました。食を通じて地域の方々と交流をするために、丸山地区文化祭で石窯部や青少年健全育成部と協力してピザづくり体験を実施しました。当日は老若男女問わずたくさんの方が来てくださり、多くの方が楽しんでピザを作っていました。当初予定していたピザの枚数は、2日間とも完売することができ、この活動を通じて食は人と人との結び付きを強める事ができることを学び、食は人類共通であるという大きな発見がありました。

### 6. 今後の課題

今年は、丸山地区のたくさんの方と交流することができたが、丸山保育園の本校訪問の実現や、私たちが開発した「ドルチェ・ペーラ」(梨を使ったデザートピザ)を実際にイベントで販売することなど、できなかったこともあった。この一年間の活動の中でわかったことは、若者と地域を結びつけるためには、私たちが公民館事業に積極的に参加することが大切だということです。来年丸山地区で活動する班は公民館事業に積極的に参加してほしいことと、私たちができなかった「ドルチェ・ペーラ」を活用した活動をぜひ実施してほしいです。

### 7. 終わりに

このグループは常に明るく元気で、どんなことも楽しんで活動を行うことができた。また、食は人と人との結びつきを強め、食を通して地域の方々と交流することができました。

丸山地区での活動は私達だけで進められたわけではありません。活動開始当初はなにをすればいいのかわからず不安も多くあった私達でしたが、國松先生、公民館館長藤本さん、主事の山口さんを初め地域の皆様のご協力のおかげで活動を進めることができました。本当にありがとうございました。



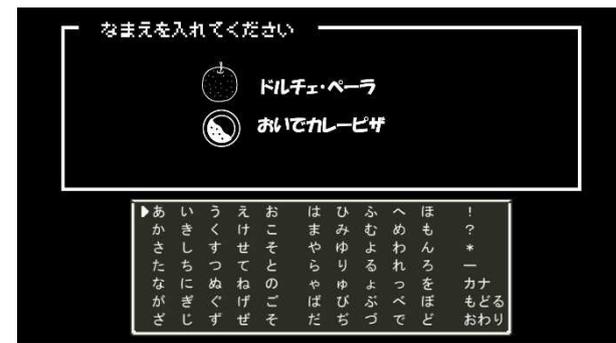


パーティーメンバー ♥HP

あんどろみみ	ほっそりよく:	100
いとおおら	こつげきよく:	100
かわなかじまりん	とろそつりよく:	100
ささきまいか	りかいりよく:	100
しおさわはるき	ろんのよさ:	100
なかもえか	しゃびりよく:	100
ふじさわこと	いやしりよく:	100
やまむらかの	かしこさ:	100



完 売





地域の方からの感想

例年は人が足りていなかったため助かった  
楽しかった体験ブースが賑やかになった



**-イベント発生-**

1. 公民館事業に参加

2. ドルチェ・ペーラの販売

来年に引き継いでほしいこと



**ThankYou!**

**反省**

受付とうまく連携が取れなかった  
ピザの分量を誤ってしまった

パワーポイント  
スライド 19/47  
特に頑張った部分抜粋  
スライドをゲーム風にしよう！  
自らの首をしめた  
大変だった

生徒コメント

<p>みなみ</p> <p>スキル:発想力100%          特殊能力:タイピング          好物:いちご          ビジョン:一軒家たてて          猫と暮らす</p> 	<p>おおら</p> <p>スキル:攻撃力100%          特殊能力:水泳          好物:おいしいお肉          ビジョン:かっこいい大人</p> 	<p>りん</p> <p>スキル:統率力100%          特殊能力:弓道          好物:グミ          ビジョン:猫と幸せに          暮らす</p> 
<p>二年生のころとかは、課題研究は難しい授業だと思っていたけど、このメンバーになって楽しくみんなで笑いながら話し合えたし、おいしいものをたくさん食べてみんなとの仲もよくなれたので良かったです。楽しい一年間ありがとうございました！！</p>	<p>このグループは常に明るくて、大変なことが起きても笑って乗り越えられる最高の8人でした。そんなグループで活動ができて、とても充実した時間を過ごせました。一年間ありがとうございました！</p>	<p>このメンバーで食べて笑えてとにかく楽しい1年間でした！大変なことも笑って乗り越えられる班で、成果発表会の準備も全員で頑張ることができて全校発表にも選ばれて本当に良かったです。ありがとうございました。</p>

<p>まいか</p> <p>スキル:理解力100%          特殊能力:剣道          好物:お寿司          ビジョン:いつも幸せそうに          笑ってる人</p> 	<p>はるき</p> <p>スキル:運の良さ-100%          特殊能力:バレーボール          好物:辛い物全般          ビジョン:優しい人</p> 	<p>もえか</p> <p>スキル:守備力100%          特殊能力:夜更かし          好物:オムライス          ビジョン:面白い人</p> 
<p>1年間このメンバーでほんとに楽しかったです！どんな大変なことにも屈せず楽しんで立ち向かうことができたのはこの8人だったからだと思います。いっぱい作って食べて笑ってたくさん思い出をありがとうございました！</p>	<p>最初は何をやるのか先輩たちのようにうまくできるか不安だったけど、どんな時でも笑って食べて自分たちの活動の目的を果たすことができたのはこの8人が最高のパーティーマンバーだったからだと思います。1年間本当に楽しかったです！ありがとうございました！！</p>	<p>一年間ありがとうございました！このメンバーでたくさん食べてたくさん笑って良い活動でした。課題研究発表会でのスライド作りではデザイン部分で遊ばせてもらって楽しかったです。結果選ばれることもできてよかったです！</p>

<p>こと</p> <p>スキル:癒し力100%          特殊能力:譜読み          好物:チョコまみれ          ビジョン:可愛いお母さん</p> 	<p>かの</p> <p>スキル:賢さ100%          特殊能力:ピアノ          好物:ピザ          ビジョン:漫画に囲まれる人生</p> 
<p>最初に話したときからずっと食べることを大事にしてきて、この1年を振り返ってみると本当に食のことばかりで有言実行できたなと思います。たくさんのイベントに参加してたくさんの方と関わってたくさん思い出があつて幸せです！</p>	<p>このメンバーで活動することができてとても充実した一年でした！みんなと料理を食べることができて楽しかったです。スライド作成は大変だったけど作成中とても楽しかったし、すごくいいものになって良かったです。3Dモデル最高</p>

<p>國松先生</p> 	<p>丸山地区を担当した安藤さん、伊藤君、川中島さん、佐々木さん、塩澤君、中さん、藤澤さん、山村さん。1年間の活動、お疲れ様でした。</p> <p>この班はまさに「食」に始まり、「食」に終わるといっても過言ではありません。「今宮半兵衛」のラーメンや五平餅に始まり、「ゆめのや」のパン、「いずみの家」のパンやお菓子。夏は「人形劇フェスタ」でのお弁当、「寺子屋」でのホットドッグ。秋になると「観月の夕べ」でのサンドイッチ、「まるやま石窯部」の皆さんとのピザやお肉、試作したピザ、文化祭のときのピザ、フランクフルト、焼き鳥、ポップコーン、さらにお弁当。冬は公民館の大掃除後のしゃぶしゃぶ、「お正月遊び」の時のおもちとお汁粉。ん〜・・・めっちゃ食いましたな。</p> <p>この中で8人が見出した“「食」は高校生と地域を結びつける”という解(こたえ)は、一見当たり前のようですが、コロナ禍による当たり前が当たり前でなくなったことを経験したからこそ、素晴らしい解であったと思います。</p> <p>藤本館長をはじめ、文化部、育成部、まるやま石窯部、体育部、広報部の皆さま。そして、丸山保育園の先生方と園児の皆さま、「ゆめのや」様、「いずみの家」様。1年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。最後に、主事の山口さん。本当に本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>
---	--

地域の方々コメント

丸山公民館  
館長藤本さん



主事  
(山口さん)



ほとんどのメンバーが丸山地区について何も知らないところからの出発、どうしたら良いかわからなかったこともあったに違いない。知らないことは恥ではない。無知であることを自覚した時、何も行動しないことが恥なのだ。

君たちは体当たりで地域の中に飛び込んだ。地域を歩き、地域の人と会い、話を聞いた。更には課題を見つけ、その課題を解決するために自分たちに何ができるかを考え、自ら企画し、行動した。その姿を見て、地域の人たちが君たちを認め、受け入れた。夏休みの寺子屋、文化祭、大掃除・・・君たちが地域の人と語り合う笑顔が忘れられない。

君たちはこれから、それぞれが新しい世界に旅立つだろう。分からないことが沢山あるに違いない。でも、今回の活動で君たちは知ったはずだ。自ら行動を起こせば周りの人は受け入れてくれる。独りでなければ道は開ける。

一年間、ありがとう。  
君たちの未来にエールを贈る。

1年間お疲れさまでした！丸山地区での活動はどうでしたか？私自身、4月から丸山地区の担当となり、丸山地区のことを知り尽くしていない状態でのスタートだったので、皆さんには迷惑をかけたこともあったと思います。

桜姫祭でのパン販売をはじめ、人形劇フェスタや夏休み子ども寺子屋などの公民館事業への参加や丸山保育園との交流など全てにおいて、自分たちで考え、主体的に活動してくれたこと、みんなで話し合い、仲間の得意なことを活かしながら活動を進める姿がとても素晴らしかったです。また、若い世代と地域のつながりが薄くなってきていることに対し、「食」を通じて結びつきを強められるのではないかと考えてくれたこと、石窯で焼く新しいピザを考えたこと、公民館の役員の皆さんと楽しく活動してくれたこと、皆さんの若い視点での活動が館長や地域の悩みの解決の第一歩になるものだったと思います。

これからそれぞれの道に進む中で、多くの人に出会い、いろいろな経験をしていくと思いますが、きっとどこかで地域人教育で地域の皆さんと活動したことが生きる時が来ますので、また丸山地区のことを思い出してくれたら嬉しいです！いつでも丸山に遊びに来てください！1年間本当にありがとうございました♪

青少年健全育成部 武井玲子さん



文化祭一緒に盛り上げてくれてありがとう！初めて文化祭、内容もわからぬままの参加で大変だったと思います。お店のような案内と看板、新しいメニュー、そしてアイデア、いつもの文化祭に高校生の活気が加わり華やかなものになりました。

何より率先して参加してくれて嬉しかったです。出来ることならば、この先もずっと一緒にやりたいです。

発表も誰もがワクワクするようにまとめ上げられていて素晴らしかったです。

丸山地区に来てくれてありがとう。

石窯部  
伊藤晃さん



生地から作るピザの試作、文化祭での提供と、楽しかったですね。皆さんのオリジナルのピザもとても美味しかったです。高校生の皆さんが地域のことを学び、考え、取り組むことは、とても大事で、ありがたく思います。石窯部は、食を楽しみ分かち合い、地域も豊かにしたいと活動しています。「食」の力で“人々がつながって生き生きと暮らす地域”にできればと。更にはそれを次の世代に繋げられたら…。その意味で、今回皆さんを見てとても心強く思いましたし、刺激やヒントもいただきました。ありがとうございました。皆さんの今後のご活躍を祈っています。

きみちや  
(林貴美子さん)



私が高校生たちと一緒に活動したのは丸山の文化祭でした。もう文化祭が終了してそれぞれの場所での作業が終わり片付けに入ってからですが、これをお願いしたいと頼むと「はい」ととても感じの良い返事ですぐに動いてくれました。やはり若者の活動は素早くて感心しました。公民館の大掃除にも参加していただきありがたかったです。後のしゃぶしゃぶでは色々なお話ができ楽しかったです。皆さんは3年生なので来年は新しい道に出ていかれるんですね。今年の丸山での活動がきっとどこかで生きてくると思います。皆さんは一人ではないんです。皆で協力して地域を作っているんです。ぜひ、丸山を忘れないでまた遊びに来てくださいね。

高梨園長先生



今年、地域人教育で丸山地区に来て下さった皆さん、1年間お疲れ様でした。高校生が保育園の子ども達と交流をしたいという話を聞いて保育園としても高校生と子ども達の触れ合いを楽しみにしていました。6月に高校生の皆さんと保育園についてお話をさせて頂きました。わが園で進めています「いいだ型自然保育」について話をさせて頂きました。どの生徒さんも非常に熱心に話を聞いて下さり、又わが園を卒園された方もおり、嬉しかったです。「いいだ型自然保育」は「子ども達の生きる力を育む」為、「地域の自然や様々な人との触れ合い」を大切にしています。7月には皆さんで保育園を訪ねて下さり、子ども達とペアを作り触れ合いました。丁度夏祭りで年長児が作成した「お化け屋敷」も体験してもらい楽しいひと時となりました。その後「人形劇フェスタ」の保育園公演でのお手伝い、11月には地区の文化祭で高校生発案の「カレーピザ」を食べさせてもらいました。子ども達にとって高校生の皆さんは憧れの存在です。そして触れ合う姿がとても微笑ましかったです。担当の國松先生にも大変お世話様になりました。最後に、これからそれぞれの道に進まれる皆さん。いずれはお父さんお母さんになる皆さん。どうかこの体験を忘れず夢に向かって頑張ってください。ありがとうございました。



## 5・6 考察・今後の課題

私達は、座光寺のりんごを使ったりんごあめを販売し、座光寺をPRしようと試みた。

まず座光寺の運動会でりんご飴を試食してもらい、その時同時に行ったアンケート調査の回答を元に、丘のまちフェスティバルで販売を行った。

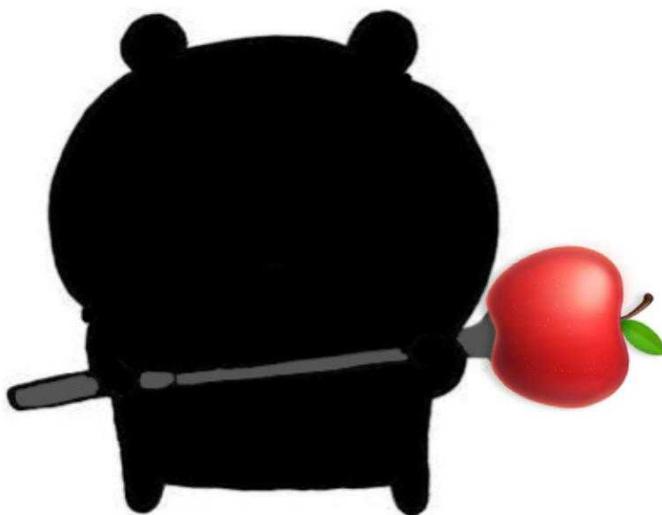
結果、用意していたりんご飴100個は約一時間で完売した。販売時は長い行列ができるほどの売れ行きがあり、この結果からこれからも座光寺のりんごを使ったりんご飴を販売していける可能性は0ではないと考える。ただ、りんご飴を販売したのはこの丘フェス一回のみであるため、もっと販売する機会を増やして検証をする必要がある。更に、販売していたのが大人ではなく高校生だったため、人が集まったという可能性もある。高校生をみの販売はなかなか無く、珍しいものであるため目に止まりやすい。だが、大人には大人ならではの、私達高校生にできないことをやれる利点がある。だからこそ、このりんごあめをここで終わらせないように残していかなければならない。今上がっているアイデアは、一つが学校で販売されているOIDEスパイスカレーのように、「学校で販売をする」。もう一つが「来年の座光寺班の人達にこのりんごあめを引き継いでもらう」の二点である。

## 7 おわりに

座光寺のことをあまり知らず、座光寺出身もない人達が集まった座光寺班だったけれど、なんだかんだがあってまとまって、なんやかんやの末に、結果を残せた。

活動に関わってくださった多くの方々の協力があつたからこそその結果であり、本当に、感謝は尽きない。今思えば不思議なもので、最初に主事さんが持ってきてくれた座光寺まんじゅうという、何気ないことがすべてが始まるきっかけだった。物事の何が始まりとなるのかはわからないものだと、つくづく感じさせられる。私達の活動において大切だったのは、感謝と、感謝。

そして感謝。この3つだと思う。協力してくださった方々に今一度感謝を。ありがとうございました。



## ❁ フィールドワーク



## ❁ 文化祭・しろた農園さん・試作



## 🌸運動会・丘の街フェスティバル



## 🌸課題研究発表会



☀️

## りんご飴で座光寺の魅力をPR なんかまるくておいしいやつ

伊藤恋雪 熊谷実優 清水優月 田中天地  
中島七海 中島温雅 村松雪乃 吉澤祈星  
越康史先生 竹村卯哉主事

☀️ もくじ

- 1話 はじめてのおまんじゅう
- 2話 りんごとの出会い
- 3話 ざこうじゅうんどうかい
- 4話 なんがまるくておいしいやつ

☀️ 座光寺まんじゅうとの出会い



☀️ テックレンジャー×まんじゅう=テックまんじゅう

いちにちめ  
**50個**

ふつかめ  
**100個**



130えん

ふつかかんで  
**150個**

吉丸屋さん川本屋さん工業科の先生方  
お忙しい中本当にありがとうございました

### フィールドワークでわかったこと

りんごが特産品

加工品は  
取り扱っていない

☀️

## 座光寺まんじゅう販売

▽

もっと座光寺のおいしいものを広めたい!!

## 仮説

- アンケートを取ること  
でより良い商品になる  
のではないが
- 広報活動を行う  
ことで販売促進と  
PR活動へ繋がられ  
のではないが

## 仮説検証

▽

### 座光寺地区運動会に参加

☀️ しろた農園さん



しろた農園さん

「なかなか機会がなかったが自分たち  
もりんごあめを作ってみたかった!」

早く承諾していただきました!

☀️ ノエル洋菓子店 ▶ 城産域消の食育店として飯田市から  
認定されている洋菓子店



宮澤さん

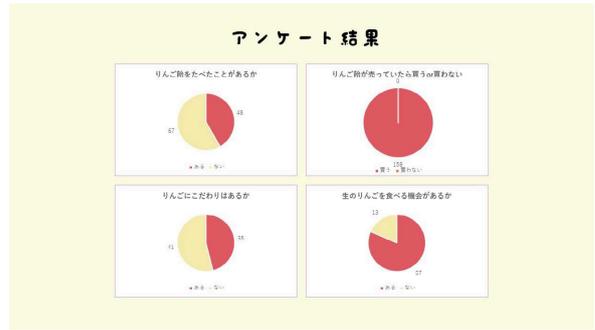
家庭や地域など身近なコミュニケーション  
を増やしたい。  
地域の皆さんが笑顔でつなげる食のネット  
ワークを目指している。

りんごあめの作り方を教えていただくことに!

## 運動会の結果

# りんご飴40個は即終了!!

たくさんのアンケートを集計



### ☀ 実行委員会の方の感想

- 今年はずれがなかったけど高校生が参加したことによって更ににぎやかになったのでよかった
- りんごあめはあまり食べなくて珍しいので面白い!

**幅広い年代の方に人気だった!**

### 丘のまちフェスティバルにむけて

チラシの作成	クーポンの作成
Instagram開設	広報活動

### ☀ 当日の成果

しなのスイート <b>50個</b>	しなのゴールド <b>50個</b>
<b>合計 100個</b>	



### 広報活動の効果

「地元の高校生の活動で、販売を行っているのがすごいと思った。」  
「カットして提供してくれる工夫がとてもいいと思った。」

- チラシを見て 買いに来てくれた方々
- 割引クーポンを 持ってきてくれた小中学生

**宣伝の効果が見込めた!**

### 来てくださった方の声

「中のりんごがおいしい」 「飴がバリバリで飽きない!」

しろた農園さんの りんごのおいしさ	ノエルさんの 飴加工の技術
----------------------	------------------

**それぞれのWINへつながった!**

# 目標達成!

### さいごに

私たちの活動はたくさんの方のご協力のもとで成り立ちました。  
時には無理なお願いをしてしまうこともありましたが、  
そんな中快く引き受けてくださったことが  
私たちの心の支えになりました。

**ごせいちょうありがとうございました**

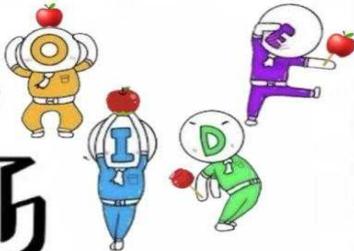
❁ 丘フェスティバル



重大発表！！

11/3(祝)

第15回 飯田 2023 丘のまち フェスティバル



飯田OIDE長姫高校商業科の課題研究として  
座光寺のりんごの魅力を伝えたいと思い、  
丘のまちフェスティバルで  
りんごあめを販売することになりました！  
座光寺の美味しいりんごを  
みなさんに食べて頂きたいです！  
ぜひ買いに来て下さい♡

銀座二丁目  
地域人教育イベントコーナー

しろた農園さん  
ノエル洋菓子店さん  
座光寺公民館の皆様  
座光寺地区の皆様

500yen

お得なクーポンをゲットしよう！

▶▶▶

ご協力頂いた皆様本当にありがとうございます！





### SHIMIZU YUTSUKI

みんなと活動するのが  
最初から最後までほん  
とに楽しかったです。  
1年間ありがとうございました!!



### NAKAGIMA NANAMI

このメンバーと一緒に  
イベントに出たり、協力して  
活動するのが楽しかったです。  
1年間ありがとうございました!!



### ITO KOYUKI

湖川川邊に座敷町地区と知れよかに  
びす！とてサマソコとてまじとて来たのた  
びす。とてまじのたを合+の、おれまじ  
せやまじのたを合+の、おれまじ  
よか+のたを合+の、おれまじ  
ありのたを合+の



### KUMAGAI MIYU

天才が集まったこのグループで活動  
できて楽しかったです。大満足です!!  
このメンバーでよかったです。  
1年間ありがとうございました!!



### MURAMATSU YUKINO

一緒に活動するのは  
初めてのメンバーでしたが、それぞれ  
アイディアを出しあったり、協力して  
活動していかれたらいいな  
1年間ありがとうございました!!



### TANAKA TENCHI

1年間、ありがとうございました。  
登本寺の運動会  
とか、おアエスとか、なにか  
あったら楽しかったです。  
おれまじ

## YOSHIZA INORI WA

このメンバーで1年間活動をして、沢山の沢見があれこれとやる中での各武作運動会、丘フェスでの見直し活動を通して、座光寺地区のPR活動を行う中で、本当にこのメンバーでよかったと思えました。1年間、本当にありがとうございました。

## NAKAZIMA HARUGA

一年間ありがとうございました。年度はじめはうまくやっていたのか、など不安ばかりでしたが、良い仲間や先生、主催さんのおかげで良い発表ができました。

## 吉丸屋さん

座光寺の名前の付いた名物といえは「座光寺まんじゅう」ですが、座光寺をPRする新素材として座光寺の農家が作る「リンゴ」に着目し、そのリンゴを見栄え、味ともに魅力的な新商品・新名物に創造し完成させたことは素晴らしいと思います。発表会でも、テーマに沿ってストーリーがあり、とても内容の濃い充実した発表でした。座光寺班皆さんの企画力・発想力のセンスの良さ、それを展開し、完成・まとめ上げた努力に敬意を表します。今後の成長とご活躍に期待します。素晴らしいかったです。

## 川本屋さん

この度は、地域に関心を持ち学んで頂きありがとうございます。飯田市は古くから「和菓子のまち」と言われてきましたが、地域の皆さんと歩んできた和菓子屋を続けていくのには難しい時代となっていました。高校生の皆さん、これから様々な道に進んでいかれると思いますが、飯田の和菓子を手土産や帰省時のお土産にお役立ていただければ幸いです。

## ノエル洋菓子店さん

りんご飴を作りたいと言われた時は、なんでりんご飴なんだろうと思いましたが、「地域で栽培されているりんごを、地元の若い人たちにもっと食べてもらいたくて、りんご飴を作ろうと考えた」と言う話を聞いて、良いことだと思いました。試作は良かったですが、その後はうまくいかなくて残念でしたが、失敗も含めて今後のための経験になると思います。

## 代田康園さん

今回、この課題研究のお話をいただき、私たちも「りんごあめ」をいつか作ってみたいと思っていたので、座光寺の方やイベントでの販売で多くのお客様に食べていただくことができとても感動しました。この経験が皆さんにとって、これからの人生に少しでも役立ち、そして良い思い出として残ってくれたらうれしいです。

大きく変わり  
つつある座光寺  
地域を外からの目線で  
特産である果物の中より「りんご」に  
着目され、若い高校生の皆さんの「食」を通じて  
の地域発信への新たな提案、ありがとうございました。

また、運動会にも参加して盛り上げていた  
だき、ありがとうございました。  
どこの地区でも地域行事への皆さんの  
参加を期待しています。  
是非、地元の行事にも参加してみ  
てください。  
そしてまた、座光寺の桜まつり・  
夏祭りなどにもお越しください。  
お待ちしております。

座光寺地区  
公民館 館長さん

座光寺地区  
主事 竹村さん

1年間、  
お疲れ様でした。  
最初は座光寺がどんな  
所かわからない状態でしたが、みんな  
手探りで地域のことを深く探求していきまし  
たね。最後の授業で皆さんの言葉で、座光寺や  
そこに住む人の魅力を言ってもらえて  
とても嬉しかったです。  
今回の授業が、暮らしている地域を  
見つめなおすきっかけとなり、  
皆さんの今後に活かしてもらえ  
れば幸いです。  
ありがとうございました。

“食” + “話” + “笑” = “感謝”  
こんな漢字がぴったりな皆さんだった気が  
します。

“やってみたい”と思ったことに対して、  
多くの皆様の支えにより挑戦できた  
1年間、とても楽しかったです。  
この経験が将来どこかで役立って  
くれることを願っています。  
ありがとうございました！！

座光寺地区担当  
越先生

# 羽場

# 若者に魅力を伝えよう

## 羽場 NICE DAY

つながり

### ～広げる交流の幅～



#### 【研究メンバー】

小澤知央 田切夕葵 畑野凜 本阿莉子  
八尋蓮楽 吉沢茉美 鷲美杏珠  
竹内悠生（指導教員） 宮田浩司（羽場公民館）

#### 【ご協力いただいた方々】

羽場公民館長 猿庫の泉保存会の方々  
正永寺桜保存会 獅子舞保存会の方々  
丸山保育園 丸山小学校 飯田西中学校  
前澤所長 きねや 信陽堂

#### 1. はじめに

私たちは羽場地区について調べる中で、地区の行事への若者の参加率が低いことに目を付けた。羽場の文化祭に企画から参加し、文化祭への若者の参加を増加させるための活動を行った。

#### 2. 研究課題

家族連れをターゲットにし、地区の行事への参加を促し、若い世代に羽場の魅力を知ってもらう。

#### 3. 研究経過

- 4月 公民館長のお話、フィールドワーク（正永寺桜、猿庫の泉）
- 5月 フィールドワーク（きねや、orionラーメン、セントラルパーク）
- 6月 信陽堂、野点体験、猿庫の泉保存会の方のお話
- 7月 桜姫祭、前澤所長のお話
- 8月 寺子屋への参加
- 9月 獅子舞体験、羽場文化祭準備
- 10月 文化祭の宣伝（丸山保育園、丸山小学校、西中学校へ訪問）、羽場文化祭
- 11月 商業科課題研究成果発表会準備
- 12月 MAP作り、商業科課題研究成果発表会、研究総まとめ

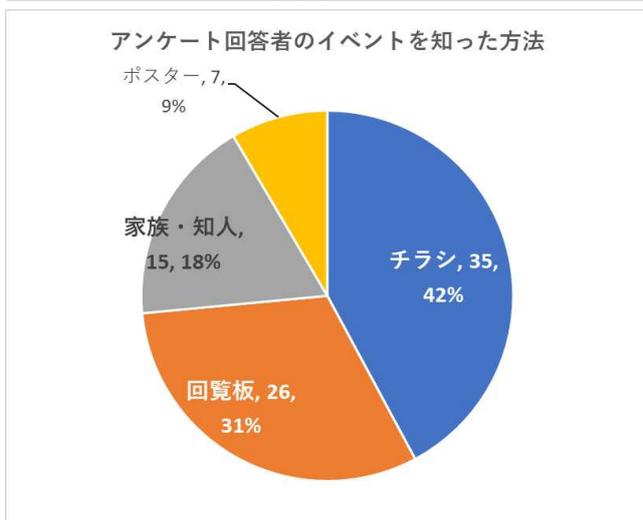
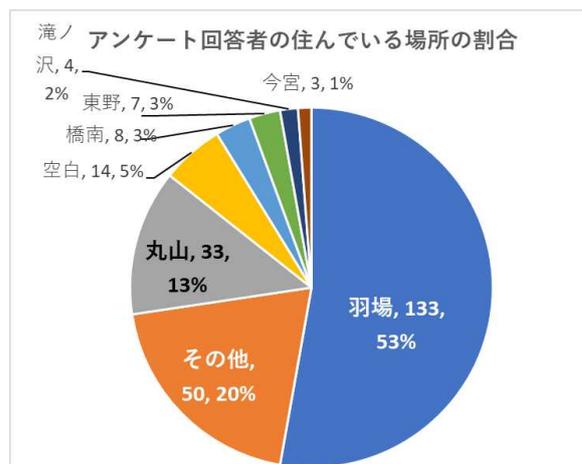
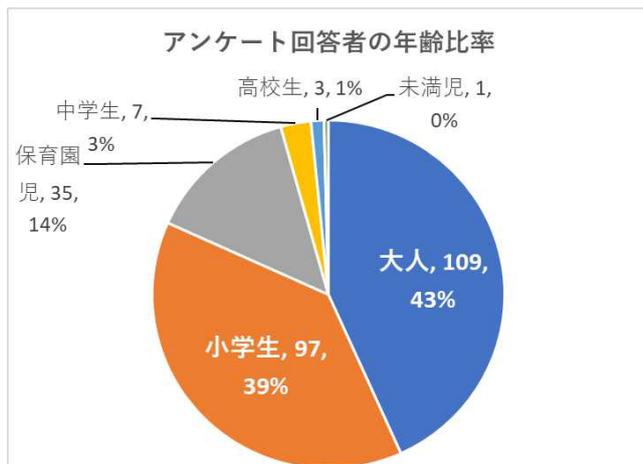
#### 4. 研究内容

##### （1）羽場地区について知る

まず私たち自身が羽場を知るために実際に体験したり、地区の方々にお話をお聞きしたりした。そこでおいしい水が湧き出る猿庫の泉、希少かつ美しい正永寺桜、地区内外の多くの人々が利用する羽場セントラルパークなど沢山の魅力的な場所がありながらも地区の行事への若い世代、親子連れの参加率の増加に伸び悩んでいることを知った。そこで私たちは地区の文化祭で親子連れをターゲットとし、子ども向けの縁日を開催することにした。

##### （2）アンケート調査

文化祭当日、参加してくださった方々に向けて、年齢層や住んでいる地区、宣伝の効果などを確かめるためにアンケート調査を実施した。



【おすすめの場所】	【楽しみな企画】
セントラルパーク : 61	射的 : 22
砂払温泉 : 7	ヨーヨー釣り : 13
公民館 : 2	食べ物 : 12
猿庫の泉 : 2	展示 : 8
図書館 : 1	獅子舞 : 7
大平街道 : 1	芸能発表 : 5
ベトナムの店 : 1	古本市 : 3
	表彰式 : 1
	駄菓子屋 : 1
	人形劇 : 1

以上の結果から分かることとして、小学生と大人の参加者で全体の過半数を占めているので、ターゲットとしていた親子連れの参加が多かった。また、参加者の半数程度が他の地区の方である。チラシを見てきてくださった方が多いので、チラシによる宣伝効果があった。逆にポスターを見て来てくださった方が少ないので、掲示場所などの工夫が必要だった。文化祭全体で楽しみにしている企画として射的やヨーヨー釣りが多くを占めているので企画したかいがあった。などが挙げられた。

### (3) マップ制作・インスタグラムの開設

私たちが感じた羽場の魅力を多くの人に伝える手段として、先輩方が作成されたマップを引き継ぎ私たちに追加することにした。またSNSを通して世界中の人にも宣伝するため、インスタグラムの開設を行った。最終的に全クラス、羽場公民館へマップとインスタグラムのQRコードの掲示を行うことができた。

## 5. 考察

私達は、まず羽場地区について知るために活動を開始し、地区の文化祭での親子連れの参加を増やすことを目標として進めてきた。結果として、活動のターゲットとしていた親子連れの方々楽しんでいただけるとともに、私達自身が地区の様々な年齢の方々と交流する場となり、充実した活動となった。またアンケートを通して私達の活動の成果や改善点、地区内外の方々自身が感じている羽場地区の魅力的な場所などについて知ることができた。

## 6. 今後の課題

地区の文化祭で私達が行った緑日のような大人も子供も楽しめる高校生ならではの企画を継続して行うとともに、その宣伝方法として保育園、小中学校の訪問、チラシやポスターの作成と配布を行ってほしいと考える。また、SNSの活用を通して課題研究の活動の宣伝だけでなく、地区のイベントの宣伝も行うのが良い。今回掲示だけに留まってしまったMAPを更に活用して欲しいと考える。

## 7. 終わりに

地区の方々にお話をお聞きしたり、実際に体験してみたりすることで、地区の方々の羽場への愛情や次世代に繋いでいきたいという思い、羽場地区の魅力について深く知ることができた。これからも飯田市、羽場地区の魅力を広げていきたい。



**猿庫の泉**



**正永寺桜**



**セントラルパーク**



**羽場獅子舞**



**きねや**



**orion ラーメン**



**信陽堂**



**野点体験**



桜姫祭



前澤所長さん



羽場文化祭



宣伝活動



成果発表会

# みんなから ひとこと

このメンバーで活動で  
きて本当に良かった  
羽場大好き!!

小澤知央

一年間ありがとう!  
羽場についてたくさん  
知れてよかった♡

田切夕葵

羽場地区で活動するこ  
とができて一年間すご  
く楽しかったです! 😊

鷲美杏珠

羽場の魅力をたくさん  
知れて良かったです!  
一年間ありがとう♡

八尋蓮楽

このメンバーで一年間  
活動することができて  
良かったです♡

畑野凜

大変なこともあったけ  
ど楽しかったです!  
一年間ありがとう!!

本阿莉子

一年間いろんな経験  
ができて楽しかった!  
羽場地区だいすき!!

吉沢茉美

本当によく頑張りました。四月から比べると成長できましたね

竹内先生

これからの人生  
(暮らし)を楽しんで  
ください!

宮田主事

仲間と一緒に自分の地域を盛り上げてほしいです。

獅子舞保存会の方  
小林正樹さん

獅子舞に興味を持って  
くれると嬉しいです。

獅子舞保存会の方  
相津香貴さん

これからの人生、何事も探求心を持ち取り組んでみてください。

羽場自治振興センター  
前沢英明所長

名水猿倉の泉を今後ともご  
最厚いただき足を運んでく  
だされば幸いです。

猿庫の泉保存会の方  
林憲世さん

羽場地区を担当していただいた皆さん一年間ご苦  
労様でした。活動の集大成の報告会で発表された  
「若者に魅力を伝えよう」の成果報告は、自分た  
ちの課題研究ができていて素晴らしいものでし  
た。文化祭への参加もうれしかったです。羽場地  
区を好きになってくれてありがとう。

佐々木祥二館長さん

## 羽場公民館長 佐々木祥二



今回、飯田OIDE長姫高校の生徒さん7名が「地域人教育」の一環として当地区を調べ、「地区外からの移住者や観光客が当地区の良さがわかるマップ」を作成してくれました。単に名所を地図に落とし込むだけでなく、実際にかかわる人から聞いた魅力や課題、その人の思いなども盛り込み、見た人が実際に行ってみたい、来た人がその魅力を他の人に伝えたい、というようなマップになっています。

### 大平街道を愛する会

大平街道は飯田と木曾を結ぶ街道です。大平街道を愛する会は、三十三観音の整備・復元や街道沿いの石造物の清掃や老朽化した看板の整備をしているほか、公民館紙を使って大平街道の各所の紹介をしています。

### 羽場セントラルパーク愛護会

羽場公園は地元の公園として、休日は子供連れがよく訪れています。「みんなが楽しめる公園になってほしい」という思いで愛護会が発足しました。清潔で花あふれる羽場を目指して、地区の人たちで協力して整備活動をしています。

### 羽場獅子舞保存会

羽場獅子舞保存会は小中学生を中心とする子供育成部32名を含む120名以上の会員で活動しています。様々な地域の祭りにており、長野オリンピックで獅子舞の舞を披露しました。獅子舞を通じて人と人とのかかわりを育んでいます。



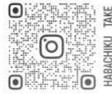
私たち飯田OIDE長姫高校商業科では、地域人教育という地域学習が行われています。3年次は課題研究の授業の中で飯田市内の10地区に分かれて地域での学びが行われています。羽場地区での活動は今年が初めての試みです。羽場地区について調べるなかでたくさんさんの魅力的な場所や文化があることを知りました。そこで、地域の人や観光で羽場地区を訪れた時に魅力が分かりやすく伝えられるように羽場地区のマップを制作することを決めました。

### マップ制作にあたって

【目的】手に取ってくれた方に私たちの思いを伝える行動を起こしてもらおう。

- STEP0 行ってみたい
- STEP1 行ってみた
- STEP2 誰かに魅力を伝えたい
- STEP3 人とのつながりが生まれる

地域の皆さんにとっては身近で当たり前にあるモノでも外部の人たちからするととても引き付けられるようなモノがたくさんあります。猿倉の泉や正永寺桜などの観光名所がもともとと広まってほしいと願っています。



HISACHIKU\_LINE  
飯田OIDE長姫高校 商業科 課題研究 羽場地区 2023.1.2

# 羽場 NICE DAY

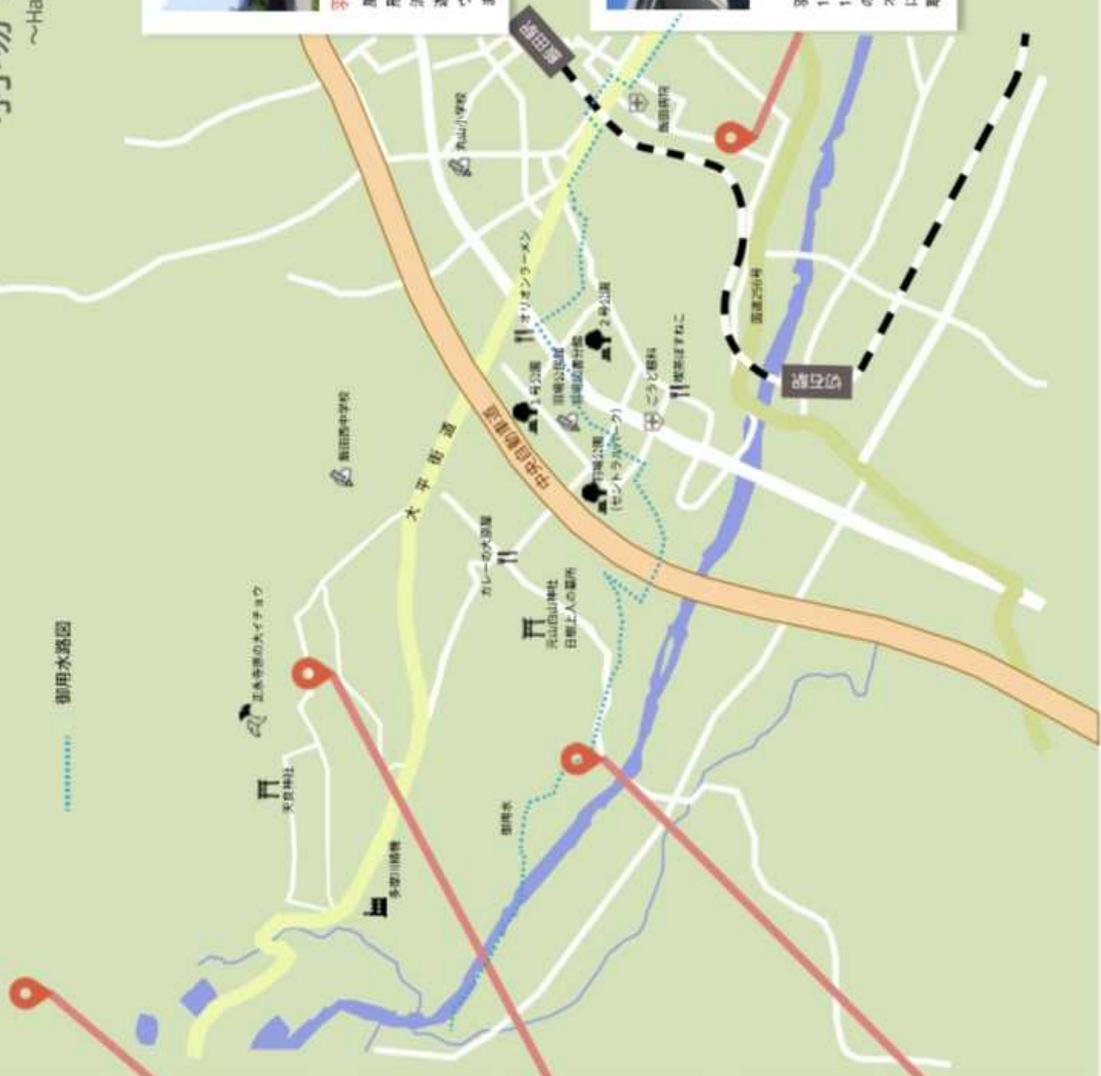
~Have a nice day~



# 羽場 NICE DAY

~Have a nice day~

御用水路図



**羽場公園 (セントラルパーク)**  
 風越山のふもとに位置する公園。地形を活かしたパーク内には、溪へ流れる穏やかな水遊び用の川や複合遊具、グラウンドがあります。グラウンドにはバスケットコートがあります。



**マルマン**  
 羽場地区にあるマルマン株式会社は1951年に丸圃園造株式会社を設立。1991年に無添加生洗剤を開発し、その後2000年に人と地球環境を守るオーガニック有機JAS認証、2006年にHACCP対応とISO22000の認証を取得しています。

\*大平宿はマップ外です



**桜籬の農**  
 鶴屋の奥は飯田市の北西に高くそびえる鳳越山麓の中絶谷に湧き出ている中央アルプス山系の花崗岩質の岩盤からの湧水です。若くに流れる内川尻から内一橋、橋一橋と変化させ、種籬と寄り添うようになりました。昭和60年7月産卵期の名水100選に認定されました。和泉家の個人が所産にお返しし、抹茶をもたせてくれる野の体験ができます。



**正永寺桜**  
 正永寺桜は高さ5mほどしかありません。日本唯一の新品種の桜です。花びらが一輪に60〜70枚もあります。飯田市の町並みを一望できる風越山の山麓、リンゴや柿の木が植えられた農圃園の一角にあります。



**信陽堂**  
 信陽堂は、羽場地区にある和菓子屋さんです。自製の「酒種まんじゅう」は、酒の香りがほのかに香る人気のまんじゅうです。また季節の菓子も製造販売しています。定期的に作品展も開催しています。

# 羽場 NICE DAY

つなかり  
～広げる交流の幅～

小澤知央 田切夕葵 畑野凜 本阿莉子  
八尋蓮楽 吉沢菜美 鷺美杏珠

## 猿庫の泉



野点とは：野外でお茶を点てること

## 正永寺桜



花びらの枚数：60～70枚  
日本唯一の新品種

## きねや



饅頭中心の和菓子屋  
(現在は閉店されました)

## オリオンラーメン



「心瞬く」をコンセプトに  
二郎系ラーメン

## 羽場セントラルパーク



遊具  
広いグラウンド

## 野点体験



雨天のため室内での体験に！  
猿庫の泉の水を使用した抹茶  
きねやさんの泉まんじゅう

## 信陽堂



酒種まんじゅう  
季節の練り切り  
芸術作品の展示

## 桜姫祭



練り切り  
薯蕷饅頭

## 寺子屋



地域の人の交流の場  
一緒に勉強したり  
折り紙したり...

## Instagram

羽場について  
広く知ってもらいたい！



## 獅子舞体験

古くから続く伝統文化  
頭は大きいもので  
約10kg



## 「遊びにOIDEよ！～羽場フェスティバル～」

射的・輪投げ・ヨーヨー釣り  
OIDE SPiCEの販売



アンケートの実施



## 宣伝・告知

ポスター、チラシの作成・配布



## 訪問宣伝

丸山保育園  
丸山小学校  
飯田西中学校



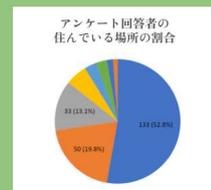
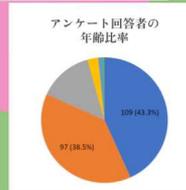
## 当日の様子



## 新聞に取り上げられました！



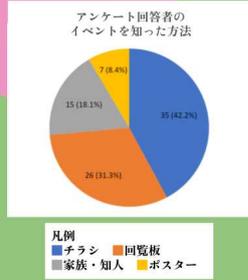
## アンケート結果



凡例  
■大人 ■小学生 ■保育園児  
■中学生 ■高校生 ■未満足

凡例  
■羽場 ■丸山  
■無回答 ■橋南 ■東野

## アンケート結果



凡例  
■チラシ ■同覧板  
■家族・知人 ■ポスター

楽しみにしている企画

射的	22
ヨーヨー釣り	13
食べ物(屋台など)	12
展示	8
獅子舞	7
芸能発表	5
古本市	3
表彰式	1
駄菓子屋	1
人形劇	1

おすすめの場所

セントラルパーク	61
砂弘温泉	7
公民館	2
猿庫の泉	2
図書館	1
大平街道	1
ベトナムの店	1

単位：人

## マップ



# 中心市街地

体験型謎解きゲームを通じた  
中心市街地の周遊者改善に関する一考察

## 新感覚謎解きゲーム ～in the central city area～



### 【研究メンバー】

小田来夏 後藤亜弥 玉田愛依  
原心夏 北條巧馬 矢沢花乃 横山桜弥  
山田将晶（指導教員）

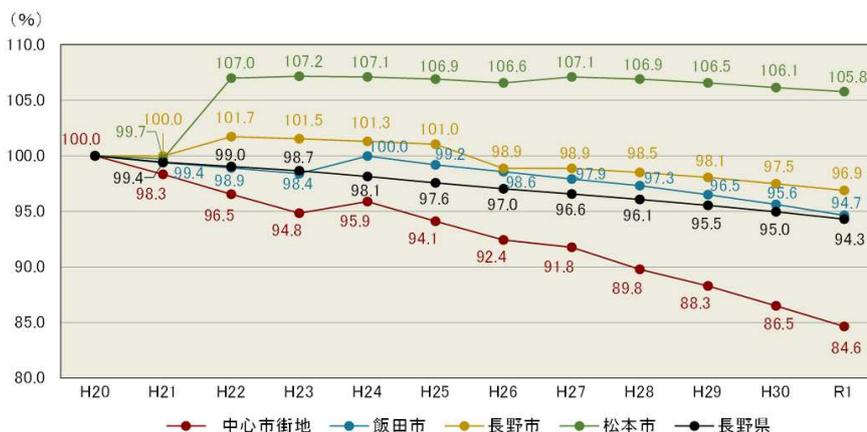
### 【ご協力いただいた方々】

セイコーエプソン株式会社 津田敦也様  
飯田市商業観光課 内山秀治様、小島徹様  
ケー・グラフィックス 川手達也様  
株式会社システム・サイエンス  
井上陸様、中野咲輝様、清水聖也様、千葉裕幸様  
株式会社クレストック  
山崎亨様、木田裕介様、岩井智寛様

## 1 はじめに

近年、謎解きイベントやリアル脱出ゲームといった体験型のイベントが全国的に流行している。今や謎解きイベントの参加者は年間500万人以上であり、市場規模は500億円を超えている（出典：TERRA NOVA ホームページ）。筆者らは商業科3年次「課題研究」の中心市街地班として、いわゆる、丘の上に関する課題を解決するために研究をスタートした。飯田市商業観光課の内山様から、飯田市における課題について講義を受けると、中心市街地の現状が見えてきた。

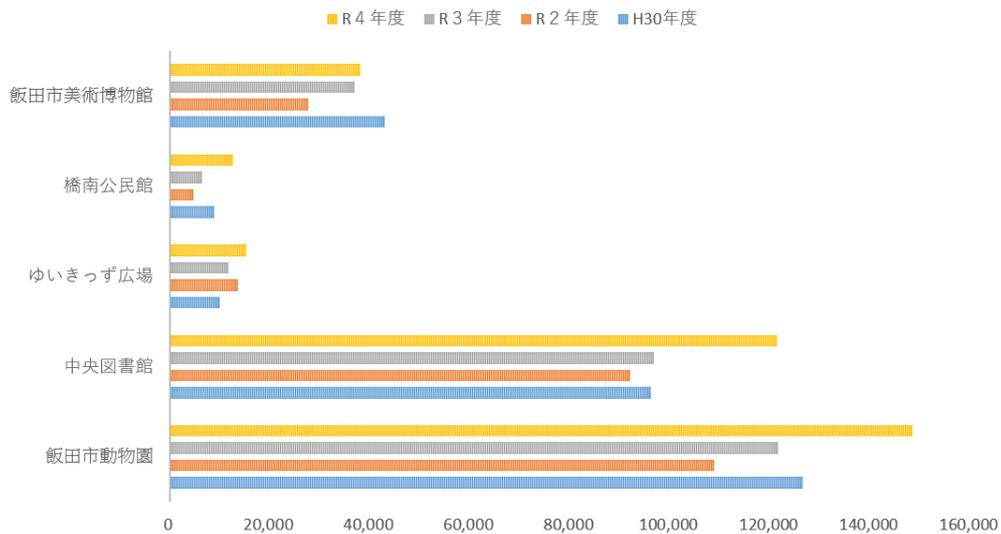
1点目は、人口減少である。平成20年度を100としたとき、中心市街地（折れ線グラフ一番下）の令和元年までの下がり幅はマイナス15%（84.6%）であり、長野市や松本市といった主要地区と比較して人口が大きく減っていることがわかる（図表1参照）。



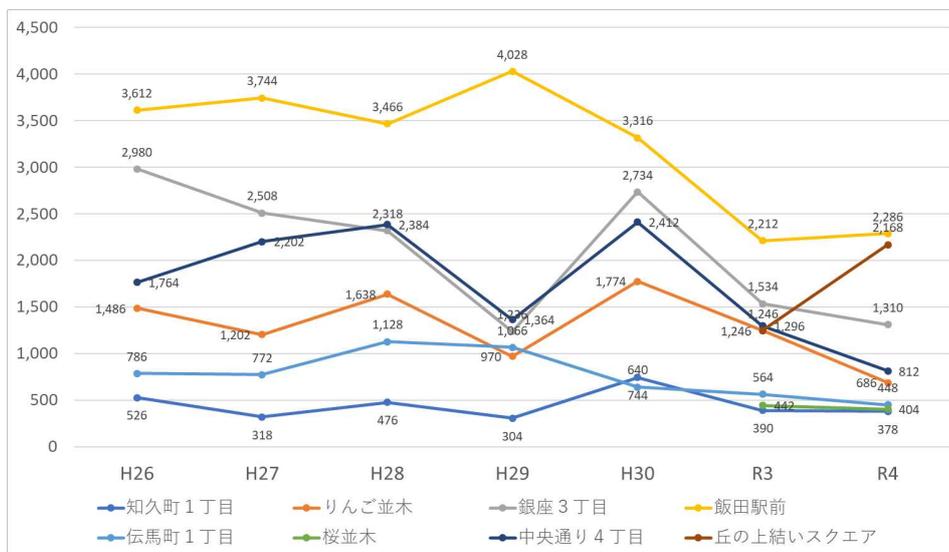
図表1：中心市街地の人口推移（出典：内山2023）

2点目に、施設利用者数と中心市街地の歩行者通行量から見えてくる課題である。図表2は、飯田市の主要施設における利用者数の推移である。中央図書館と飯田市動物園の令和4年度利用者数が過去最高を記録していることがわかるが、それ以外、年度による違いはあまりない。図表3は、丘の上におけ

る歩行者通行量の推移である。平成 26 年度からの変化として、全体的に右肩下がりであり、丘の上の歩行者通行量が減少していることがわかる。以上のことから、主要施設の利用者がいるにもかかわらず歩行者通行量が減少している。換言すると、ピンポイントで施設を利用する人がいるものの丘の上を歩く（周遊する）人は少ないことがわかる。



図表 2：飯田市の施設利用者に関するグラフ(出典：内山 2023)

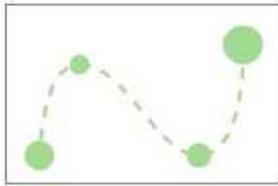


図表 3：歩行者通行量の推移（内山 2023 をもとに筆者ら作成）

## 2 先行研究の検討

### 【体験型謎解きゲームについて】

金丸（2022）によると、体験型謎解きゲームとは、ストーリーに従って出題されるさまざまな謎を解き進め、指定された目標を達成することを目的とした、実空間で行われる体験型イベントである。冒頭で述べた通り、近年多様な企業が多岐にわたるイベントを実施しており、その内容や形式は様々である。金丸（2022）では、ゲーム会場の広さによる分類と、謎解きエリアの違いによる分類がなされている（図表 4）。

会場の広さ	謎解きエリア
<b>ルーム型</b> 一つの室内など狭い空間	<b>室内型</b> ゲーム会場全体が謎解きエリア 
<b>ホール型</b> ホールや会議室などある程度開けた空間	
<b>施設型</b> 遊園地や美術館などの大型施設内	<b>周遊型</b> いくつかの謎解きエリアを巡る 
<b>街中型</b> 街中のひとつのエリア、もしくは複数エリア	

図表 4：体験型謎解きゲームの分類（金丸 2022）

### 3 テーマ決定、問い・仮説の設定

中心市街地の課題としては、人口減少、高齢化、空き家の増加、歩行者通行量の減少、特定の施設のみ利用者増加などがあげられた。

これらの課題の中で、「歩行者通行量の減少」「特定の施設のみ利用者増加」という課題に着目して研究していくことにした。歩行者通行量減少、特定の施設のみ利用者増加に関して、「中心市街地のお店を知らない」「実際に歩いてみる機会がない」という理由があるのではと考え、以下の問いを設定した。

- ①「どのようにしたら中心市街地のお店を知ってもらえるか」
- ②「どのようにしたら中心市街地にまた来たいと思ってもらえるか」
- ③「どのようにしたら中心市街地の歩行者通行量を増やすことができるか」

以上の三点の問いから次のような仮説を立てた。

- スマートグラスを用いた体験を行うことで、
- ①「中心市街地の他のお店を自分で探してみたいと思う気持ちが上昇する」
  - ②「また中心市街地に来たいと思う気持ちが上昇する」
  - ③「中心市街地を歩いてみたいという気持ちが上昇する」

### 4 実験計画

#### [目的]

本研究では、スマートグラスを用いて、体験型謎解きゲームをしてもらうことで、中心市街地の活性化、とりわけ丘の上の周遊者改善につながるのかどうかを検討する。

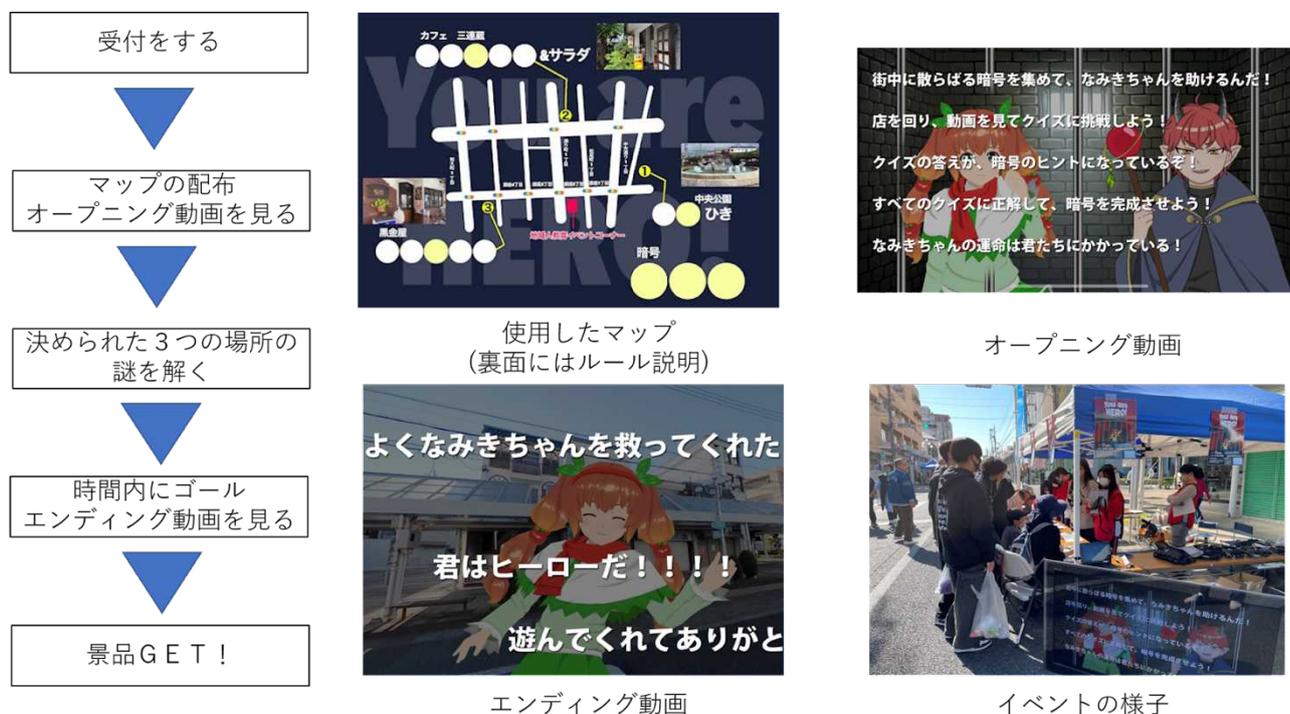
## [方法]

### 1. 回答者

質問紙調査は、2023年11月3日（木）に実施された【第15回丘のまちフェスティバル（以後丘フェスとする）】の観客を対象に行われた。回答者は男性16名、女性10名、計26名であった。

### 2. 実験デザイン

筆者らは、丘フェスにてブースを構え、参加者全員に事後アンケートを実施した。内容は、イベント前とイベント後で本日行ったお店以外も探してみたい・行ってみたい気持ちになったか、丘の上に来たいか、丘の上を歩きたいと思ったかといった質問に対して、「そう思わない」を1、「そう思う」を4とするリッカート尺度を用いた。なお、リッカート尺度とは、あるトピックに対して多段階の選択肢を用いたアンケートを取り、回答者がどの程度同意するかを測定する手法（出典：GMO RESEARCH）である。なお、先行研究の検討（金丸 2022）で体験型謎解きゲームの分類がなされていたが、筆者らの謎解きゲームは「街中型」「周遊型」に分類される。



図表5：イベントの流れおよび使用したマップ等

このイベントは、檻に入れられた「ナミキちゃん」を救うという設定のゲームである。ナミキちゃんとは飯田丘のまちフェスティバルのマスコットキャラクターであり、丘のまちフェスティバル当日が誕生日であることから、以下のようなストーリーを設定した。

悪者：ワーッハッハッハ！

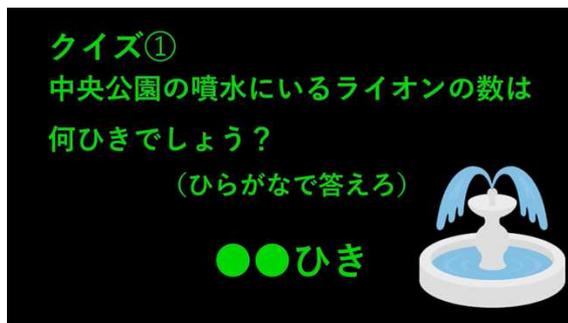
なみきちゃんはこの俺様がいただいた！

イベントの主役がいなけりゃこの丘フェスも中止だな！ガハハ！

なみきちゃん：今日は私の誕生日なのにみんなに会えないなんて、、、涙  
 ねえそこの君たち、、、！  
 お願いがあるの、、、！  
 檻の暗号を解いて私をここから出してくれないかな？

ナレーション：街中になみきちゃんを助けるための暗号が散らばっている！  
 それを集めてなみきちゃんを助けるんだ！  
 マップのとおり到店を回って、動画を見て、クイズを解いてくれ！  
 クイズに正解すると暗号のヒントが得られる！  
 すべてのヒントを集めて、一つの暗号を導き出せ！  
 そして檻に向かって叫ぶんだ！  
 なみきちゃんを救うまで諦めるな！  
 なみきちゃんの運命は君たちにかかっている！

図表6：本研究で作成した映像A～C（スマートグラスに流れる映像）



映像A：中央公園に関するクイズ



映像B：三連蔵（三ノ蔵）に関するクイズ

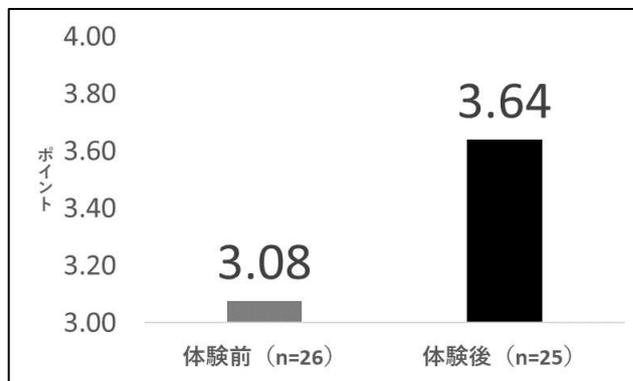


映像C：黒金屋に関するクイズ

## 5 分析・結果

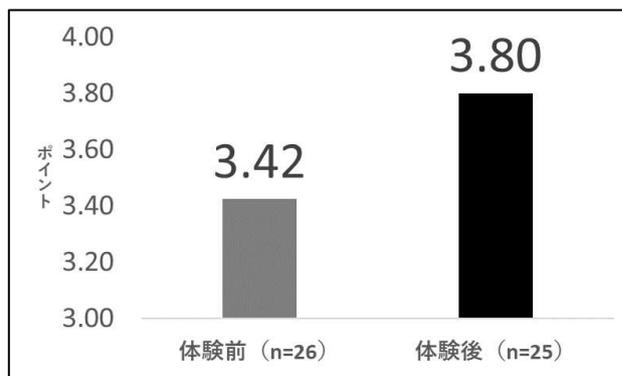
参加者には、イベント前とイベント後の【本日行ったお店以外も探してみたい・行ってみたいという気持ちになったか】【丘の上にまた来たいか】【丘の上を歩きたいと思ったか】という質問紙調査をイベント体験後に実施し、「そう思わない」を1、「そう思う」を4として、4段階で回答してもらった。

① 他のお店を探したい・行ってみたい気持ちになったかという質問の平均回答ポイントは、イベント前は3.08、イベント後は3.64であり、0.56ポイント上昇した。



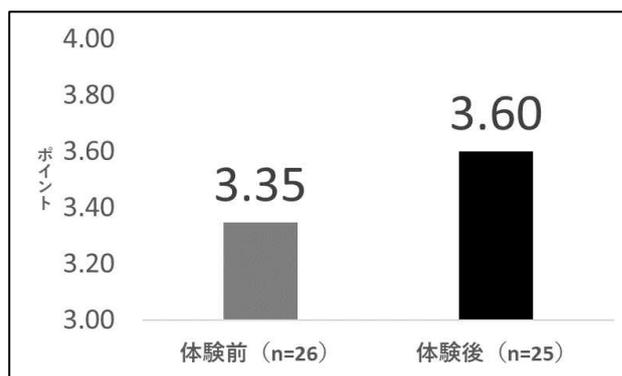
図表7：探したい・行きたい気持ち

② このイベントを機にまた来たいという気持ちの平均回答ポイントは、イベント前は3.42、イベント後は3.80であり、0.38ポイント上昇した。



図表8：また来たい気持ち

③ 歩いてみたい気持ちの平均回答ポイントは、イベント前は3.35、イベント後は3.60であり、0.25ポイント上昇した。



図表9：歩いてみたい気持ち

## 6 考察

図表11~13の結果から、いずれの質問においても仮説の通り、気持ちの上昇がみられた。分析および結果から、以下では仮説ごとに考察を行う。

**仮説①「スマートグラスを用いた体験を行うことで、中心市街地の他のお店を自分で探してみたいと思う気持ちが上昇する」**

本研究では、中心市街地にあるお店を知ってもらうために、メジャーな施設だけではなく、穴場スポットを選定した。スポットの選定に関して、時間制限と参加者の安全性の都合や、歩く範囲の制限から、立ち寄るスポットが限られてしまった。より多くのスポットを設定することができれば、参加者が中心市街地のお店を自分で探してみたい気持ちの上昇がみられたかもしれない。

飯島・中津(2016)では、「実施回数が増えていくと、まちのおすすめスポットが増えていくだけでなく、まち散策の行動データも蓄積していく」とある。今回はワンショットの実験であったが、複数回イベントを繰り返すことで、参加者が立ち寄れる場所が増え、丘の上を周遊する頻度が増えることが予想される。

## 仮説②「スマートグラスを用いた体験を行うことで、また中心市街地に来たいと思う気持ちが上昇する」及び仮説③「スマートグラスを用いた体験を行うことで、中心市街地を歩いてみたいという気持ちが上昇する」

丘フェスでの実験のターゲットは小学生高学年であった。ターゲットとしていた小学生高学年に興味を持ってもらえるようなストーリー(コンテンツ)にできたことに加え、これまで知らなかった新たなお店を知ってもらえたことで、中心市街地にまた来たい気持ち及び歩いてみたい気持ちが上昇したと考えられる。

一方、参加者の中には小学生低学年や小学生以下の子供もいたため、それぞれの年齢に合わせた難易度のストーリーやクイズを考えることで、さらに多くの人に中心市街地について興味を持ってもらうことができたと考える。

## 7 研究の限界

1点目に、サンプル数の少なさが挙げられる。使用できるスマートグラスの数に限りがあり、時間を要する体験内容であった、予約制の体験であったことで、計26のサンプル数にとどまった。より多くのサンプルを集めることで、信頼性・妥当性の高い研究結果になったと考えられる。

2点目に、参加者全員からデータを取ることができなかった。イベントの対象者は小学生高学年以上と想定していた。しかし、調査当日が丘フェスというイベントの性質上、小学生低学年以下の参加者もいたため、スマートグラスの使用やアンケートの回答が困難であったと考えられる。

3点目に、今回は時間の制限があり、アンケートをイベント後のみ実施したため、イベント前の気持ちについてもイベント後に回答する形式となった。これにより、実際にイベント前に抱いていた気持ちとは異なる回答となってしまった可能性がある。イベント前にもアンケートを実施することが、より正確な回答の獲得につながると考えられる。

## 8 おわりに

今後の展望として、地域住民が中心市街地の魅力を再確認することが大切だと考えられる。今回の研究を通して、「中心市街地に来て特定のお店や施設にしか行かない」、「中心市街地にある魅力になかなか気づかない」ということが分かった。そのことから、丘フェスをはじめとしたイベントにおいて、ウォークラリー形式で中心市街地の魅力をさらに広めることで、中心市街地に対して「また来たい」「歩きたい」と思ってもらえるのではないかと考える。そのためのツールの一つとして、体験型謎解きゲームが普及することを期待する。

## 研究メンバー感想

最初はこの活動に興味を持てなかったけど今では選んでよかったと思いました。諏訪に行って、多くの企業の人と行ったアイデアソンはいい経験だったと思います。XR・スマートグラスを使った企画を考えて、それを丘フェスで実行するのは大変でルートを決めたりすることは悩んだけれど、最終的にはいいのができてよかったです。一年間ありがとうございました。

おーや

活動が始まった頃は、XR って難しそうだし山田先生も7月までいなかったから、自分たちが企業の方たちと進めていけるのかと不安しかなかったけれど、飯田丘のまちフェスティバルでイベントを開催することになって、自分たちが楽しいと思えることを自分たちの力で進めることができました。スマートグラスを使うにあたって色々な壁があったけれど、みんなでたくさんのアイデアを出し合いながら考え抜いてこれたことにとても達成感を感じたし、自分の力になったと思います。

をだ

最初はスマートグラスについて知らなかったし、企業との連携とはどういったものなのかもわからず、正直とても不安でした。イベントに関しても、スマートグラスの活用方法を考えるのは難しかったです。ですが、グループで何度も話し合いを重ねることで、たくさんの良いアイデアを出すことができました。イベント当日は企業の方々の協力もあり、目標としていた人数のお客さんに来てもらえて、結果としてとても良いものになったと思います。一年間の活動を通して、自分自身成長できた部分が多くあります。それには一緒に活動に取り組んできたメンバーの存在が不可欠だったと思うので、改めて感謝したいです。また、一年間協力していただいた企業の方々や、商業観光課の方々、そして山田先生、本当にありがとうございました。

きやの

スマートグラスがそもそも何なのか、中心市街地はどこなのかははっきりわからない状態ではじまって不安ばかりだったけど、たくさんの人の協力をもって自分たちがワクワクするような活動ができました。アイデアをみんなで出し合って試行錯誤する時間が一番楽しかったです。

ここなち

最初は中心市街地班になり、大変なことや難しいことが多かったが、やっていくにつれ、たくさんの企業・自治体・飯田市在住の方々に支えていただき、こうして研究を終えることができ、とても感謝の気持ちでいっぱいです。今回の研究を通して、この班になれたこと、このメンバーになれたこと、たくさんの方々に関われたこと、全てよかったと思える1年間を過ごせました。今まで頑張ってきたことが課題研究発表会で発揮することができ、高校生にはできないような経験になったので、この経験を今後にも生かして行きたいと思います。

ごとう

最初は不安だったけど中心市街地班のみんなと一年間やるうちに地域の人や企業の方々とのかわりも増えとても楽しいものになりました。丘フェスのイベントも企画を考えるところからわくわくして丘フェス当日を迎えるとたくさんの小学生や親子連れの方たちがきてくれてうれしかったです。最後の課題発表会ではスライドや原稿も直したり、リハーサルを何回もしてとてもいい発表になったと思います。本当にお世話になった方々と山田先生、一年間ありがとうございました。

たくまっち

活動が始まる前は、まず XR がなにかも分からなかったのが、難しそうだと思っていて不安でした。丘フェスに向けての話し合いで、スマートグラスだからこそできるもの考えるのが難しく、なかなか班の意見がまとまらないこともありましたが、話し合いを重ねたり協力して準備を進めたりして、いいイベントにすることができたと思います。また、1年間を通して自分自身の成長できたことが多くあったと感じました。大変なこともありましたが、楽しんで活動することができました。

めいめい

## 協力していただいた企業の方々より（敬称略）

### XR を活用した地域活性

初めて皆さんに XR について話しをした時、私自身想定した反応だったと記憶しています。一体 XR ってなんだろう？スマートグラスは面白いけど、どう使うの？

一緒に取り組ませてもらったアイデアソンをきっかけに、皆さんは何かのヒントを得た実感がありました。実際、市役所職員とのアイデアソンを行う頃には、XR の伝道師と言っても良い存在になってくれました。最先端のテクノロジーを理解し、価値を創出するために探求・分析、コミュニケーション能力を発揮して人々を巻き込みアイデアを具現化。今年度はゲームの要素を含んだ地域活性の取り組み、体験した子ども達が目を輝かせていましたね。皆さんが取り組んだ思考の過程は、これから社会人として活躍するどんな場面でも通用します。今回の経験から得られた知見や体験を、皆さんの明るい未来を創るために役立ててください。

セイコーエプソン株式会社 津田 敦也

6月に初めてお会いしてから短い間ではありましたが、皆さんの成長を日々感じる半年でした。企画立案や、イベント内容の検討、丘フェスでの実証実験等、思ったよりうまくいったこと、なかなか思い通りにいかなかったことなどたくさんあったかと思います。そんな中で悩みながらもひとつのものをつくりあげることができたのは貴重な財産です。ぜひ大切にしてください。

クレストックでは、伝えたい「思い」をどのようにすれば分かりやすく伝わるかを大切にしています。今回の活動の中で、自分の「思い」を発表する機会がたくさんあったと思います。伝えることの大切さ、難しさを少しでも感じてもらえていたら嬉しいです。

皆様の今後のご活躍を心から応援しています。

株式会社クレストック 岩井智寛

飯田市イベント、成果発表会のご対応お疲れ様でした。発表会の動画を拝見致しましたが、皆さんの成長を感じとても嬉しく思いました。また、私も皆さんから沢山の学びを得ることができました。ありがとうございました。今はまだ実感が無いかもしれませんが、今回の体験は皆さんが社会に出た際に必ず役立つ経験であると考えています。仲間と共に物事を検討するところから、実際に形にして運用していくことは仕事内容にもよりますが、社会に出てもなかなか無い貴重な経験です。今回この経験を最後までやり遂げたことは、皆さんの大きな財産になると思います。この経験で得た学びを活かし、社会人になってもチームの成果を上げていけるような存在になってほしいと思います。頑張ってください！応援しています！

株式会社システム・サイエンス 中野咲輝

中心市街地グループは、昨年度に引き続きデジタル技術を活用した中心市街地の活性化に取り組んでいただきました。EPSONをはじめ関係企業の皆様の支援により、上伊那の高校や大学、企業の方々とアイデアソンを行うことで多様な考え方を学び、市内住民の方々から現状や取り組みの様子をお聞きすることで中心市街地の理解を深め、最終的には中心市街地の通行量が減少していることを課題に据えた周遊促進事業に取り組んでいただきました。皆さんのチーム力と新しい発想でコンテンツを作り上げたこと、非常に大変だったと思いますが、今までにはない面白く素晴らしいものができたのではないかと思います。関係企業、地元事業者の皆様のご支援に感謝いたしますとともに、生徒たちと一緒に活動できたことは私たちにとっても貴重な経験となりました。これからも飯田市の魅力を一緒に発信していきましょう！

飯田市商業観光課 内山秀治

「XR×？」この？を一緒に探しましょう、というメッセージに集まってくれた7名。担当教員が3ヶ月間育休で不在という中、本当によく頑張ってくれました。私がこれまで課題研究を担当してきた中で一番、「自分たちで考えて動けるグループ」だったと胸を張って言えます。（最後の最後まで全然おらんかったやんけ～、という声も聞こえますが…）

GROWTH CHALLENGE への参加、飯田市住民へのワークショップ、成果発表会…たくさんの発表の場を経験しましたね。人前で発表することはとても緊張するし、うまく考えをまとめられないこともあったと思います。発表スライドの作成でも、何をどのように伝えれば良いか迷ったこともあったはずです。【守破離（しゅはり）】という言葉を知っていますか？「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身につける段階。「破」は、他の師や流派の教えについても考え、良いものを取り入れ、心技を発展させる段階。「離」は、一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階です。何事も基礎・基本が大事で、いきなりすごい事はできないという意味です。この1年で皆さんは「守」が身についたはず。就職・進学先では「破」「離」へステップアップして欲しいと思います。

本当はもっと深く一緒に考えたかったけれど、問いと仮説を考える力は社会人に必須の力だと私は考えます。仕事に就くと「なぜ●●なのか」「もっと▲▲のように工夫すれば良くなるのでは」という場面に出会います。前者が問い、後者が仮説ですよね。何事にも疑問を持ってみてください。当たり前のことに疑問を持ってみてください。

この7名のメンバーと一緒に研究ができて本当に楽しかったです！ありがとうございます！

指導教諭 やまどう

ゆめをかなえて、さくら咲け！



【研究メンバー】

西野楓 淵田純也 松下秀斗 原田夏海  
土岐娃里 片桐夢花 小林瑞稀  
武藤悠子(指導教員) 吉川隆志(鼎公民館主事)

【ご協力いただいた方々】

飯田商工会議所鼎支部 様  
ヨシザワ印刷 様 ひさかた和紙の会 様  
JR東海飯田駅 様 飯田市鼎公民館 様

1. はじめに

私達は、鼎地区を知り課題解決するまでのこの研究の道のりを桜の開花に例えた。研究課題探しを「Step1土地探し」とし鼎公民館長さん、まちづくり委員会の会長さんにお話を聞き、その中でヒントをいただき活動を開始した。そこから「Step2発芽」「Step3蕾」「Step4開花」まで私達の活動は続いた。

2. 研究課題 【 鼎のシンボル探し 】

鼎地区には魅力がたくさんある。一方で、その魅力を一つに絞ることができない、地域内にPRできる統一した象徴・シンボリックなものがないのかそれとも絞れない課題があるのか。そこで、鼎を象徴する何かを作りたいという思いから、鼎のシンボル探しの活動を行ってきた。

3. 研究経過

5月 鼎の名前の由来などを知る	10月 鼎商工会の皆様と協力しお守り制作
6月 放置竹林を活用した展示物を制作	11月 お守り販売・シンボル調査
7月 文化祭・今後について話し合う	12月 シンボルを地域に広げる活動を行う
9月 JRの夢をかなえる切符を知り行動に移す	鼎あかり保育園との交流

4. 研究内容

(1)竹を活用した射的・ヨーヨー釣り・七夕飾りの実施

名古屋副区長さんから、放置竹林の問題についてお話を聞き、「桜姫祭」の商業科展示”OIDEよわくわくタウン”の地区のブースにて竹を使った的、つり竿を作り射的やヨーヨーなどの遊び場、七夕飾りを行った。来場者の方々に竹で遊んでもらうと同時に鼎の意外な一面である竹林問題に目を向けてもらうことを目的とした。

(2)鼎駅名の入った切符付きお守り制作・販売

文化祭で放置竹林については一区切りにし、鼎にまつわる他の活動で、課題解決に役に立つようなものを探しているうちにJR東海飯田線鼎駅から桜町駅間の「夢をかなえる切符」の存在を知った。JR東海飯田駅様、ひさかた和紙の会様、ヨシザワ印刷様にご協力いただき、飯田商工会議所鼎支部の方々と相談をしながらデザインを一から考え、ひさかた和紙の台紙に切符を貼り付け「夢をかなえよう切符」を制作、販売した。

### (3) 県の文化祭で行った2つのアンケート調査と仮説

1つ目に県の象徴について「県と言えど？」のアンケート調査を行った。その結果、獅子舞、ポプラの木、廊下のない小中学校の校舎などが出てきた。このアンケート結果から子供の頃の記憶が県の象徴に影響しているのではないかと感じた。2つ目は絵馬のデザインアンケートを行った。私達は年代ごとに趣味嗜好が大幅に変わると考え、2つの絵馬デザインを考案し、作成した。デザイン1は可愛らしく子供から人気が出そうな見た目をしたきつねのデザインの絵馬。デザイン2は少し渋いが、可愛さも兼ね備えているきつねのデザインの絵馬。これらの絵馬のアンケートを来場者の方々に決めてもらった結果、デザイン1の可愛らしいきつねのデザインが子どもたちに圧倒的人気になり、その後に制作した絵馬のデザインとなった。

豊栄稲荷神社【ゆめかなえ神社】を県の方に知ってもらいたいという商工会の方の願い、そして幼いころから地域について知り学ぶきっかけ作りとして知ってもらいたい私たちの想いから、県あかり保育園の園児たちとともにクイズで遊びながら豊栄稲荷神社を通じた交流を実施した。

また商工会の方にご協力させていただきき絵馬とポスターを制作し、県中学校にお渡しした。

### 5. 考察

県の文化祭当日に恋愛、金運、合格の夢をかなえる切符を販売した結果は金運が多く売れた。しかし子連れの親子やご高齢の方の来場者が多く、中高校生をターゲットにしていた恋愛や合格の夢をかなえる切符にあまりは興味を持ってくれなかった。他にも県の魅力を伝えるために資料やパワーポイントを作成して展示を行ったが、見てくれる来場者が数人程度しかいなく、じっくり見ないと内容がわからない文章よりも一瞬で見ればわかるグラフやデータをもっと活用したほうが良いと感じた。

一方、文化祭のアンケートから子供の頃の思い出が大人になっても強く印象に残っていることがわかった。県あかり保育園の園児たちとともに豊栄稲荷神社【ゆめかなえ神社】でクイズ遊びをすることで、子どもたちの印象に残れば、神社の知名度向上そして地域を知るきっかけにつながるのではないかと考えた。神社の近くに公園が建設予定ということなので、これからも子どもたちの思い出に残る場の1つとして発展して欲しい。

### 6. 今後の課題

地域を知ってもらう地域学習の一貫として、ゆめかなえ神社を県あかり保育園の園児たちと一緒に訪れた。飯田商工会議所県支部内には駐車場があり、今後園児たちが神社前の広場で遊ぶ時やゆめかなえ神社参拝時に危険が生じてしまう可能性を感じた。住宅や商店等が立ち並び住みやすい地であるがゆえの課題があり、これをきっかけにさらに住みよい素敵な街になって欲しい。

また私達の活動で豊栄稲荷神社【ゆめかなえ神社】を地域の様々な方々に認知してもらおうと県公民館HPで紹介ページの制作と掲載も試みたが、どのくらいの方に認知してもらえたのか調査には至れなかった。県の文化祭で販売した「夢をかなえる切符」が商工会の方々や購入してくれた方々に好評だったので来年もこのような活動を引き継いで欲しい。

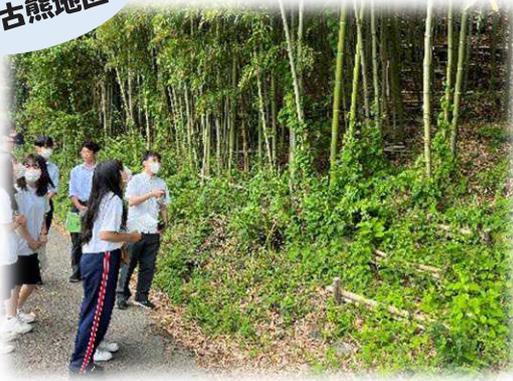
### 7. 終わりに

この研究でシンボルを探しをした。しかし県の地名そのものが、最大の魅力であることに気づいた。商工会議所の方々の願い、県地区の方々の想いを通じて得た、当たり前のように感じていた「かなえ」という地名そのものが持つ魅力。誰もが感じる県の良さ。これからも多くの人にその魅力が認知されていくことを願っています。

ご協力して下さったたくさんの皆様のおかげで、私達は、楽しく県地区で一年間課題研究を活動することができました。本当にありがとうございました。

6月  
名古熊地区

放置竹林



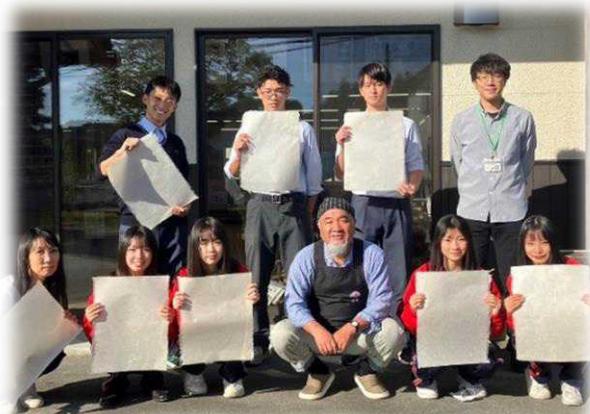
学科展示“OIDEよわくわくタウン”

7月  
桜姫祭

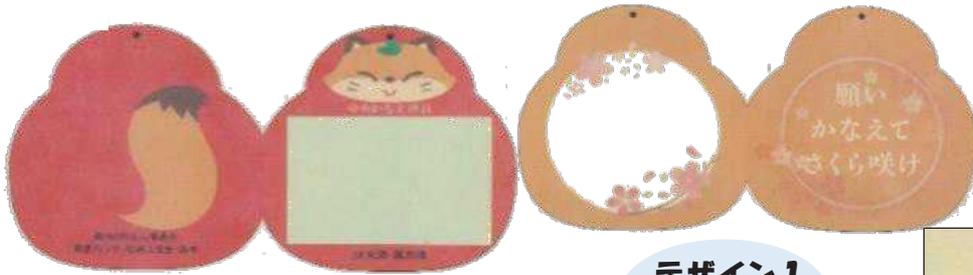


ひさかた和紙 紙すき体験

10月  
伝統工芸



夢をかなえる切符デザイン



デザイン1  
合格祈願



デザイン3  
恋愛成就



デザイン2  
金運



鼎ふれあい文化祭

11月  
お守り切符販売&アンケート調査



園児とお散歩

12月  
鼎あかい保育園





生徒と支部会員で神事を行った



生徒がデザインした絵馬

# オリジナル絵馬で魅力発信

## 豊栄稲荷神社 O長生が鼎中へ贈る

飯田OIDE長姫 校3年生118人に  
 高校商業科3年生7 文化祭で販売。課題  
 人は、飯田商工会議 届けた。 や魅力を探り、自分  
 所鼎支部の建物北側 地域活性化や地域 たちに取り組みそう  
 にある豊栄稲荷神社 社会に貢献できる人 なことを考えてき  
 (下茶屋)にちなん ロケラム「地域人教 材を育成する教育プ  
 だオリジナルの絵馬 育」の一環。これま 神馬づくりは、同  
 を作成した。同支部 地区内の放置竹林 社のことを知って  
 の会員のサポートを を活用した屋台つく もらおうと作成し、  
 受けながら、デザイ りや、同支部とJ.R 高校受験を控える鼎  
 ンを考案。20日は神 東海のサポートを受 中学校3年生に配っ  
 事で絵馬の折袴を けて作成した「ゆめ 絵馬の表にはキツ  
 し、翌21日に鼎中学 かなえ切符」を地区 ネの顔と、生徒が考

えた同神社の愛称 「ゆめかなえ神社」 の文字をデザイン。裏面にしっぽと「大願成就」を据えた。この日の神事には生徒と同支部会員など約15人が参加。厳かな雰囲気祝詞が奏上され、代表者が玉串奉てんを行った。

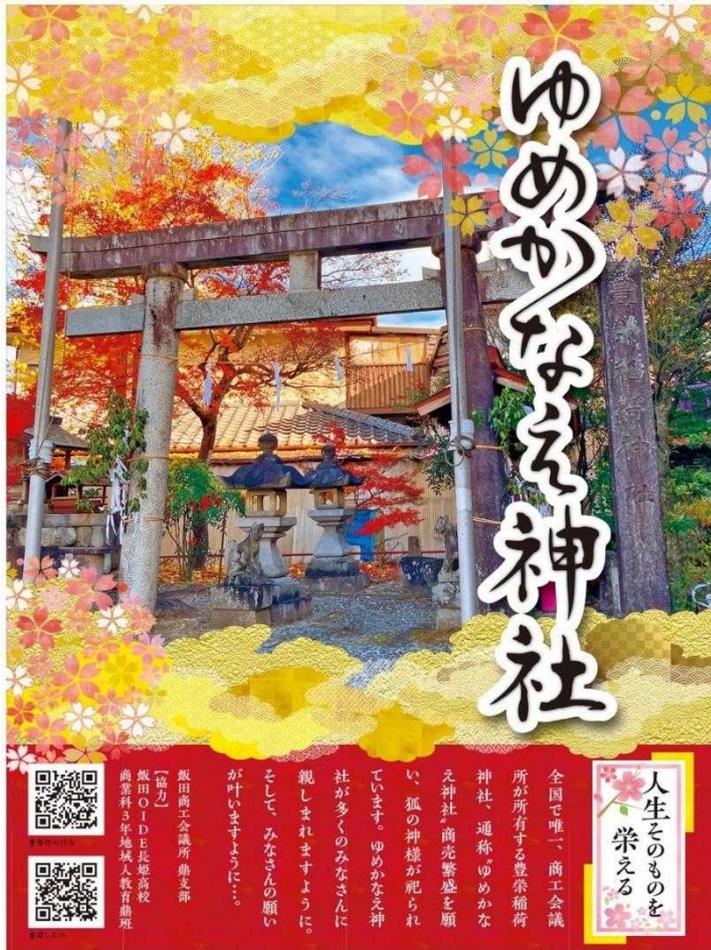
同支部の吉澤和人支部長(65)は「神社に着目してくれてうれしい。若い世代のアイデアで活性化につなげていければ」と話していた。

淵田純也さん(17)

南信州新聞  
 2023年 12月23日(土) 掲載

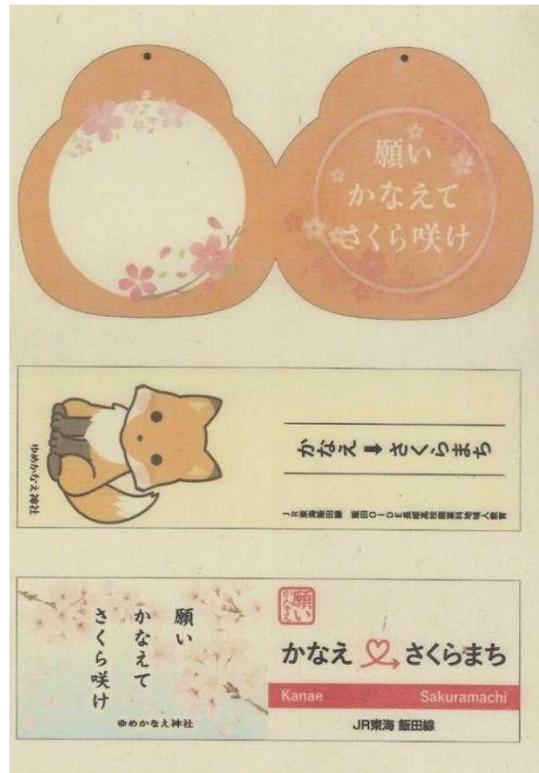
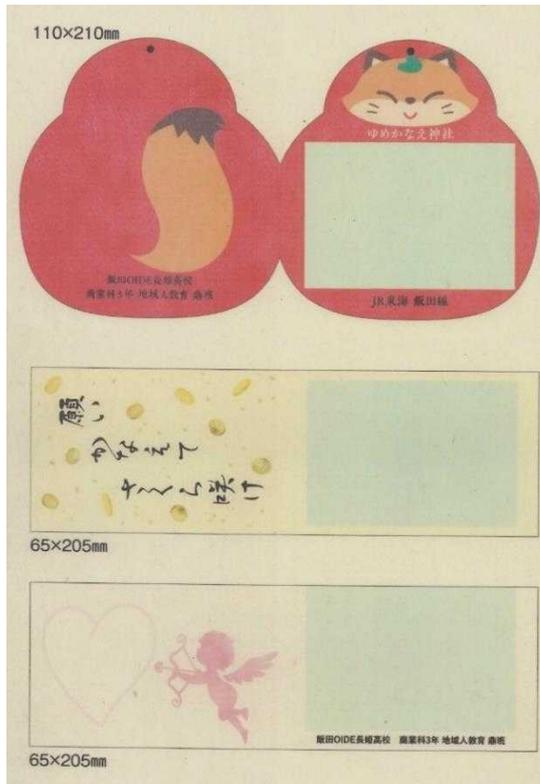
### ▼デザインした絵馬





◀ ゆめかなえ神社  
紹介ポスター

▼ デザインした切符





**発芽**



**”ゆめをかなえる“  
お守り切符**

**蕾**



**発芽**

**合格祈願  
+  
恋愛成就 金運**

**蕾**



- 発芽**
- ◆ **和紙を使用**
  - ◆ **切符の日付は11月1日**
  - ◆ **販売枚数→縁起の良い数字**
  - ◆ **神社のイメージに合うデザイン**
  - ◆ **文化祭にて200名程度に宣伝**

**蕾**

◀ **県あかり保育園** ▶



**狐さまに挨拶**

**発芽**



**開花**

**発芽**

**通称**



**開花**



# 一年を振り返って

みんなで和紙作り体験をしたり、絵馬のデザインをしたりと、この課題研究でなければできなかった経験ばかりでとても充実した楽しい1年間でした！そう思えたのも、鼎地区の方たちの暖かさと一緒に楽しみながら活動してくれた武藤先生、吉川さん、鼎地区のメンバーのおかげです！本当にありがとうございました！  
片桐 夢花

課題研究を通して地域のいろんな人と関わることができ、鼎地区のことを知ることができたので良かったです。地区の文化祭も楽しかったです。1年間ありがとうございました。  
小林 瑞稀

はじめは鼎地区のことを何も知らなかったのが不安なことだらけでしたが、活動していくうちに鼎の内なる魅力を知ることができました。課題の難しさから様々な活動に挑戦する中で、失敗しても、メンバーみんなで協力して改善し、更により良くするために努力することができました。大変だったけど、頑張って活動してよかったです。学んだたくさん的一件事をもっと多く活かせるようにしたいです。鼎班のみんな、一年間ありがとうございました！  
土岐 あいり

じゃんけん二回戦目で勝ち取った鼎地区。他のグループが本格的に活動を進め始めていく中、鼎班はまだインタビュー段階で先が思いやられましたが、むしろ充実すぎる活動を行うことができ、さらには商業科の代表にも選ばれてまちでたまらないですね。1年間の活動を経て、グループ決めの初戦じゃんけんでは負けて良かったなとすごく感じます。活動成果が今後鼎地区の地域活性化に繋がれることを願っています。

原田 夏海

私はこの一年間の課題研究を通じて、自分一人では決してできない様々なことを行いました。同じ地区の仲間たちとともに鼎地区の課題に向き合い解決に向けて行動したり、地域の方と協力して「夢を叶える切符」などを作成・販売を行ってきました。これらの活動で私は、地域人教育とは人と人とのつながりが一番大切だということに気がつきました。今回気づいたことをこれから先の人生にしっかりと活かし、地域で活躍できる大人になりたいです。

西野 楓

私はこの課題研究を通して大きく成長することができました。地域の方と協力し、「ゆめかなえ切符」を作り、地区の文化祭で販売することができました。他にも多くの方と関わる機会がありました。これらの活動は班のメンバーがいなければできませんでした。とても楽しい活動ができ鼎地区を知るきっかけになったのでよかったです。

湊田 純也

鼎地区の多くの方々に応援していただき、支援していただき、一緒に喜んでいただき、1年間の活動を楽しんで続けることができましたね。地域の方から与えていただいたものは数多く、いつもみんなからは感謝の言葉が飛び交っていたこの1年。研究後に受け取った地域の方からのとても嬉しいお言葉は、みんなたちの気持ちと、地域の方々がつながれた証拠だなと思います。これから先も心を込めて行った活動は、誰かにその気持ちが届いていくはず。地域のみなさま、主事さん、本当にありがとうございました。

担当教員 武藤悠子

# お世話になった方々から

まちづくり委員会や商工会議所叶え支部の皆さんにご教示・ご支援いただき、竹の遊び場をつくったり、「ゆめかなえ神社」(豊栄稲荷神社)の名入りのJR「鼎→桜町」切符の台紙を制作し更には神社の絵馬やポスターをデザインしたり、その過程で久方と紙を勉強したりと、いろんな面白い体験ができました。たくさんの大人たちに出会えたのも、生徒さんたちの積極性から生まれた収穫だと思います。お世話になった主事さん、鼎の皆さんに感謝です。

鼎公民館長 笹 行夫

一年間の地域人教育への取り組み、大変お疲れ様でした。皆様には今年度の取り組む地域に鼎地区を選んでくれたことに感謝します。発表では映像とともに発言が明瞭で声量もあり、活動の経過および成果がよく理解できました。鼎の歴史から地域を学び、地域ブランドを立ち上げる経過があり、「か・な・え」の言葉の中に地域ブランドを見つけられたように思われました。皆さんの今後の飛躍を期待します。

鼎地区まちづくり委員会会長 前田 雄仁

「鼎を愛する者」にとって皆さんの若い方々が鼎駅、豊栄稲荷神社に着目していただいた事に嬉しく感謝申し上げます。日常生活に埋もれがちな価値観を見出してくださり新たな刺激を受けました。地元の魅力をどう発信させるのか、これからも試行錯誤しながら盛り上げてまいりたいと考えます。「鼎班」の皆さんのこれからのご活躍をお祈り申し上げます。

飯田商工会議所鼎支部長 吉澤 和人

この度の地域人教育の一環に飯田商工会議所鼎支部として関わらせていただき、ありがとうございます。また、12月21日の発表には、とても感動しました。いい視点でまとめてあるなあと感心もしました。特に鼎の企業の繁栄を祈願するお稲荷さんに着目し、祈願成就の神社として足を運んでいただけのきっかけを創出してくれました。鼎支部としましても、さらに地域の財産として大切に管理し、OIDEの皆さんの残影を残しつつ、守っていきたいと思います。1年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。未来に羽ばたいて行ってください。

経営アドバイザー 山田 浩志

一年間本当にお疲れさまでした。鼎地区で活動してみてどうでしたか?「魅力が多すぎてシンボルが定まらない」というのはある意味贅沢な悩みですが、住んでいるからこそ見えにくいことに課題があると思います。そんな難しいテーマでしたが、皆さんの取り組みからいろんな大人がヒントや元気をもらうことができました。特に二学期に入ってから怒涛の展開でしたね。文化祭でできたことや見えてきた課題から、仮説を立ててしっかりと次のアプローチにつなげた皆さんの頑張りは見事だったと思います。皆さんの熱意や説得力のあるアイデアがあったからこそ、地域も全力で協働できたのだと思います。放置竹林で学んだように、人が暮らすうえでは色々な問題や課題が発生します。ですがそこに目を向け、知恵を出し合うことで解決の糸口が見えてきます。この一年の経験を活かし、是非今度は自分の暮らす地域に目を向けてみてください。今回の経験がきっとどこかで皆さんの役に立つときが来ると思います。最後に、地域人教育で学んだこと、感じたことを大切に、今後も自分らしく楽しんで過ごしていってもらえたら幸いです。また気軽に神社に足を運んでください。ありがとうございました。

鼎公民館主事 吉川 隆志

## わたしとりんごと龍江と



## 【研究メンバー】

池田汐里 梶間理預 小林大地 田中美桜  
半崎可恋 松下博祐 宮下美優 横前璃々葉  
白木日菜(指導教員) 平田玖留実(主事)

## 【ご協力いただいた方々】

たつみ農園 松尾 明則 様  
丸峽農園 藤本 浩二 様  
農業法人今田平 大平 盛男 様  
天竜峽農園 松尾 寿 様  
waratte house 杉山 愛 様

## 1. はじめに

龍江にはりんご農家がたくさんある。龍江の地形は段々畑になっていて西日がよく当たり、りんごを育てるのに適しているということを農家さんから話を聞いて知った。そこで、「りんご」を使って龍江の良さを知ってもらうために高校生のかえたりんご観光プランを楽しんでもらうこととなり、プランを考えた。

## 2. 研究課題

龍江の特産物であるりんごを使って龍江の良さをPRする。

## 3. 研究経過

5月 龍江を知る 9月 「龍江の想い」の皆さんからお話を聞く  
6月 文化祭に向けて準備・販売 10月 観光プラン作成  
7・8月 リンゴソーダ開発 11月 観光プラン体験  
天竜峽をどりにて販売

## 4. 研究内容

## 🍏 リンゴソーダ開発

天竜峽をどり(りんご祭り)で出店し、新しいりんごの活用方法を考えた。リンゴソーダを作るにあたって、waratte houseの杉山さんに協力してもらいリンゴシロップの作り方を教えていただいた。またりんご祭りでは地域の方と交流し、地域の良さを知った。

## 🍏 「龍江の想い」

松本大学の先生方に相談させていただく機会があり、そこでリンゴソーダがあまりうまくいかなかったということと相談すると「自分の腹の底から出てきた言葉でお客さんに商品、りんごの良さを伝えないといけない。そのためには、農家さんの思いを聞いて入り込まないといけない」とアドバイスをいただいた。そこで龍江のりんごの

魅力を伝えるために、“龍江の想い”として活動するりんご農家の方のりんごへ対する思いをお聞きした。農家の方から、りんご狩りを通して観光に力を入れていると聞き、高校生が考える龍江の観光プランを作成することにした。

## 🍎 観光プラン作成・体験

りんご狩りを中心としたターゲットの違う4つの観光プランを考えた。

- ①龍江を旅しよう！（家族） ②これからの日本を支える精鋭たちの旅(20代)
- ③ゆったりリフレッシュする旅(50代) ④ひとり旅

熱気球体験イベントにて地域の方にアンケート調査を行い一番魅力を感じるプランに投票してもらった結果、家族向けプランが一番だった。そこで島田先生家族にプランを体験してもらい、龍江の魅力を知ってもらった。

## 5. 考察

当初、龍江について何も知らなかったのので、まずは龍江を知ろう！と動き出した。そこで、龍江で有名なつつじ橋やたつみ農園などに足を運んだ。龍江では、主に天竜舟下りとりんごなどの果物が豊富だと知り、文化祭でたつみ農園さんのももとりんご、三種類のジャム(桃ジャム・紅玉ジャム・ふじジャム)、丸峽農園さんのりんごジュースを販売した。その中でも、桃ジャムとりんごジュースが売り上げを伸ばした。夏休みには、天竜峡をどりに参加しリンゴソーダを販売した。しかし、想像していたよりも売り上げは伸びなかった。松本大学の先生に相談して農家の方の思いを聞いたほうがいいとアドバイスを貰い、龍江の想いの皆さんに話を聞く機会をいただいた。すると、高校生に観光プランを考えてもらいたいということで、最終的に龍江の良さをたくさんの人たちに知ってもらえるようにプラン作成を始めた。何個かプランを考え、気球イベントでどのプランが一番いいか龍江地区の方々にアンケートを取った。すると、家族プランが一番票数が多かった。ターゲットをファミリーに絞り、島田先生家族に体験してもらったところ評判がよく、プランの一つであるりんご狩りは毎年やりたいとまで言ってもらえることができたので考えてよかったと思う。

## 6. 今後の課題

今回は、アンケート調査で一番だった家族向けプランしか体験してもらうことができなかった。家族向けプランと一緒に考えた他の3つの観光プランもSNSなどで発信し、より多くの方に龍江を訪れてもらい魅力を知ってもらいたい。

## 7. 終わりに

私たちの班には龍江地区出身の人はいないが、この一年間の活動を通して龍江の魅力を知ることができた。地域の方々と関わっていくことで、地域の方々のあたたかさを感じることができ、感謝の気持ちでいっぱいになった。私たちが考えた旅行プランを通して、たくさんの方が龍江を訪れて好きになってくれたら嬉しい。龍江のりんごとマエザワ肉店がおいしくりんごの足湯では足の疲れをとることができるので、龍江に行った際はぜひ行ってみてください!!!白木先生、平田主事、関わってくださったすべての方々、班の仲間たち、一年間ありがとうございました!!!!!!!!!

# わたしとりんごと龍江と

池田汐里 梶間理預 小林大地 田中美桜  
半崎可恋 松下博祐 宮下美優 横前璃々葉

## はじめに

- ▶ 龍江を知る
- りんごを使って龍江地区をPRする
- 生産者の方の想いを聴く
- 観光プランの発案
- まとめ

## 龍江かるた



農業法人今田平 / シヤルルヴィル・メジェール通り



## 龍江といえば・・・



## 果物に好条件！！



## テーマ

りんごを使って龍江地区をPRする！

## 目次

- 龍江を知る
- ▶ りんごを使って龍江地区をPRする
- 生産者の方の想いを聴く
- 観光プランの発案
- まとめ



たつみ豊 松尾さん

高校生に  
天竜峡をどりを  
盛り上げてほしい！

## りんごソーダ作り！



## 天竜峡をどり 当日



りんごソーダ販売



子ども縁日

## 天竜峡をどりでりんごソーダ販売！！



値段

生産者の想い

## 目次

- 龍江を知る
- りんごを使って龍江地区をPRする
- ▶ 生産者の方の想いを聴く
- 観光プランの発案
- まとめ

## 龍江の想い(生産者)の方の想い



## 目次

- 龍江を知る
- りんごを使って龍江地区をPRする
- 生産者の方の想いを聴く
- ▶ 観光プランの発案
- まとめ

## 観光プラン発案



## 観光プラン発案



観光プラン発案



観光プラン発案



観光プラン発案



観光プラン



観光プラン

ターゲットは...

家族



観光プラン

りんご足湯



天竜ライン下り



観光プラン

マエザワ肉店



りんご狩り



家族向け観光プラン

島田先生ファミリーに体験していただいた



家族向け観光プラン

結果

りんご狩りを中心に楽しんでもらえた



家族向け観光プラン

天竜ライン下り



目次

- 龍江を知る
- りんごを使って龍江地区をPRする
- 生産者の方の想いを聴く
- 観光プランの発案
- ▶ まとめ

まとめ

- ・商品開発や販売の難しさ
- ・観光プランを考えるにあたり、ターゲットを具体的に設定し、それぞれに合った龍江の魅力を伝えることの大切さ



## これからの日本を支える精鋭たちの旅

### ターゲット

- ・4人の男旅
- ・自然を感じる
- ・自転車
- ・青春の旅



### プラン

1. 天竜峡観光案内所
2. 自転車をレンタルする(電動自転車2つとマウンテンバイク2つ)
3. 自転車で天竜峡観光案内所からシャルルヴィール・メジール通りを  
通ってマエザワへ
4. マエザワからテリニュー堂へ
5. テリニュー堂からつじ橋を渡って天竜峡農園へ
6. 天竜峡農園から天竜峡温泉交流会ごっこりへ



## ゆったりリフレッシュする旅

### ターゲット

50代の2人の友人  
子育てが終わった年代の女性  
県外に住んでいる人



### コース

高速バスが電車で飯田駅まで来て、そこからレンタ  
カーで移動する

11時～17時

- 1, こやどうで昼食
- 2, リンゴ狩り・天竜峡農園
- 3, リンゴ足湯
- 4, 直売所 あざれあ (お土産)



### ルート

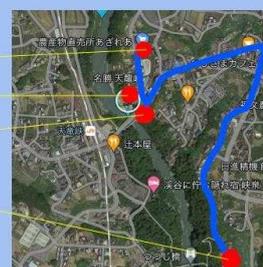


直売所あざれあ

3 リンゴ足湯

1 こやどう

2 天竜峡農園りんご狩り



# 龍江を旅しよう!

～島田家～

### 天竜峡公園 りんご狩り (小学生以上700円 幼児400円)

予約特典1  
来園された方全員に、しぼりたて生ジュースをサービス  
当園で育てた完熟りんごのみをジュースにしています。  
美味しいお味をお楽しみ下さい。

予約特典2  
入園料を割引致します!  
※ご予約されてのお越しをお勧め致します。 ※ 小動物 可



天竜峡農園HP

### 天竜舟下り

乗船料 (税別)	
大人 (999円以上)	3,000円 (税込)
小学生	2,000円 (税込)
中学生	1,600円 (税込)
3歳～2歳	大人と同乗乗 1,000円 (税込)

◆ 小動物の乗船も可能です。(1000円)

◆0歳～2歳は大人1名につき、1名乗船料です。2名以上は乗船料減額をいたします。  
※当日予約取り決めの場合は、100%のキャンセル料がかかります。

### マエザワ肉店 肉と惣菜の店

鶏のチューリップの唐揚げや串カツ、コロッケをはじめ、とりのもも焼き、マリネ、ポテトサラダなど日々のおかずが購入できる。  
手土産で安くても美味しいのでなたにも **おすすめ** の隠れ人気店です。



## 一日の流れ

### 天竜舟下り (~50分)

・11:45発

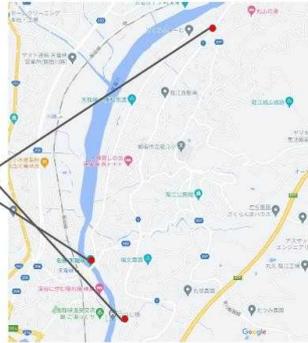


### りんご狩り (天竜峡公園)

・昼ごろに到着

### マエザワ肉店

・りんごでおなかいっぱいなので軽く済ませる



# ひとり旅

## ターゲット・コンセプト

ターゲット・・・30代、バイク乗り

コンセプト・・・自由気ままに男一人旅 冒険

## プラン

- 桜街道走る
- ↓
- こや堂でそばを食べる
- ↓
- りんご足湯
- ↓
- マエザワ肉店牛肉でおすすめの牛肉コロッケを買う
- ↓
- あとは自由にツーリング!!



ピンク..行き  
赤..帰り



# 島田家の 龍江満喫プラン りんごちゃん

天竜ライン下り

〒399-2221 長野県飯田市龍江715-1

・天竜峡から唐笠まで約10kmの船旅をたのしんでね！  
※乗船の15分前までに手続きをすませてね。



来園した方全員に搾りたて生ジュースサービス🌟  
約30種類のりんごの中からお気に入りの品種を見つけてみてね！

天竜峡農園

〒399-2221 長野県飯田市龍江7585



安くてdelicious！！  
わたくしのおすすめは、唐揚げとコロツケです。

マエザワ肉店 肉と総菜の店

〒399-2221 長野県飯田市龍江39



りんご足湯  
が付近にあ  
ります

10:30

天竜ライン下り

約40分

11:10

終了予定

11:30

りんご狩り

終了次第、マエザワ肉店

～let's go







心配していた発表会も無事成功で終われてよかったです。先生や主事さん、地域の方々のおかげで充実した活動ができました。商品開発から販売をさせていただいたり、気球体験だったりほんとに楽しかったです。唐揚げにりんご、おいしいものもたくさん食べれて大満足です!!! とりたてりんごと煮りんごまた食べたいです♡

半崎 可恋



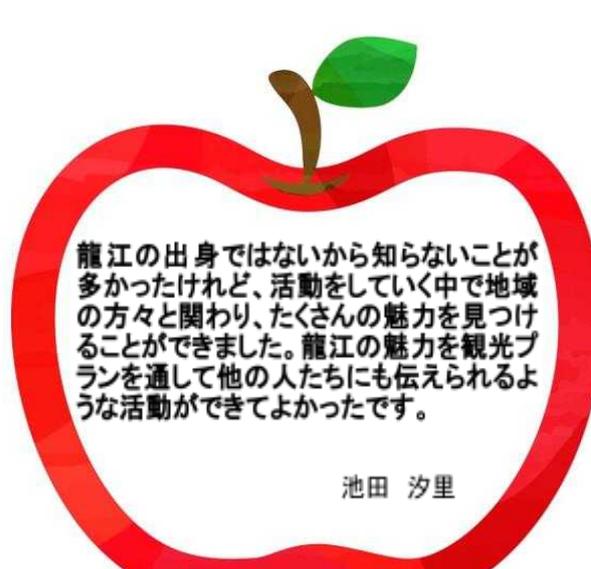
最初はちゃんと課題が見つかるか不安だったけど、龍江の人たちからいろんな話を聞くことができ龍江の魅力や課題が段々わかってきて最後の発表につなげることができて成功させることができてよかったです。プランを作るにあたってプラン内容を体験したけど、リンゴ狩りだけは体験できなかったので機会があればやりたいです。

宮下 美優



進めていくうちに課題が見つかるかどうか不安だったけれど、白木先生がどうしていきたいのか考える時間を何回かとってくれて、最終的に観光プランを作成するという方向性を決められることができたのでよかったです。龍江のことを全く知らなかったけど、活動を通して地域の方と関わったおかげで、リンゴなどの果物がおいしく、龍江はとても良いところだと知れました。一年間楽しかったです♪あとはみんなでリンゴ狩りしたいです。

横前 璃々葉



龍江の出身ではないから知らないことが多かったけれど、活動をしていく中で地域の方々に関わり、たくさん魅力を見つけることができました。龍江の魅力を観光プランを通して他の人たちにも伝えられるような活動ができてよかったです。

池田 汐里



龍江について何も知らず、分からないことが分からない状態でしたが、何も知らないからこそ龍江ならではの魅力や、課題を見つけることができました。また、観光プランでは高校生の自分たちにとっては面白かったり、楽しかったりすることでも、ターゲット層である家族、私たちより年齢が小さかったり上だったり、気持ちを想像することが難しく感じました。ですが、最終的なプランを考え、プランを考えるだけでなく、実際に実行できたことがうれしかったです。

梶間 理預



最初は龍江について何も知りませんでした。龍江かるたをしたり、実際に龍江地区を歩いたりして、たくさんの魅力を発見することができました。普段何気なく食べているりんごにも農家さんたちの様々な思いが込められているということを知り、感謝の気持ちが大切だと思いました。龍江の魅力がいっぱい詰まった観光プランを考えることができたのでよかったです。

田中 美桜



昨年12月の成果発表会お疲れ様でした。良い意味で緊張感が伝わってきて、一年間学んだ事を堂々と発表している姿は格好良かったです。文化祭での桃やジュースを売り切る為に必死に考えて行動する姿や、天龍峡をどりにスタッフとして参加して来場者は楽しませ、開発したりりんごソーダを販売する様子を見てみなさんの成長を感じる事が出来ました。0から1を生み出す事が一番難しいことを今年経験出来たと思うので、卒業後生かして下さい。龍江の魅力を発見、伝えてくれてありがとうございました！

たつみ農園 松尾 明則様



龍江のことを知らない高校生が実際訪れて、様々な体験やエリアを見て観光プランを考えてくれて嬉しかったです。天龍峡には観光コンテンツがいくつもありますが、それぞれの繋がりが無いのが現状です。りんご狩りとライン下りのセットプランなど天龍峡を満喫してもらうことを考える良い機会になりました。ありがとうございました。りんご狩りが雨で体験してもらえず残念でしたが、ぜひご家族や友達と来て下さい。

天龍峡農園 松尾 寿様



「龍江」どこにあるのか…知らないところからスタートしましたね。地区の方が更新している龍江のホームページを見た時に、「地区の人ってすごい！」と言ってくれたのがとても印象に残っています。悩んで立ち止まった時、「松尾さんに聞いてみようかな」「杉山さん、なんて言ってたっけ？」と、繋がりができた(お世話になった)龍江地区の方の顔と名前が浮かんでいる皆さんを見るのがとても嬉しかったです。地元を離れてしまう人。「飯田ってどんなところ？」と聞かれた時、「何もない」なんて言わないで。龍江班みんなで一緒に見つけた魅力を伝えて、目一杯自慢してね。

龍江公民館 主事 平田玖留実



1年間お疲れ様でした。1年間みなさんはどんな学びができましたか？たくさんの方からお話を聞き、休みの日もイベントに参加するなど、学校を出て活動することが多かったと思います。ですが、みなさんが積極的に参加し、地域の方々と交流している姿を見て学校では学べない学びができていたと感じることができました。課題研究発表会も自分たちの活動に対して自信をもって発表できたのも1年間の活動の成果だと思います。1つだけ心残りがあるとすると、りんご狩りができなかったことです。いつか行けるように…

担当教員 白木日菜



## Hey! おまち！リアカー販売参上！



## 【研究メンバー】

石原 紘 勝見 心温 酒向 理子 塚田 美濤  
 福沢 紀咲 松島 心瑠 本島 希咲来 吉川 瑞姫  
 坂下 満智子（指導教員）

## 【ご協力いただいた方々】

- ・手話講師 片山 茂 先生 ・五島 菓子様
- ・飯田 青果 様 ・丸青 様
- ・鳩ヶ嶺 八幡宮 氏子総代 渋谷 様
- ・北原 履物店様 ・キ代志 すし

## 1. はじめに

私たちは弱者に寄り添う活動を行いたいと思い、高校生にできる活動を考えた。

## 2. 研究課題

ターゲットは買い物弱者に設定しリアカー販売を通して物心両面から支援する。

## 3. 研究経過

4・5月 ゴミ拾い 飯田産業今昔調べ 6月 手話講座① 長野県商業高校開発商品調べ  
 7月 手話講座② 桜姫祭県内高校の開発商品販売 9月～11月 ポスティング リアカー販売

## 4. 研究内容

## (1) ゴミ拾い

学校周辺の道や近くの公園を歩きゴミを拾った。普段外を歩いている時には気づかないゴミや道路の植栽の中のゴミなど目に見えないゴミなどを拾い地域をきれいにすることができた。

## (2) 手話講座

手話講師の片山茂先生に手話を教えていただいた。今まで知らなかったろう者と難聴者の違いや簡単な手話を教えていただき手話についての理解を深めることができた。

## (3) リアカー販売

買い物弱者に寄り添うために高校生の私たちしかできないことを考えリアカー販売を行った。販売を行う中で地域の方とコミュニケーションをとることもでき喜んでもらうことができた。

## 5. 考察

元々傾聴ボランティアを通して飯田地区の今昔産業を知る予定だったが、関係施設との連絡がうまくいかず試行錯誤した。そして自分たちの足で活動できるボランティアを考えた。まず、周りの環境を知るためにゴミを拾うことから始めた。次に弱者に寄り添う活動として、手話講座を開いていただいた。松尾地区は大きな商業施設がないため、特に高齢者は買い物が困難だということがわかった。自分たちにできるリアカー販売を始めた。最初はすべての商品を販売をすることばかりに気持ちが向いてしまったが、回数を重ねるごとに地域の方とコミュニケーションを取り、飯田の今昔を知ることができた。

## 6. 今後の課題

チラシを作るときに雨が降った場合の販売場所を記載しておらず、リアカー販売日が雨になってしまった時に地域の方を困らせてしまった。しかし、鳩ヶ嶺八幡宮に変更場所を書いた紙を設置したので場所が変わっても買いに来てくれる地域の方がいた。今後はチラシにも記載し地域の方にも把握してもらおうといい。

また、始めに考えていた傾聴ボランティアの活動が思った通りに進まなかった。関係施設と連絡をとるのは難しいと思うが、傾聴ボランティアだけにこだわらず地域の老人ホームなどに積極的に連絡をとってみたいと思う。

## 7. 終わりに

私たちは決まった地区がなく主事さんもないためはじめは何をしていいのか戸惑った。しかし松本大学の白戸先生・倉田先生・大野先生や地域の方がアドバイスを下さりリアカー販売を行った。はじめは販売のことばかり考えてしまいがちだったが、地域の方と関わっていく中で人と人の繋がりを感じた。3回リアカー販売を行って3回とも参加してくれる地域の方がおり販売よりコミュニケーションをとることが楽しく話の中で飯田の今昔産業のことも知れた。このリアカー販売を通してリアカー販売は1つのツールであり、1番大切なのは人と人の繋がりと学んだ。前例のない活動だったが沢山の方たちに協力してもらい1年間活動してることができた。弱者に寄り添うことは難しいことだが高校生にしかできない活動を行うことができてよかった。



一年間の活動

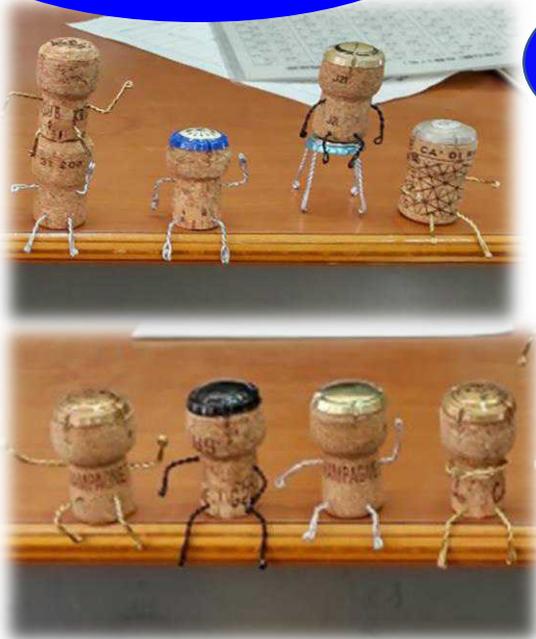
手話講座



ゴミ拾いの様子



文化祭で配布した  
コルク人形



県内商業高校から仕入れた商品  
文化祭で販売しました！



## 市場調査



## リヤカー組み立ての様子



## リヤカー販売の様子



## リヤカー販売についてのアンケート

私たちは課題研究の一環で10月13日と12月15日にリヤカー販売を松尾地区で実施しようと思っています。それに際し、リヤカー販売で販売してほしいものについてご意見をいただきたく、アンケートを実施することになりました。

該当するものに○をつけてください。

年齢	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
職業	学生 主婦 会社員 公務員 自営業 アルバイト その他( )							

Q リヤカー販売で販売してほしいもの

該当するものにチェックをつけてください。

- 地元の野菜や果物
- 日用雑貨
- 食べ物
- 植物や花など

その他 ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたら、回収箱へお入れください。



三年G組 飯田今昔講座

## リヤカー販売についてのアンケート



こちらからご回答ください。

長姫高校三年G組飯田今昔講座

### リヤカー販売 2023

日付 9月29日(金)

時間 午後1:30～

場所 鳩ヶ嶺八幡宮駐車場



売るもの

飯田産の季節の果物(リンゴ、ナシ)、野菜など

飯田 OIDE 長姫高校商業科では、10年ぶりにこの松尾地区でリヤカー販売をさせていただくことになりました！

メインストア P 鳩ヶ嶺八幡宮

お話だけでも大歓迎です！  
ぜひお立ち寄りください！

ローソン

ふれあいサロン

郵便局

飯田 OIDE 長姫高校

### 第2回リヤカー販売 2023

日付 10月27日(金)

時間 午後 1:30～

場所 鳩ヶ嶺八幡宮駐車場



売るもの

秋の果物(リンゴ)、野菜など

飯田 OIDE 長姫高校商業科です！9月にも行ったリヤカー販売の2回目を実施します！皆様のご要望にお応えて今回は秋の果物の仕入れを頑張ります。さらに五島さんのお赤飯とつるのこ餅も販売します。

メインストア

P 鳩ヶ嶺八幡宮

お話だけでも大歓迎です！  
是非お立ち寄りください！

ローソン

ふれあいサロン

郵便局

リヤカー販売のお知らせ

- ・開催日 2023.11/17 (fri) 13:00~15:00
- ・開催場所 鳩ヶ嶺八幡宮付近 鳩ヶ嶺八幡宮の駐車場
- ・販売品

季節の野菜、果物、ごしまのお赤飯&つるのこ餅

私たちは課題研究の一環でここ、松尾地区でリヤカー販売を行います。2度目となりますがよろしくお祈りします！

ぜひ、お立ち寄り  
ください！



11月のリヤカー販売(校内販売)のお知らせ

商業科の課題研究で私達の班ではリヤカー販売を実施しています。次回の11月のリヤカー販売では五島菓子店よりお赤飯とつるのこ餅を仕入れさせて頂き、販売したいと考えています。

そこで校内の先生方には特別に予約販売をさせて頂きます。

日付 11月17日(金) 放課後各研究室までお届けいたします。



各商品限定15個とさせて頂きます。

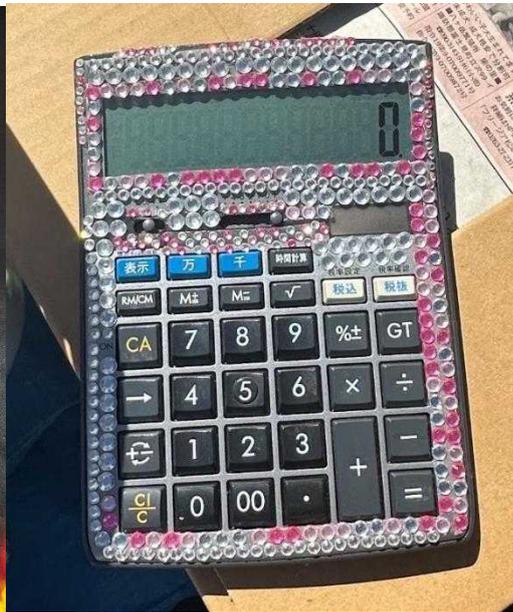
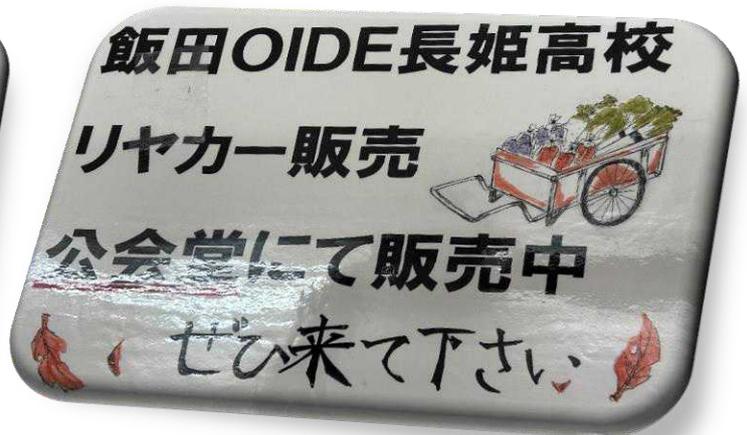
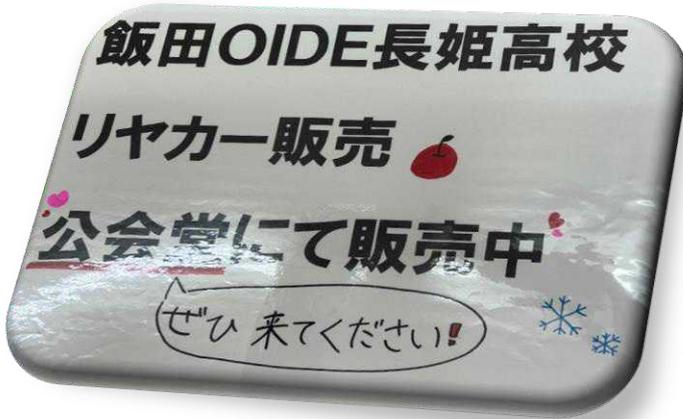


3-C (勝見・石原・酒向・福沢)までお願いします。  
キリトリ線

お赤飯	350円	個
つるのこ餅(6個入り)	350円	個

教科名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 先生



# 弱者に寄り添う活動

リニア建設現場の弱者支援活動

建設現場  
 1. 高齢者  
 2. 障害者  
 3. 外国人労働者  
 4. 低所得者  
 5. 単身者  
 6. 子育て世代  
 7. 高齢者  
 8. 障害者  
 9. 外国人労働者  
 10. 低所得者  
 11. 単身者  
 12. 子育て世代

そこから...

## リアカー販売



### 目次

- 1. ゴミ拾い
- 2. 手話講座
- 3. リアカー乗上
- 4. まとめ



地域の方に遠くに行かなくても  
 も買い物ができるような活動  
 がしたい！！！！



## 通学路のゴミ拾い



### 通学路のゴミ拾い



### 目次

- 1. ゴミ拾い
- 2. 手話講座
- 3. リアカー乗上
- 4. まとめ

## 買い物弱者に寄り添いたい！！



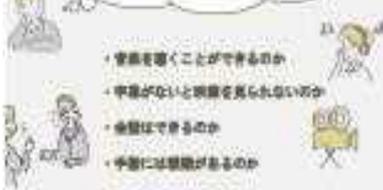
「買い物弱者」って  
 どんな人？

熊本大学でリアカー販売  
 をやっている白戸先生に  
 聞いてみました！



「買い物弱者」って  
 どんな人？  
 買い物に行きにくい人  
 だよね？

もし自分の耳が  
 聞こえなくなったら？



- ・言葉を書くことができるのか
- ・手話がないと視覚を頼らなければならないのか
- ・会話ができるのか
- ・手話には慣れがあるのか

### 目次

- 1. ゴミ拾い
- 2. 手話講座
- 3. リアカー乗上
- 4. まとめ



## 手話講座



## リアカーとは

車椅子がなくても利用できる移動の車のこと






ポスティング




第3回リアカー販売

物 芋、サンプラ、ぼうれん草  
きゅうり、パターナッツ  
季節 餅の子餅、お赤飯

### PLAN (計画)

Q 何を売るか

↓

- 野菜
- 果物
- 日用品 etc

Q どこで売るか

↓

- 学校から近い
- 近くにお店がない

第1回リアカー販売

きゅうり ジャガイモ  
サニーレタス ししとうがらし  
長ネギ ポタンコショウ ぶどう



目次

- 1. 目標
- 2. 準備
- 3. リアカー参上
- 4. まとめ



### DO (実行)

Hey! おまち!  
リアカー販売参上!



一歩踏み出そう

「販売準備ができています!」

人と人との繋がり



### CHECK (評価)

GOOD 

SAO 

第2回リアカー販売

長ネギ 長芋 花豆 お赤飯  
餅の子餅 ぶどう リンゴ





### ACTION (改善)

- ・原物の状態が悪かった
- ・中身が見える袋が必要
- ・おつりが不足
- ・季節の野菜が少ない

→

- ・原物を増やす
- ・透明な袋に変更
- ・細かいお金を用意
- ・季節のものを用意

コミュニケーション!



動画



第3回リアカー販売

リアカー販売の日に雨が降ってしまったため、急遽お赤飯を準備することになった。



## 一年間の振り返り

課題研究が始まった頃は何をやるのか不安に思うこともありました。ですが、一年間の様々な活動を通して、気づいたことや学んだことはたくさんありました。手話講座では、「耳が聞こえる」ということは生きていく上でどれだけ大切なのかを考えるきっかけになりました。リアカー販売では地域の方とコミュニケーションをとりながら販売でき、飯田の人の魅力を感じることが出来ました。どの活動も貴重でとてもいい経験になりました。一年間ありがとうございました。

石原 絃

最初、飯田今昔班になって何をするのか想像が付きませんでした。課題研究で、手話について学んだりリアカー販売をしたりしました。手話の講座受けた時は手と表情で相手に物事を伝える大変さを知りました。リアカー販売では、商品を売ることが大変でした。けれど、買いに来てくれた地域の方々とコミュニケーションをとったことがとても楽しかったです。すごく貴重な体験ができたと思っています。ありがとうございました。

酒向 理子

僕達は他の班と違い、活動地域がなく地区の主事さんもない中で、少し心配している面もありました。ですが、活動をしていく中で普段関わらない人とも関わるようになり、この班でしかできないことも沢山あることを知りました。主な活動であったリアカー販売でも、来てくれた方々に最も近い距離で関わることができ、喜んで帰ってくれる人が多くいてくれて、とても楽しい活動でした。この授業をここまでやってこられたのも、担当の坂下先生のおかげで感謝しかありません。また、班のメンバーや関わった方々も、一年間ありがとうございました。

勝見 心温

一年間、課題研究を通して様々な人の視点にたつて物事を考えることの難しさ、大切さにあらためて気づくことができました。手話講座では、手話だけでなく筆談など、耳の聞こえない方とのコミュニケーションのとりかたを学びました。また、リアカー販売では、地域の方とたくさん交流ができ、飯田のひとの温かさを感じました。毎回買いに来てくれる方やまたやってほしいといってもらえることもできて嬉しかったです。課題研究で学んだことを、今後に活かしていけるようにしたいです。一年間ありがとうございました。

塚田 美濤

この班になって、初めは何をするのか全く想像がつかず不安でした。でも、手話講座では普段の生活では全く想像ができなかったような耳が聞こえない生活のことをお話しいただき、簡単な手話もできるようになって、これから耳の聞こえない方に会った時に使えたらいいなと思っています。リアカー販売も今まで買い物弱者の方のことをあまり知らなかったのも、そういう方の助けになれて地域の方とも色んな話のできたのでとてもいい経験でした。一年間ありがとうございました。

福沢 紀咲

一年間、飯田今昔として活動してきて、最初はなにをしていけばいいのか分からなかったけど、リアカー販売をはじめとした、たくさんの活動の中で、相手のことを考えて行動することの大切さや大変さに改めて気づくことができましたし、地域の方々がたくさんコミュニケーションをとってくれたため、楽しく活動することができました。また、手話を学んだことから、こんなにたくさんの種類があることを初めて知ることができたし、学んだことを災害の時に生かしたいと思いました。一年間ありがとうございました。

本島 希咲来

課題研究の授業で手話講座やリアカー販売を行い、耳の聞こえない方のお話を聞いたり実際に手話を教えていただいたりして、初めての経験をたくさんできました。また、リアカー販売では野菜や果物を仕入れ地域の方々に販売し、やっていくうちにだんだんコミュニケーションが取れるようになって嬉しかったです。みんなと協力しながら楽しく活動することができました。一年間ありがとうございました。

松島 心瑠

この一年を通して人と人との関わりの大事さを改めて学ぶことができました。私たちだけでリアカー販売を行うことはとても難しく飯田青果の方など沢山の方たちの協力があって活動ができたしリアカー販売を始めたころは利益のことばかり考えていたけど回数を重ねるうちに普段なかなか話す機会のない地域の方と関わるすることができました。課題研究でとても貴重な体験をすることができました。一年間ありがとうございました。

吉川 瑞姫

全市

# 梅の魅力を再発見

## 竜峡小梅 復活！



### 【研究メンバー】

北原未咲希 佐々木悠乃 永田美桜  
古田詩乃 丸山結愛 矢嶋ありさ  
二木麻友(指導教員) 三ツ井洋樹(飯田公民館)

### 【ご協力いただいた方々】

かしゃばら農園 柏木 貴行様  
信州飯田の菓房 田月 城田 茂様  
小池手造り農産加工所 様  
ナチュラルキッチンTESSHIN 様  
肉卸直送黒毛牛専門焼肉まるよし 可児 由光様

### 1. はじめに

私たちは飯田市について調べる中で、小梅の生産量が多いということに目を付けた。そこで私たちは竜峡小梅を生産している柏木さんにご協力いただき、竜峡小梅を広めるための活動を行った。

### 2. 研究課題

ターゲットを地域の人に設定し、梅を使った商品を通して竜峡小梅を知ってもらう。

### 3. 研究経過

5月 飯田の魅力調べ	10月 和菓子試作
6月 竜峡小梅についての調査	天龍峡マルシェにて和菓子販売
7月 商品開発開始	11月 焼き肉のタレ試作
9月 各企業様への協力依頼	12月 焼き肉のタレ販売準備開始

### 4. 研究内容

#### (1) 飯田の特徴について調査

飯田について調べた結果、以下のことが分かった。

- ・小梅生産量全国1位（竜峡小梅を始め飯田小梅など様々な品種の梅が栽培されている）
- ・焼き肉の街（人口1万人あたりの焼肉店の数が全国で最も多いとされ、日本一の焼肉街と称されるほど焼肉文化が根付いている）

#### (2) 竜峡小梅の魅力発信活動の開始

竜峡小梅はかつて「青いダイヤ」と言われ高値で取引されていたが、現在では生産量が激減、梅畑が荒地と

なった。そこでもう一度竜峡小梅を復活させ、天龍峡の特産品として定着して欲しいと思い活動を行うことにした。地元企業の方々に協力していただき、梅のシロップを使った商品開発を行った。

### (3) 天龍峡マルシェ

—準備— 商品名を決める際、手に取ってもらいやすいような名前にしたと思い長姫の「姫」の字をとり「梅姫ゼリー」と売り出した。当日に向け目を引くようなPOP作りや移動販売をできるように宣伝用のパネルを作成した。

—当日— 当日は本会場から離れていたにもかかわらず多くのお客さんが来てくださり全て売り切ることができた。小さな子供でも食べやすく美味しいと言って食べてくれた。ゼリーとのし梅の2種類を販売したが、のし梅はあまり馴染みがないこともあり、なかなか手を伸ばして貰えなかった。

### (4) 焼き肉のタレ

今までにないようなオリジナル商品を考案したいと考え何度も試作を重ねた。飯田の特産品であるりんごや味噌を使ったり、お肉だけではなくドレッシングとしても使えるさっぱりしたものにしたと自分たちならではのアイデアを沢山取り入れた。自分たちでも実際に作り、使いたい材料、タレの色と細かいところまでこだわり作り上げた。

### (5) ドレッシング

ディップソースとして使えるもの、オイル系のもの、さまざまな用途で使えるよう提案させていただいた。ディップソースのように作ってしまうと色が混ざってしまうとのことでオイル状のものを開発していくことに決定した。しかし、取り掛かるのが遅く商品として完成させる事ができなかった。

## 5. 考察

飯田市ではあまり知られていない小梅の品種「竜峡小梅」があることを知り、多くの人に小梅の存在を知ってもらいたいと思い活動を始めた。和菓子・焼き肉のタレなど幅広い世代に楽しんでもらえる商品を作り上げ、販売した。その結果少しずつではあるが、梅の知名度をあげていくことができた。しかし、「竜峡小梅」の魅力はまだ伝えきれていないので、今後この小梅を使った商品が増えることに期待したい。

## 6. 今後の課題

今回の活動では私たちと同世代くらいの若者にまでは、梅の魅力を伝えきることができなかった。もっと若者が参加しているようなイベントにも出店したり、校内での販売も視野に入れ、より幅広い年代に味わってもらいたい。

## 7. 終わりに

私たちの活動範囲は飯田市全体と広く何でもできる反面、課題を見つけるのも難しかった。一から商品を作っていくことがどれだけ大変なことかあらためて痛感した。短期間での商品開発であったにもかかわらず、私たちの意見を取り入れてくれ、快く協力してくださった。これで終わりではなく、これからも飯田市の課題や魅力を伝え続けていきたい。

# 一年間の活動

## かしゃばら農園



## 和菓子



## 焼肉のタレ試作



話し合い  
TESSHINさん



田月さん



柏木さん



小池手作り農産加工所さん



天竜峡マルシェ ちよ TENT 村



梅の魅力を再発見  
～竜峡小梅復活～

全市型  
北原本町番 飯田本町乃 全田南町  
ら田神乃 丸山地区 小梅の里

どうしたら知ってもらえるか...

## 商品開発

何から始めていいの  
か分からない...

飯田市の特産は？



全市型

何でもできる

開発していくものは...

- ・和菓子
- ・焼肉のたれ
- ・ドレッシング

## 食べること!!



食品を使って活動していこう！

協力して下さるお店を探す



見つけたお店に電話で依頼

情報収集のためリンゴの里へ

飯田は小梅の生産量が多い！

小梅を広めよう！

竜峡小梅に出会う

竜峡小梅について調べることに

決定したお店

・ドレッシング

ナチュラルキッチンTESSHINさん

・和菓子

信州飯田の薬房田月さん

・焼肉のたれ

小池手造り農産加工所さん

竜峡小梅生産者の話

かつては青いダイヤと呼ばれ高値で取引されていたが...

生産量が減退し、生産者も減る



かしわざき 正博  
稲本農行さん

**竜峡小梅を復活させたい！！**

ドレッシング

飯田市本町2丁目にある

ナチュラルキッチンTESSHINさん

竜峡小梅復活

天龍峡の特産物 = 龍峡小梅

ナチュラルキッチンTESSHINさん

協力依頼を受けてくださったもののスケジュールの都合で



ドレッシング  
断念



## 和菓子

昨年も協力してくださった

### 信州飯田の菓房田月さん

## 文化祭にて

### 月姫だんご 販売



## 信州飯田の菓房田月さん

「あ、いいですよ」



## 信州飯田の菓房田月さん

企画書を提出して約2週間後...

### 梅姫ゼリー のし梅

完成！！



## 焼肉のたれ

下久堅にある

### 小池手造り農産加工所さん

## 焼肉のたれ試作

苦くなってしまう

甘くなってしまう



### 焼肉のたれ

さっぱりしない

## 小池手造り農産加工所

試作品の焼肉のたれ

※1月中旬に販売開始予定



## 販売活動

天竜峡マルシェでの販売



## 販売活動

移動販売



## 販売後の振り返り

良かった点

- ・完売できた
- ・梅が苦手な人でも手に取ってもらえた。

反省点

- ・移動販売時に渡すおつりの用意ができていなかった
- ・移動販売の事前準備ができておらず、スムーズに進められなかった

## 販売活動 焼き肉のたれ

高森町下市田  
焼肉 まるよしさん



## まとめ

- ・商品のイメージが出来上がっていても伝えることが難しく、思い通りにいかないことがあった
- ・商品開発を始めるまでの時間が長くなってしまって、販売活動が思うようにできなかった

焼肉のたれは飯田市内での販売ができなかったため、2年生の皆さんよかったです来年の課題研究で引き継いで販売をしてもらえたらうれしいです！！



# 天龍峡マルシェでのPOP

## 梅姫ゼリー

1個**230**円

竜峡小梅を使ったゼリー  
梅ゼリーと白餡の2層になっていて  
梅ゼリーのすっぱさと白餡の甘さが  
ベストマッチ！！！！

信州飯田の菓房・田月さんと飯田OIDE長姫高等学校とのコラボレーション和菓子



## のし梅



※のし梅は山形県村山地方などの銘菓

1個**150**円

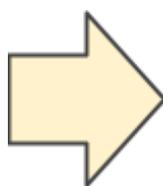
竜峡小梅を使ったのし梅  
さっぱりした甘さと梅の酸味が生み出す  
甘酸っぱいゼリー状に仕上げた和風梅菓子  
小さいお子様と型抜きを使って遊びながら  
食べるのもあり！！

信州飯田の菓房・田月さんと飯田OIDE長姫高等学校とのコラボレーション和菓子

# 焼き肉のタレ試作品

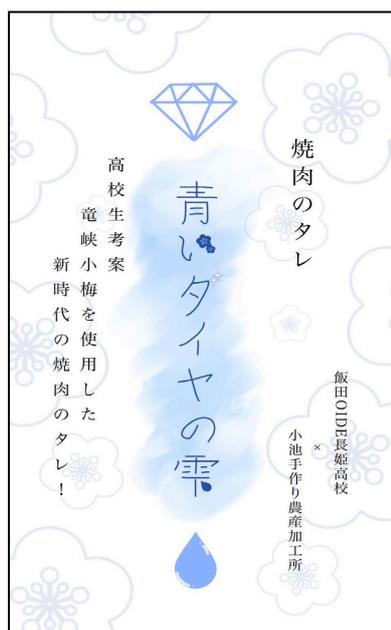
1回目

2回目



たれの  
ラベル案

↓  
完成品



## ひとこと

私はこの課題研究を通じて今まで知らなかった飯田の梅やその他沢山の飯田の魅力を知ることが出来ました。そして小梅を使った商品開発を行い、一から商品をつくり上げることの難しさをあらためて感じる事ができました。

1年間ありがとうございました。 丸山結愛

この一年間課題研究を通して知らなかった飯田の魅力や課題など様々なことが知れました。協力してくれた地域の方々、班のメンバーと活動できて楽しかったです。ありがとうございました。

佐々木悠乃

何から始めたらいいかわからない中で活動するのはとっても不安だったけど竜峡小梅を知れて、商品開発ができて良かったです！

一年間ありがとうございました。 古田詩乃

課題研究を通して今まで知らなかった飯田の魅力や課題を知ることができました。たくさんの地域の方々の協力があったからこそ活動を進めてこれました。

一年間ありがとうございました。 北原 未咲希

一年間活動をしてきて、自分がやりたかった商品開発や、デザインをすることができてとても楽しかったです。

一年間ありがとうございました。 永田美桜

この課題研究で今まで知らなかった飯田の魅力を発見できたので良かったです。

1年間ありがとうございました。 矢嶋ありさ

## お世話になった方から

OIDE長姫高校商業科の皆さん、この度は竜峡小梅を題材にし商品開発、発表していただきありがとうございました。発表会を拝見しましたが堂々とされており本当に感動しました。

思えば2020年農村起業家育成スクールで生産量が激減している竜峡小梅を天竜峡の特産品として復活させるプロジェクトを立ち上げ『龍峡の源』という梅シロップを開発してから早三年...高い志を持って取り組んでいましたが新型コロナの影響などもあり思うように活動できていませんでした。

そんな中皆さんから声をかけていただき、「頑張らなくっちゃ...」ともう一度思うことができました。本当にありがとうございます。

皆さんが開発された「のし梅」「梅ゼリー」ですが甘く梅の風味が感じられおいしかったです。短期間に商品にされたこと、本当に驚きました。ちよテント村で一緒に出店できたことも本当にうれしかったです。完売できてよかったですね。

今現在もドレッシングなど商品化に向けて動かれていますとお聞きしました。どうか今回に限らず竜峡小梅に携わっていただけたらと思います。

最後になりますが皆さんの高校生活が充実した時間になる事を祈っています。しっかり楽しんでね。

かしゃばら農園 柏木貴行



このグループは特定のエリアがなく、自分たちの中からテーマを掘り起こしていかなくてはならないため、一見、何でもできて良いと思われるかもしれないが、実はとても難しいことです。

それにめげずに、自分たち自身と向き合って、飯田のことを学びながら、「竜峡小梅のブランド復活」に向けて取組もうとしていた柏木さんと出会えたことは、皆さんの頑張りがあったからこそだと思います。

それから、田月の城田さんや小池農産の皆さん、千代地区の皆さんなど、多くの方に協力をお願いしながら、短い期間で商品開発と販売まででき、皆さんの行動力には驚かされるばかりでした。

皆さんの発想力と行動力が、地域の皆さんが活気づいていく原動力でもあります。皆さんの活動が、小さくても地域を変えていく一歩になったと思います。本当にお疲れ様でした。

最後に、なかなか顔を出せず迷惑をかけたと思いますが、皆さんと共に活動をして、私自身も学ぶことが多かったです。ありがとうございました。この活動も思い出の一つにして、それぞれ素敵な人生を歩んでいってください。これからも応援しています。

担当主事 飯田市公民館 三ツ井洋樹

上郷地区	地域の魅力を伝える
みりょく      みりょく <b>上郷の美力と味力</b>	
	<b>【研究メンバー】</b> 牛村咲絵 北村誉 下平大誠 林佳歩 松岡大晟 三浦千咲 山岸亜湖
	<b>【ご協力いただいた方々】</b> <small>しかく</small> □屋：牧野聡様 牧野竜也様 高田きのご農園：高田一仁様 矢澤農園：矢澤光雄様 上郷公民館：館長 山浦貞一様 主事 林亮介様 まちづくり委員会：北原重光様 野底山森林公園管理事務所：井村典子様 黒田人形座座長：清水謙一様 飯田考古博物館学芸員：伊藤蔵之介様 丸昌稲垣様 いと忠様 ひとつぶの麦様

## 1. はじめに

私たちは上郷の魅力について地域の方々にインタビューする中で、上郷の魅力があまり出てこないことに気づいた。そこで私たちは特産品をくみこんだ商品を開発し、上郷の「味力」を広めることにした。また、野底山森林公園の「美力」を伝えるためのスタンプラリーを実施した。

## 2. 研究課題

上郷地区の方々に上郷の魅力を再認識してもらう。

## 3. 研究経過

4月上郷の魅力調査	10月 もみじ祭り参加準備
5月・6月・7月上郷の魅力体験	11月 もみじ祭り、上郷文化祭参加
9月 課題設定、協力先に依頼	

## 4. 研究内容

### 【1】上郷の魅力について調査

活動のはじめとしてまずは自分たちが上郷の魅力を知りたいと思い、地域の方々にインタビューした結果、上郷の魅力はすぐに挙がらなかった。しかし調査を進めていく中で、上郷地区に住んでいる方々が当たり前だと思っていたことが、実は当たり前ではないことに気づき、それを再び上郷地区の方に再認識してもらうために、活動を開始した。

### 【2】味力を伝えるため商品開発

魅力を再認識してもらうための活動の一つ目として、上郷ならではの商品開発を行うことにした。伝える魅力として、私たちが選定した物は、野底山のマスコットキャラクターのモーリーくん、上郷発祥のぶなしめじ、飯田の学校給食に沢山使われているミニトマト、上郷地区でなじみのあるパン屋さんである。これらを伝えるためには、次にあげる方々の協力が必要であったため、協力を頼んだ。□屋（しかくや）さん、矢澤農園さん、高田きのご農園さんである。この方々の協

力の元生まれたのが、上郷の特産品をくみこんだ「くみこパン」と、野底山のマスコットキャラクターのモーリーくんをモチーフにした「モーリーパン」である。これらのパンを野底山森林公園で開催されるもみじ祭りで販売した。

### 【3】美力を伝えるためイベント実施

魅力を再認識してもらうための活動の二つ目として、野底山で開催されるもみじ祭りでイベントを行い、そのイベントで野底山の魅力を伝えることにした。イベントの内容を考えるために自分たちで野底山に行って調査をしたときに、野底山にはアスレチックや豊かな自然だけでなく、石碑や湧き水などの様々な魅力があることを知り、様々な魅力を楽しみながら知れる企画を考えたところ、魅力のある場所にスタンプを設置してスタンプを集めながら魅力も楽しんでもらえるスタンプラリー「野底山の宝探し」を企画した。そして、景品に野底山のマスコットキャラクターであるモーリーくんと、テックレンジャーの缶バッジを作成した。また、野底山でプレイしたマレットゴルフがとても楽しかったので、マレットゴルフ無料券を景品に入れて、沢山の方にまた野底山に来てもらい、マレットゴルフを楽しんでもらえるように工夫した。

上郷文化祭では、野底深山湧水と上郷公民館の水道水と炭酸水で「のんで深山水」という利き水大会を行い、楽しみながら上郷地区の魅力を知ってもらうことができた。

## 5. 考察

私たちは、「上郷地域の方々が当たり前だと思っているものが実は上郷地域特有の魅力である」ということを再認識してもらうことを目標に活動してきた。この魅力を地域の方々に知ってもらうために、特産品をくみこんだ商品開発や、上郷の豊かな自然や様々な魅力を知ってもらうための企画を考えた。商品開発で完成したパンの販売では行列ができるほど興味を持ってもらうことができ、販売からすぐに完売した。また、スタンプラリーの企画は家族で挑戦してくれた方が多く、家族の中を深めると共に、野底山森林公園の自然を感じてもらうことができた。この二つの企画はどちらも大好評であり、沢山の方に参加してもらったため、上郷地区に住んでいる方にはもちろん、上郷地区以外に住んでる方にも上郷の魅力を再認識してもらうことができたと考える。今回の課題研究で、自分たちの企画を通して多くの方々に、上郷地区に住んでいる人でも知らないような「美力」と「味力」を伝えることができ、楽しんでもらうことができた。

## 6. 今後の課題

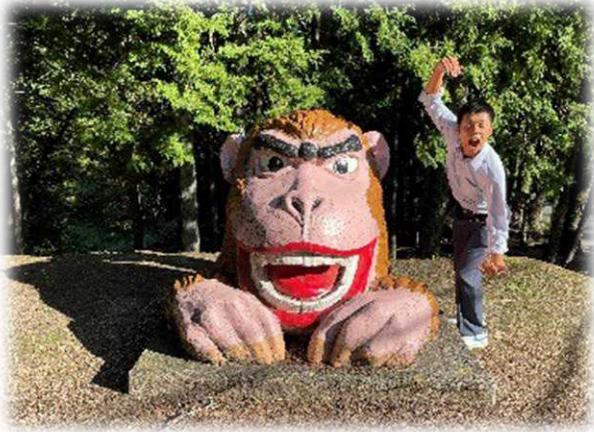
野底山森林公園の企画では、景品にマレットゴルフ無料券を配布したことにより、もう一度野底山森林公園に来ていただくきっかけを作ることができた。商品開発で作成したオリジナルパンでは、地域の方々に魅力を伝えることはできたが、パンを作成する時の工程が多く、今、販売されているメニューへの追加をしていただき継続的に販売していただくことは難しかった。そのため、魅力を伝えつつ、継続的に販売できるような商品を開発することができればよかった。

## 7. 終わりに

最初は、上郷地区のことを何も知らず不安が多いスタートだったが、多くの上郷地区の方にインタビューをしたり、関わっていく中で、段々と上郷地区について知っていくことができ、多くの方々に協力をしていただいたおかげで、活動をやり遂げることができた。課題研究を通して、人とのつながりの大切さや、自分たちで考えて動くことの大切さを学べた。これから、自分たちが大人になった時に、今度は頼られたら笑顔で一緒に活動できるようになりたいと思った。



上郷公民館



野底山森林公園



黒田人形浄瑠璃伝承館



飯田市考古博物館



矢澤農園



高田きのこ農園



中学生へ上郷の魅力調査



文化祭



パン作り



上郷小学校へもみじ祭りの宣伝



もみじ祭り



上郷文化祭



地域人教育成果発表会



くみこパン



モーリーパン



もみじ祭りの景品の缶バッジ



野底山深山湧水の看板



野底山宝探しの地図

### 野底山の宝探し

皆さんは野底山森林公園について知っていますか？  
野底山森林公園には遊具以外にもたくさんの魅力があります！  
この宝探しを通して野底山森林公園の宝を知ってください

**ルール**

- ・スタンプラリー用紙に紹介されている名所をみつけてスタンプを押してね
- ・途中でやめても大丈夫！無理しない でね
- ・スタンプの数に応じて景品UP!!
- ・制限時間はありません

※スタンプを持って行かないでね

宝のヒントは  
写真だよ!!

南信州新聞さんに  
掲載していただき  
ました！！！！

色づく野底山を満喫 飯田市上郷 「もみじ祭り」親子ら盛大に

2023年11月07日（火） 06:01 ▶ 紙面ビューアーで見る



開始前から列をつくるブースも

飯田市上郷黒田の野底山森林公園で5日、第13回「もみじ祭り」（実行委員会主催）が開かれ、多くの親子連れらが訪れた。

色づき始めた紅葉の下でミニSLや木工教室などの体験コーナーが設けられ、姫宮林間学校では上郷小学校の児童やPTAらによる発表が繰り広げられた。小水力発電所の散策見学会もあった。

広場には飲食の出店が並び、上郷8地区などによる「自慢の味」を求める列ができた。

飯田OIDE長姫高校商業科3年の地域人教育上郷班8人はオリジナルパンを販売した。地元農園やパン店の協力で用意した2種類のオリジナルパンで、30分で完売する人気だった。

実行委員長の北原重光さん（67）は親睦を深める場になることに期待し「地区外から来た人も、もう一度訪れたいくなるような野底山の魅力を感じ取ってもらえたら」と話した。

また公園内では、下黒田の有志でつくる「繋（つなぎ）」主催の「もみじライトアップ&イルミネーション」が開かれている。18日まで。

**もみじ祭り**

11月5日(日) 飯田OIDE長姫高校上郷班ブース  
野底山森林公園

オリジナルパン 9:30~13:30  
限定240個

上郷のマスコットキャラクター モーリーパン  
高田きのご園さんのしめじ  
とくちゃんのみんもも

のぞこやま たからさかし  
**野底山の宝探し** 9:30~12:30受付終了  
～スタンフラリー～  
・与えられたヒントをもとに、野底山の魅力スポットを探そう！  
・スタンプ集めれば集めるほど景品がもらえるよ！  
・テックレンジャー缶バッジとおかしをゲットしよう！

飯田OIDE長姫高校 高橋利 地域人教育上郷班  
問い合わせ先：上郷公民館 電話 24-7744

上郷小学校と  
保育園幼稚園  
に配ったちらし



### 先輩の思い

- ・地域の人知らない、上郷の魅力を  
知ってもらいたい
- ・上郷のマスコットキャラ  
モーリーくんの知名度を  
あげてほしい



### 上郷の魅力体験



ラーメン高橋



野底山森林公園  
マレットゴルフ

### 上郷の魅力体験



矢澤農園



高田きこ農園

どうやって味力を伝えよう？

### 商品開発



どうやって知ってもらおう？

### 野底山の宝探し



# 上郷の美力と味力

### CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に



### 上郷の魅力体験



黒田人形



私たちは地域人教育を通して  
上郷の人たちに**上郷の魅力**について  
知ってもらいたい！

### CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に

### インタビュー

上郷の特産品を聞いたところ  
これといったものが出てこなかった



### 上郷の魅力体験



考古博物館



古墳

### CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に

上郷の人にとっては**当たり前**のものが  
**実は上郷の魅力だった**

私たちが伝えたい魅力って？

みんなが給食  
で食べている  
ミニトマト

野底山の  
マスコット  
キャラクター

ぶなしめじ  
発祥の地

食パン人気  
パン屋さん



野底山の**美力**も伝えたい！

### 宝探しをしてみよう

野底山にはアスレチックや自然  
だけではない！

自然を見て  
もらいたい

湧き水  
野底山深山水

石碑

八王子神社

景品はどうする？

子どもがほしがるものにしよう！



缶バッジ



マレットゴルフ  
無料券

もう一度野底山森林公園に  
足を運んでもらいたい



CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に



CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に

野底深山湧水に興味を持ってもらえた！  
もみじ祭りに参加してくれた世代とは  
違う人たちと交流できた！

まとめ

- ・パンの販売によって上郷の味力、モーリーくんを知ってもらえた
- ・「野底山の宝探し」で上郷の美力を知ってもらえた
- ・上郷地区の人に上郷の魅力を再認識してもらえたと思う
- ・たくさんの人と交流できた



ターゲットはどうする？

小学校に突撃

湧き水がどこかわからない...

看板を作ろう！



野底深山湧水について知ってもらいたい

上郷文化祭で湧き水をしよう！！



CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に



課題

パンの販売が ~~できなかった~~

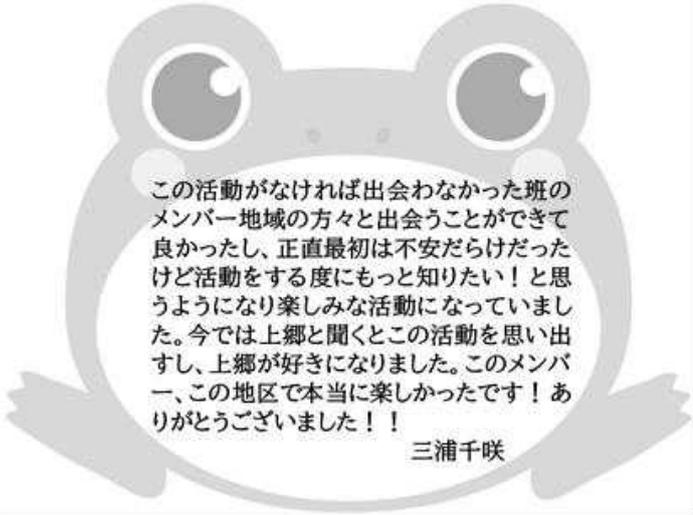
CONTENTS

- 01 上郷の魅力調査
- 02 商品開発
- 03 イベント実施①
- 04 イベント実施②
- 05 まとめ
- 06 最後に

人とのつながりの大切さ  
自分で行動することの大切さ

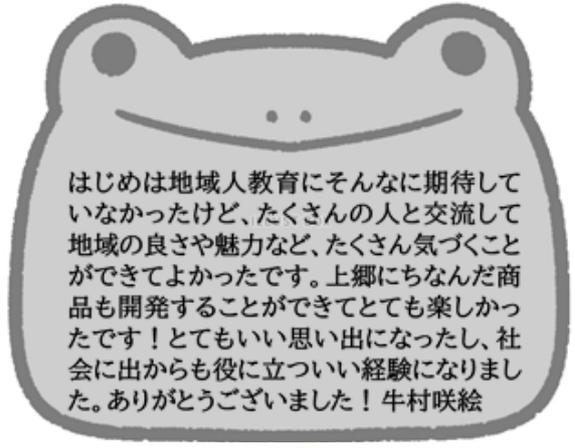


ご清聴ありがとうございました

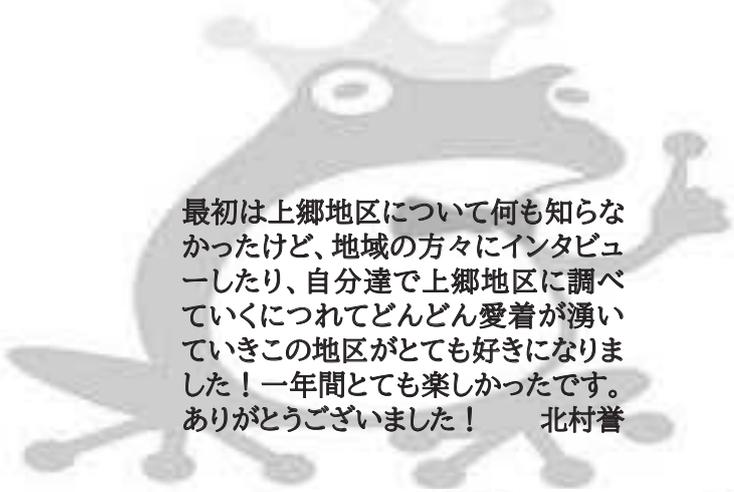


この活動がなければ出会わなかった班のメンバー地域の方々と出会うことができ良かったし、正直最初は不安だらけだったけど活動をする度にもっと知りたい！と思うようになり楽しみな活動になっていました。今では上郷と聞くとこの活動を思い出し、上郷が好きになりました。このメンバー、この地区で本当に楽しかったです！ありがとうございました！！

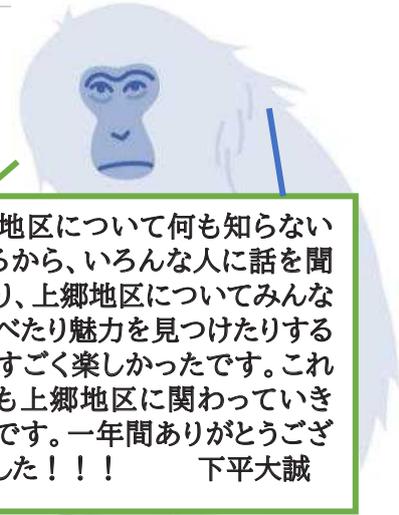
三浦千咲



はじめは地域人教育にそんなに期待していなかったけど、たくさんの人と交流して地域の良さや魅力など、たくさん気づくことができよかったです。上郷にちなんだ商品も開発することができてとても楽しかったです！とてもいい思い出になったし、社会に出からも役に立ついい経験になりました。ありがとうございました！牛村咲絵



最初は上郷地区について何も知らなかったけど、地域の方々にインタビューしたり、自分達で上郷地区に調べていくにつれてどんどん愛着が湧いていきこの地区がとても好きになりました！一年間とても楽しかったです。ありがとうございました！北村誉



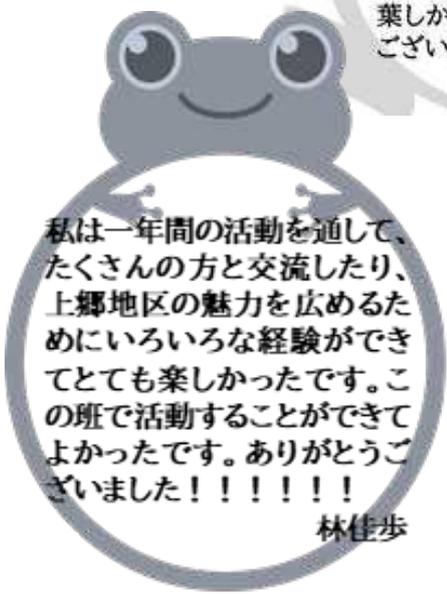
上郷地区について何も知らないところから、いろんな人に話を聞いたり、上郷地区についてみんなで調べたり魅力を見つけたりするのがすごく楽しかったです。これからも上郷地区に関わっていきたいです。一年間ありがとうございました！！下平大誠



## みんなのひとこと

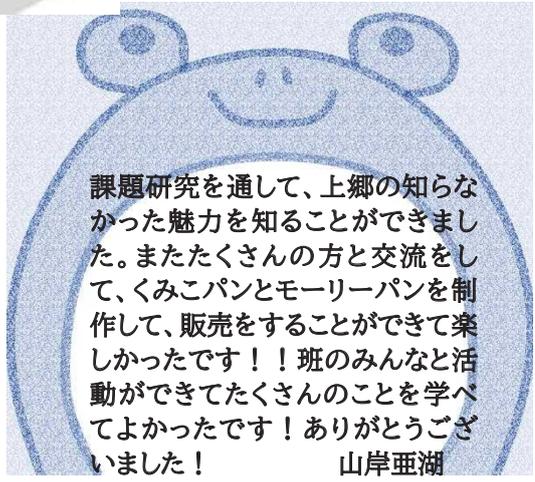


僕の中では自分たちでイベントの企画を考え、地域の方とふれあい、たくさん笑顔を見られたことが一番印象に残っています。僕たちの活動に協力してくれたたくさんの方に感謝の言葉しか出ないです。今までありがとうございました！松岡大晟



私は一年間の活動を通して、たくさんの方と交流したり、上郷地区の魅力を広めるためにいろいろな経験ができてとても楽しかったです。この班で活動することができてよかったです。ありがとうございました！！！！！！

林佳歩



課題研究を通して、上郷の知らなかった魅力を知ることができました。またたくさんの方と交流をして、くみこパンとモーリーパンを制作して、販売をすることができて楽しかったです！！班のみんなと活動ができてたくさんを学べてよかったです！ありがとうございました！山岸亜湖

上郷地域まちづくり委員会会長

北原 重光 様

野底山森林公園の『美力』を調査し、もみじ祭りにおいて「野底山の宝探し～スタンプラリー～」を計画、実施して成し遂げられたことに感動しました。またマレットゴルフの無料券を配布するアイデアには驚かされました。これらの企画こそが、本来のもみじ祭りの趣旨だと思います。皆さんにアッパレを差し上げたいと思います。“ありがとう”

野底山森林公園管理事務所

井村 典子 様

もみじ祭りに参加しパンづくり、ウォークラリーで上郷の魅力を伝える目的は十分に達成できましたね。発表会も素晴らしいだった。皆さんの創り出す大きなエネルギーで私たち大人もわくわくと心躍る時間を過ごせました。看板や無料券など明日に繋がるおみやげも残してくれました。“ありがとう” またマレットゴルフに来てね。

しかく

□屋 牧野 聡 様

高校生との出会いは、「上郷地区でアンケートを行った結果、□屋さんのパンを売ってみたい」と話を頂いたことからでした。モーリーパンとくみこパンの商品開発をいっしょに考えていく中で、若い力と発想力と実行力に驚きました。若い力が地域に必要なだと教えてもらいました。ありがとうございました。

高田きこの農園 代表取締役 高田 一仁 様

最初、高校生が上郷の地域学習をすることを聞き、地域に根ざした活動をしている事に驚きを感じましたが、その中でも、今回は「上郷の美力と味力」ということで上郷発祥である「ぶなしめじ栽培」を取り上げていただき、大変嬉しく力強く後押しされているように感じました。現場視察や発表会前の姿は高校生らしくはしゃぎながらも、人前に出ると借りてきた猫のような姿に、少し微笑ましくも感じましたが、発表会も大変素晴らしくまとまっており、上郷の魅力を再確認することができました。ありがとうございました。今回の出会いも大切に、研究メンバー皆さんの大いなる活躍にご期待申し上げます！！

上郷公民館長 山浦 貞一 様

タイトル「上郷の美力（みりょく）と味力（みりょく）」に驚きと新鮮さを感じ、私には思いつかない新しい切り口を教えていただいたと感謝しています。地域の中のヒト・モノ・コトに『おや!?!』と感じるセンサーが弱くなっているは「もったいない！」と改めて感じ、新たな付加価値を見出すことのできる地域をフィールドにした探究の学びのよさを教えていただきました。ありがとうございました。

上郷公民館主事 林亮介 様

最初は大人と話すのにもモジモジしていた皆さんが、秋には自分たちで考えた企画を協力して大成功させ、その成果を堂々と発表する姿を見て、皆さんの成長ぶりに感動しました。私も皆さんに多くのことを学ばせてもらいました。ありがとう。これから飯田を離れ、進む道はそれぞれですが、そこには必ず“地域”があり、人と人とのつながりがあります。上郷で経験し学んだことが、これからの人生の糧になればうれしいです。いつかまた、さらに成長した皆さんに会える日を楽しみにしています！

## 空き家が一軒でもなくなることを願って



### 【研究メンバー】

河西美咲 木下暖理 代田彩音 原田美音  
 松下紅葉 三石愛弓 山崎遥香  
 林秀孝(指導教員)

### 【ご協力いただいた方々】

飯田市役所 櫻井様  
 追手町小学校5年生の皆さん  
 飯田西中学校2年生の皆さん  
 丸山地区・橋南地区・上郷地区の皆さん  
 株式会社中村様 株式会社スガヌマ様

### 1. はじめに

昨年度先輩が飯田市の一番の課題は空き家問題だと提示し活動しようとしたが、お金・時間等の問題から思うような活動ができなかった。しかし「情報発信」することは高校生にもできそうであることを投げかけてきた。私達も空き家が増えていることは問題だと感じていたので、受け継ぎ活動を始めた。

### 2. 研究課題

飯田市から空き家を一軒でも減らすために、自分の家の将来のことを考えてもらう方法を考え、実践する。

### 3. 研究経過

4月 市役所の方の講義	9月 追手町小学校・飯田西中学校で授業
5月 鼎地区フィールドワーク	10月 カレンダー作成
6月 安東さん宅・飯田市フィールドワーク	11月 カレンダー販売

### 4. 研究内容

空き家問題に対する啓発活動の一つとして、カレンダーの企画・作成・販売を行う。 ①追手町小学校5年生と飯田西中学校2年生に空き家の現状や問題について授業を行う。 ②空き家を増やさないために多くの方に飯田市の今後について考えてもらえるよう小学生、中学生に協力してもらいカレンダーに掲載する絵や俳句を作ってもらう。

③カレンダーのデザイン・作成をして、協力をいただきながら販売を行う。

④カレンダーを見て、空き家問題を考えるきっかけになったかななどの検証を行う。

## 5.考察

### 1)飯田市の町を活性化する

飯田市内を実際に歩き、飯田駅周辺を歩いている人に話を聞くことでシャッターが閉まっている店が多いこと、昔よりも賑わいが減ったことを知った。空き家が増加してしまう原因の一つとして商店街の廃れがあると考えた私達は飯田市を活性化するために看板設置等を図ろうとしたが、費用の問題から断念した。

### 2)カレンダー

もともと住んでいた高齢者が亡くなってしまい家に住む人がいなくなってしまうこと、若い人が就職のためなどで飯田市から出て行ってしまふことなどの問題によって空き家が増えてしまふと感じた私たちは今ある家について考えてもらふ必要があると考えた。

①空き家が増えてしまふ問題の中でも私たちは若い人が飯田市から出て行ってしまふことに注目して、どうしたら飯田市に残ってくれるのかを考えた。そこで今飯田市に住んでいる方に空き家について知ってもらうために追手町小学校5年生と飯田西中学校2年生に授業をすることにした。飯田市の現状や空き家とは何か、空き家があるとどうなってしまうのかについての授業をすることで小中学生に空き家について興味を持ってもらうことができた。

②小学生には今ある飯田市の魅力、飯田の今後に残したいもの、中学生には家に対する想いや将来住んでみたい家をテーマにカレンダーに掲載する絵や俳句を作ってもらふ。③どのようなカレンダーだと興味を持ってもらえるかや飯田市の魅力を伝えることができるかを考えながら自分たちで一からデザインし作成した。作成したカレンダーを丸山地区文化祭、橋南地区文化祭、上郷地区文化祭で販売した。

④来年のカレンダーを作成したためまだ見てもらうことができず空き家問題を考えるきっかけになつたかどうかの検証は行えなかつた。

## 6.今後の課題

・カレンダーを販売するタイミングや場所などを考える必要があつた。また、普段壁掛けのカレンダーを使っている人が多かつたので卓上カレンダーを求めている人が少なく、売れ行きがよくなかつたから、販売方法の工夫も必要であつた。

・目的に応じた訴求力があるカレンダーのデザイン等の企画を研究することが望まれる。

・空き家を活用することは所有者さんとのコミュニケーションや費用、衛生面の関係で高校生には難しかつたが、現実の確認には必要であつた。

## 7.終わりに

私たちの活動を支援して下さつた林先生、飯田市の空き家の現状と空き家対策への取り組みについて教えて下さつた櫻井さん、カレンダー作成のために家に対する想いや将来住んでみたい家についての俳句を提供して下さつた飯田西中学校2年生の皆さん、飯田市の魅力、飯田の今後に残したいものについてのイラストを提供して下さつた追手町小学校5年生の皆さん、ありがとうございました。空き家について何も知らない状態ではじまり、どうなるか不安でしたがこの活動をよりよくしていくためにアドバイスをいただいたおかげで、一年間空き家問題に取り組めました。1年間ありがとうございました。

## 卓上カレンダー作成の趣旨書

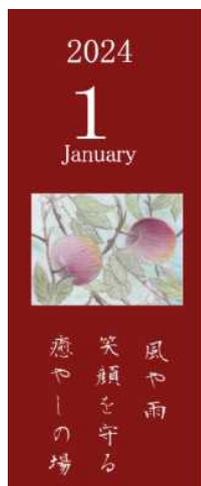
私たち「続・空き家班」では、地域人教育の授業で行っている活動で『空き家』について調べました。その中で、飯田市の空き家の多さを知り、少しでも空き家が少なくなる方法はないかと検討しました。しかし、上手い案が出来ず、「少なくする」から「増やさない」方法を考えることに方針を変えました。

そこで、日項目にするカレンダーを利用できないかと検討し、カレンダーに自宅の将来を家庭で話し合うきっかけになることを取り入れることを考えました。そこで、追手町小学校5年生と飯田西中学校2年生に飯田市の空き家の様子を知ってもらい授業を私たちが行い、同時に、飯田市の魅力を絵に描き、あるいは家に対する想いを俳句にさせていただきました。

それらをもとに、「手作り卓上カレンダー」を私たちが企画・作成・販売をしました。この卓上カレンダーを見て、ご自宅の将来をご家族で話し合う一助にさせていただき、飯田市の空き家が増えないことを願っています。

飯田OIDE長姫高等学校 商業科 課題研究「続・空き家班」

## カレンダーの表紙



愛される飯田市						
Sunday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	
					6	
					13	
					20	
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

飯田市の空き家が少しでも無くなってほしいという思いと、小中学生の飯田に対する思いが込められていることから、「愛される飯田市」



愛される飯田市						
Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
28				1	2	3
4				8	9	10
11				15	16	17
18				22	23 天徳誕生日	24
25				29	1	2

追手町小学校5年生が描いた飯田市の魅力の絵

飯田西中学校2年生が詠んだ家に対する想いの俳句

2024  
1  
January



風や雨  
笑顔を守る  
癒やしの場

愛される飯田市

12 日月火水木金土 1 2  
2023 3 4 5 6 7 8 9  
10 11 12 13 14 15 16  
17 18 19 20 21 22 23  
24 25 26 27 28 29 30

2 日月火水木金土 1 2 3  
2024 4 5 6 7 8 9 10  
11 12 13 14 15 16 17  
18 19 20 21 22 23 24  
25 26 27 28 29

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
31	1 元日	2	3	4	5	6
7	8 成人の日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2024  
2  
February



風の音  
家族の温もり  
落ち着くな

愛される飯田市

7 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6  
2024 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30 31

3 日月火水木金土 1 2  
2024 3 4 5 6 7 8 9  
10 11 12 13 14 15 16  
17 18 19 20 21 22 23  
24 25 26 27 28 29 30

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日	12 休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29	1	2

2024  
3  
March



最後まで  
しっかり住もう  
マイホーム

愛される飯田市

2 日月火水木金土 1 2 3  
2024 4 5 6 7 8 9 10  
11 12 13 14 15 16 17  
18 19 20 21 22 23 24  
25 26 27 28 29

4 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6  
2024 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
25	26	27	28	29	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 春分の日	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024  
4  
April



次世代に  
空の家を残さず  
いい街に

愛される飯田市

3 日月火水木金土 1 2  
2024 3 4 5 6 7 8 9  
10 11 12 13 14 15 16  
17 18 19 20 21 22 23  
24 25 26 27 28 29 30

5 日月火水木金土 1 2 3 4  
2024 5 6 7 8 9 10 11  
12 13 14 15 16 17 18  
19 20 21 22 23 24 25  
26 27 28 29 30 31

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29 昭和の日	30	1	2	3	4

2024  
5  
May



家にはね  
安らぎの時  
最高だ

愛される飯田市

4 日月火水木金土  
2024 1 2 3 4 5 6  
7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30

6 日月火水木金土  
2024 2 3 4 5 6 7 8  
9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28 29

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
28	29	30	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 休日	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2024  
6  
June



窓開けて  
開放的な  
住まいだな

愛される飯田市

5 日月火水木金土  
2024 5 6 7 8 9 10 11  
12 13 14 15 16 17 18  
19 20 21 22 23 24 25  
26 27 28 29 30 31

7 日月火水木金土  
2024 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30 31

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2024  
7  
July



いつまでも  
帰る場所がある  
幸せだ

愛される飯田市

6 日月火水木金土  
2024 2 3 4 5 6 7 8  
9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28 29

8 日月火水木金土  
2024 4 5 6 7 8 9 10  
11 12 13 14 15 16 17  
18 19 20 21 22 23 24  
25 26 27 28 29 30 31

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2024  
8  
August



住人を  
増やし笑顔も  
増やそうよ

愛される飯田市

7 日月火水木金土  
2024 7 8 9 10 11 12 13  
14 15 16 17 18 19 20  
21 22 23 24 25 26 27  
28 29 30 31

9 日月火水木金土  
2024 1 2 3 4 5 6 7  
8 9 10 11 12 13 14  
15 16 17 18 19 20 21  
22 23 24 25 26 27 28  
29 30

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 山の日	12 休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2024  
9  
September



空に家にせ  
ないために  
しな  
決断を

愛される飯田市

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 休日	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

2024  
10  
October



僕たちと  
一緒に育つ  
家がある

愛される飯田市

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 スポーツの日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2024  
11  
November



今の家  
少いボロい  
愛してる

愛される飯田市

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
27	28	29	30	31	1	2
3 文化の日	4 休日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30

2024  
12  
December



寂しいな  
今もずっと  
一人ぼっち

愛される飯田市

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

## 「1年間の活動を振り返って」

河西 美咲

空き家班として活動していくとなったときに、空き家についての知識が何もなかったので不安でした。空き家が問題になっていることは知っていたけど細かいところまでは知らなかったので課題研究の授業を通して知ることができました。

空き家について何も知らない状態から市役所の櫻井さんのお話を聞いたり自分たちで実際に歩いてみたりして飯田市にこんなに空き家があると実感しました。空き家があることで、崩壊する可能性やごみの不法投棄や猫や害虫が発生してしまうなど様々な問題があることを学びました。地震があったとき空き家が崩壊してしまう可能性は大いにあるため空き家をなくしたい、または活用して地域の方々が使えるような場所にしたいと考えました。しかし空き家を活用するにはたくさんの時間と費用がかかるため空き家をなくしたり活用するには自分たちが思っていたよりも大変だと思いました。

空き家の現状を多くの人たちに知ってもらいたいと思い、毎日目にするカレンダーを作成することになりました。多くの方に手にとって取っていただくことができ、空き家について知ってもらうことができたのではないかと思います。やることが多くなってきたときに班の中で分担し作業することで効率的に行うことができました。どう進めていくのか考える時間が長くなってしまって活動に移すのが遅くなり、ぎりぎりになってしまったのもっと早くに進められると良かったと思います。

高校生が空き家を活用することは難しいけど少しでも空き家問題を解決するために高校生ができることはたくさんあると思うのでそれを見つけてがんばってください。一つの案が潰れたときに進められるようにいくつかの案をだしておくといいと思います。また、活動時間は思っているよりも少なくギリギリになってしまうのではやくから活動するのいいと思います。

木下 暖理

現在の飯田市の空き家の現状や問題などを知ることができました。自分たちにできることはたくさんあるだろうと思っていただけ、課題解決に向かって今私たちができることを考え、そして行動していくことがどれだけ難しいのかを学ぶことができました。

自分たちが直接空き家を減らすということはとても難しく、簡単にはすぐに変えることのできない現状だと思い、「空き家を減らす」ではなく「空き家をこれ以上増やさない」ための活動をしていこうと考え、これからの飯田市を担っていく小中学生をターゲットとし、空き家についての授業、そして日常でよく利用するものでそれを通して家族で会話の話題にしてもらえたらという思いから、卓上カレンダーを作成・販売することにしました。

空き家を減らすことができたかといえばそうではないかもしれないけれど、私たちが今回活動してきたように空き家に対して目を向けて考えていくことが大切だということがわかりました。空き家に向き合う人が増えていくことで、空き家の活用方法の選択肢が増え、課題解決に繋がってくるのではないかと思います。だから私もこれで終わりにするのではなく、これから自分ができる空き家対策などを考えていきたいと思います。

活動をしていく上で、班内のコミュニケーションや連携、共有をもう少し行うことができたなら良かったかなと思います。また、活動のための計画や準備などが、ギリギリになってしまったので、計画的に進めていくことができたならスムーズに活動をすることができたかと思っています。

空き家は大きな問題なので自分たちで空き家をどうにかしようというのはとても難しいけれど、自

分たちにできることはいくつもあると思うのでどんな形でも空き家に対して向き合っていくという姿勢が大事だと思います。

代田 彩音

はじめ空き家とはどういうものなのかという知識しかなく1年間空き家というお題で活動することに不安がありました。しかし市役所の櫻井さんから空き家についてのお話をお聞きしたり実際に自分たちで空き家を見に行ったりすることで空き家について深く考えることができました。

私は課題研究の活動を通して空き家の現状や問題について知ることができました。空き家は長野県にも多くあり、空き家のせいで虫や野生の動物の住処になっていたり環境を悪くしているということを知りました。空き家が増えてしまうなら空き家の所有者に話をして撤去してもらえばいいと思っていたけど、撤去にはたくさんの手順や時間が必要になることを知り、空き家をなくすことは自分が思っていたよりもすごく大変なことだと思いました。それでも空き家が増え続けることは環境に悪いことなどで減らすという考えよりもこれ以上増やさないという活動をしようと考えました。今まで空き家班で活動していた先輩方の中には空き家を活用して学生たちが勉強できる場所にアレンジしていました。そこで私たちも空き家を活用してなにか地域に貢献することができないか考えました。例えば空き家があるのは少子高齢化が進んでいて住んでいた高齢者の方がいなくなってしまうことが理由の一つだと考えました。そして少子化を止めるためには子供の育てやすい町作りが必要になってくる。子供食堂を作りそこで長姫のカレースパイスを使って料理をすれば少しでも子育てのしやすい町作りができるのではないかと考えました。しかし高校生にできることは限られており空き家を活用することは難しいと感じました。

私たち高校生ができることとして卓上カレンダーを制作してカレンダーを見てくださった方に飯田の魅力や空き家について考えてもらおうと考えました。卓上だけではなく壁掛けもあったほうが良かった、もう少し早くから販売したほうが良かった、カレンダーのイラストをもう少し明るく加工できればよかったなどの反省点もあったが買ってくださった多くの方に喜んでもらうことができ良かったです。

来年も空き家についての活動をする際は、難しいお題だけれど高校生でもできるような活動や課題を見つけることで良い活動ができると思います。

原田 美音

課題研究を通して、飯田市は空き家に対して大きな問題を抱えているということを知りました。ですが、自分がこの活動をするまでは空き家の問題には目を向けたこともなくて、知ることもしませんでした。空き家を減らすために空き家を活用してなにか施設を作ろうとしましたが、飯田市役所の以前から空き家に対して目を向けている方のお話を聞いて空き家を活用してなにかに利用することは難しいということを知りました。それは所有者が確定していない事が大きな問題で私達にはどうすることもできない問題だということがわかりました。そこから考えたことは、空き家を減らすこと以外に私たちに何ができるかということです。空き家班で飯田市内を探索したり地域の方のお話を聞いていく中で案を考えて出しましたが高校生の私達が行動できることは少なく断念するものばかりでした。ですが飯田市役所の櫻井さんのお話や顧問の林先生のアドバイスをもらい「空き家を減らすこと」から「空き家をこれ以上増やさない」ということに方向転換しました。

この活動を通して飯田市全体として取り組んでいる問題に向き合うことの大変さを感じました。

また、この班は他の地区と違って活動場所や活動内容も明確に決まらずに一から活動内容を考えるのはすごく大変だったし挫けそうになったけどみんなと協力して最後まで頑張ることができてよかった。そして最終的には納得の行く活動ができてよかった。

反省点は活動方針について考えるときに全体として何も考えず案を出していたことです。高校生の自分たちにできること、できないことの区別をしっかりと考えて発言すべきだと感じました。やりたいて思いだけじゃできないことはたくさんあるからまずは課題についてしっかりと考えて自分たちの実力にあった活動を見つけられることがいいと思った。

後輩へのアドバイスは、しっかりと課題に向き合って地域の人とかからアドバイスもらって頑張ってください。

松下 紅葉

課題研究を通して地域の課題と向き合う大切さと難しさを学ぶことができました。自分が空き家班になった時、一年間で何ができるのか全く想像ができなかったため不安な気持ちでいっぱいでした。実際、飯田市の空き家の多さは問題になっているものの空き家を活用することや持ち主を探すことは難しく、高校生にできることは少ないと実感しました。また、4月頃はなかなか意見が出ず苦戦した部分もありましたが、飯田市の空き家問題を解決したいという思いで班員全員が意見を出し合い、解決に向け精一杯取り組みました。最終的にカレンダー作成をすることになりましたが、そのおかげで小学生や中学生、地域の方と交流する機会が増えたと思います。販売の際は、売り方のコツを教えてくださいだったり、課題研究の活動について興味関心を持ってくれる方がいたりと交流を通じて得られたものは多くありました。カレンダーを使うのは1月からということもあり、成果として得られたことは少ないですが一年間やってきた活動は無駄ではなかったと思っています。多くの方々の協力があったからこそ自分たちのやりたい活動ができたと思うので本当に感謝しています。

課題研究発表会は思ったよりあっという間にくるので班員と意見を出し合い、行動に移せることがあれば早めに行動したほうが断念したとしても次の活動に取り組めると思います。空き家問題に取り組むことは難しいとわかっていると思うので断念せざるをえないことが多かったとしても諦めずに最後まで課題研究を頑張ってください。

三石 愛弓

この1年間飯田市の空き家問題と向き合ってみて学んだことは、高校生だけで空き家を減らしていく活動をするのは難しいということです。授業を始めた当初は飯田市の空き家を一つ使って、例えばカフェや人が立ち寄れるところを作れたらいいなという感じで簡単に考えていましたが、実際空き家問題について知っていくうちに、そう簡単に空き家を活用することは難しいということがわかりました。テレビなどで空き家をリノベーションしてお家にした、カフェを開いたなどという話題をよく見ますが、そういう活動をしている人たちは本当に行動力があるなということ、実際自分が空き家問題と関わることで感じました。そして、カレンダー販売をしてみても自分たちの力でものを販売することがいかに難しいかということも改めて感じました。今回はカレンダー作成を業者に依頼せず、自分たちで作ったこともあり、費用をどうするのか、デザインはどういうものにするのかなど、難しい点がたくさんありました。

この班になったことで飯田市の空き家問題の現状について知ることができましたが、違う班で活動していたら空き家の件数や状態など興味を持たない限り知ることはなかったと思います。だからまず

は今の若者に向けた空き家の現状や問題などをもっと発信していくことが必要だと感じました。

空き家問題の班ということもあり、まずどんな活動を行っていくのかを決めることがとても難しかったです。結果的に空き家をこれ以上増やさないという観点からカレンダーを作成することができて、販売活動も様々な地区の文化祭で行うことができたので良かったです。この活動をきっかけに飯田市の空き家問題について考えてくれる人が少しでも増えればいいなと思います。

他の班は自分たちの活動に対してのアンケートを取ってその活動の効果を検証していたけど、そこまですることができなかつたので、カレンダーをかってくれた人にどう思ったかなどのアンケートが取れたら良かったなと思いました。

空き家問題はとても難しい課題だと思いますが、空き家の現状について知ってもらうことや解決に向けての活動など、なにかできることはあると思うので頑張ってください！

山崎 遥香

活動していくなかで、作業が増えてきたりしたときに、班のメンバーで話し合い分担して作業をすることで効率よく行うことができたことから、班で分担して行うことの大切さを学びました。

今回空き家班として活動してきて空き家について知ることができました。今までは空き家について考えることがなかつたけど空き家について知ることができて今の空き家の現状を知り私達にできることを考え活動することができました。今回の活動を通して、飯田市の課題である空き家について考えることができたので良かったです。

最初は空き家についてはなにも知らない状態からのスタートで不安が沢山ありました。空き家について話を聞いたり、自分たちで学校周辺や丘の上周辺を歩いてみたりして、今の飯田市の課題である空き家について少しずつ知っていくことができました。色々知っていく中で空き家は簡単になくすることはできないと知り苦労しました。そこから私達高校生にできることを考え活動を行いました。1年間空き家班として最後まで活動できて良かったです。

今後どんな活動を行っていくかを考えるのが遅くなってしまつて全部完結することができなかつたのでもう少し早い段階から進められたら良かったと思います。

意外と後半にかけて時間が足りなくなってくるので早め早めに行動することを心がけたほうがいいと思った。

最初に出した案ができなくなる可能性も考えて案は、いくつか出しておいたほうがいいと思った。

#### 担当職員コメント

空き家は社会的問題であり、行政でも苦慮している。高校生には高いハードルであるかもしれないが、高校生の視点でこの問題に取り組むことは、大切なことである。何が問題であり、どうすれば良いかを考えることは、社会問題を自分の事として捉えることになる。空き家問題に限らず難しい問題に対して「知らんぷり」するのではなく、自分で見て聞いて考えてみるのが今、必要とされています。

空き家問題で空き家を増やさないための方策として卓上カレンダーの作成を企画しました。そして制作も販売も自ら行ったことは、素晴らしいことです。販売も複数回実施して完売したことは、達成感を得ることができたと思います。

紆余曲折がありました。その中から課題の設定、解決策の企画と実践をしました。企画に対する検証ができることよいのですが、そこまでの時間がありません。

販売時の皆さん方の表情がとても良かったです。1年間、ご苦労様でした、ありがとう。

# 地域人教育成果発表会



飯田OIDE長姫高等学校

## 地域人教育成果発表会

〔場所〕 飯田県文化センター

〔日時〕 令和5年 12月21日(木)

9時～12時

〔内容〕 商業科3年生が飯田市内で住民の方と

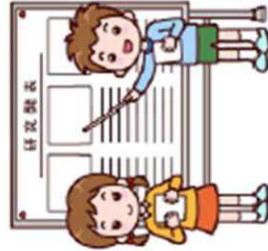
実践した研究活動を報告します

空き家 鼎 飯田今昔 全市 羽場

中心市街地 丸山 龍江 上郷 座光寺

〔その他〕 招待客のみ限定公開です

感染症の予防にご協力ください



〔お問い合わせ先〕

飯田OIDE長姫高校 商業科 0265-38-7124

# 飯田OIDE長姫高校

## 地域人教育成果発表会

商業科3年生が飯田市内で

住民の方と実践した研究活動を報告します！

日時

12月21日(木)

9:00～12:00

場所

飯田市

県文化センター

諸連絡

※招待客のみ限定公開です

※感染症の予防にご協力下さい

問い合わせ先

飯田OIDE長姫高校

商業科0265-38-7124

## 地域人教育成果発表会にあたって



令和5年度「地域人教育成果発表会」を飯田市、松本大学の他、地域の皆様のご支援ご協力を賜り、開催することができましたことを感謝申し上げます。この地域人教育は旧飯田長姫高校時代の平成24年の三者協定に端を発し、多くの研究成果を上げてまいりました。地域を愛し、地域を理解し、地域に貢献することを目的としています。

「地域人教育」開始当初はどのような活動をするのか戸惑いの連続であったと推察いたします。探究活動という言葉が認知される前の段階であり、目指すべき方向も定まっていなかったのではないかと思います。この間松本大学、飯田市の皆様のご支援ご協力をいただき、着実にではありますが深化してきたと感じております。この成果発表会も回を重ねること、中身の濃い発表会となってきております。

1年間の活動の成果をご覧いただき、ご助言等賜りますようお願い申し上げます。

学校長 松原 均

## 令和5年度 地域人教育成果発表会 プログラム

順番	発表時間	研究テーマ	発表タイトル	担当生徒	職員	地区
1	9:15	愛される飯田市	空き家が1軒でもなくなることを願って	河西 木下 代田 原田 松下 三石 山崎	林	空き家
2	9:28	ポプラに継ぐ鼎のシンボル	ゆめをかなえて、さくら咲け！	片桐 小林 土岐 西野 原田 湊田 松下	武藤	鼎
3	9:41	弱者に寄り添う活動	Hey！おまち！リヤカー販売参上	石原 勝見 酒向 塚田 福沢 松島 本島 吉川	坂下	飯田 今昔
4	9:54	梅の魅力を再発見	竜峡小梅 復活！	北原 佐々木 永田 古田 丸山 矢嶋	二木	全市
5	10:07	体験型謎解きゲームを通じた中心市街地の周遊者改善に関する一考察	新感覚謎解きゲーム ～in the central city area～	小田 後藤 玉田 原 北條 矢沢 横山	山田	中心 市街地
6	10:35	若者に魅力を伝えよう	羽場NICE DAY ～広げる交流（つながり）の幅～	小澤 田切 畑野 本阿 吉沢 鷺美 八尋	竹内	羽場
7	10:48	高校生と地域の結びつき	神撃の食、降臨	安藤 伊藤 川中島 佐々木 塩澤 中 藤澤 山村	國松	丸山
8	11:01	龍江のりんごを使ってPR	わたしとりんごと龍江と	池田 梶間 小林 田中 半崎 松下 宮下 横前	白木	龍江
9	11:14	地域の魅力を伝える	上郷の美力と魅力	牛村 北村 下平 林 松岡 三浦 山岸	原	上郷
10	11:27	りんご飴で座光寺の魅力をPR	なんかまるくておいしいやつ	伊藤 熊谷 清水 田中 中島 中島 村松 吉澤	越	座光寺

## 発表をご覧いただいた地域の方の声

### 【丸山地区】

- ・発表のパワーポイントが工夫されていた。(7)
- ・丁寧に地域と向きあってよく理解した上で実践につながっている。
- ・地区との結びつきがよかった。
- ・積極的に様々な体験を重ねた姿がよくわかった。
- ・食でつながり、交流を深めるということを興味深く見やすい表現で発表できていた。
- ・何回も試作を重ねてピザを作り上げる過程に感どうした。
- ・発表の演出は素晴らしかった。
- ・一緒に取り組めたことがうれしかったです。
- ・学校や地域のものを使ってピザを作っていてより魅力を知ってもらえると思った。

### 【座光寺地区】

- ・文化祭を経ての反省をしっかりと行い、その後の目的やターゲットをしっかりとさだめて活動されていた。
- ・編集が面白く、高校生らしく分かりやすく、子供たちにも見せたいなと思いました。
- ・販売の広告力もあり、効果が出ていてよかったです。

### 【羽場地区】

- ・地域の良いところを1つ1つ丁寧に発表しており、魅力が伝わってきた。
- ・人気アニメにもじった発表の仕方に工夫があった。
- ・自分たちの活動を次へつなげようという意欲があった。
- ・地区のことをよく勉強していることがわかった。

### 【中心市街地】

- ・新しい発想と、最新の技術を用いての取り組みがよかった。考察もよくされていて関心を持った。
- ・先進的な取り組みとして面白かった。
- ・新しい技術に対してアイデア出しとリサーチが良かった。
- ・取り組み内容が面白い。
- ・動画を用いて楽しく発表を見ることができた。今後の展望がわかりやすかった。
- ・発想がおもしろく、斬新でした。
- ・民間企業との取り組みが良かった。

### 【鼎地区】

- ・目の付け所や取り組みの展開がユニークだった。
- ・「カナエ」の地名という着眼点が良かった。
- ・活動の多様さが良かった。
- ・人とのつながりすてきですね。素晴らしいと思いました。
- ・ゆめかなえ神社へ行ってみたいと思いました。(2)
- ・課題を見つける～実践～振り返りの各ステップが順序立ててよく整理されていた。
- ・原点を見つけることができてよい発表でした。
- ・発表を楽しく聞くことができた。
- ・アクティブに動いて色々なことにチャレンジしたのは素晴らしい。
- ・スライドが分かりやすくまとめられていて、説明も聞き取りやすかった。(3)
- ・それぞれの活動がステップごとになっていて視覚的にも楽しかった。
- ・JRの方たちと協力して絵馬や切符、お守りなどきっとできないだろうなと思うようなことまで実際に行っていたこと、課題に対して良い対策、的確で良かった。
- ・絵馬や切符のお守りのデザインがかわいくて幅広い年代の方から関心を持ってもらえる活動だと思った。
- ・合格祈願の切符を中学生にも広めたらいいと思いました。
- ・鼎を知ることから始まり、最後にはお守り、絵馬の作成まで発表もすばらしかった。
- ・鼎という名前をテーマにした着眼点が良かったです。
- ・プレゼンがうまかった。

### 【龍江地区】

- ・ターゲットに合わせた、観光プランの発案がよかった。
- ・観光プラン4つを考え、実際体験から感想までやり今後につながる活動ができていた。
- ・地域の祭りに参加し、プランを考えているのがよかった。
- ・地域内の盛り上げだけでなく、観光客への目線をもち、観光プランを考えていて大変よかった。
- ・観光プランを考えて実際に体験してもらおうということころがおもしろかった。自分たちも実際に体験して改善点を見つけ、さらに改善したプランを考えることができればもっと良かったのではないのでしょうか。

### 【飯田今昔】

- ・生活弱者という課題に取り組み、リヤカー販売のアイデアが素晴らしい。
- ・弱者に寄り添う活動の積み重ねが高校生にとっても住みやすい社会を作っていくと思います。ゴミ拾い→手話講座→リアカー販売という過程もよかった。
- ・1年で終わりにせず、今後も弱者の視点に立った企画を続けてください。
- ・問題に対しての行動と成果が高く素晴らしいかった。

### 【全市型】

- ・すてきな発表でした。
- ・今後も竜峡梅の活動をよろしくお願ひします。
- ・テーマを見つけるまで時間がかかり大変だと思いました。

### 【上郷地区】

- ・地域の人気づかない魅力を地域の人に伝えるという点がとても良いと感じました。
- ・昨年度の課題を生かし、今年度の活動にしっかりつなげることができている。(2)
- ・目標と結果が伝わりやすかった。内容が良かった。(2)
- ・生徒の課題意識、取り組みの成果、その活動を通じて学べたことが分かりやすく説明されていた。
- ・利用者への聞き取りなど手法に力を入れたことが伝わってきた。
- ・単なる商品開発ではなく、PR という目的が明確だった。
- ・発表の内容が分かりやすく、地区で協力いただいた人たちの顔や思いが伝わってきた。
- ・様々な人との出会いの中で活動をされていたのが素晴らしいと思いました。
- ・上郷の「美力」良い言葉ですね！
- ・モーリーパンや缶バッチ、看板づくりなど、形にしていたところがよく頑張って完成まで企画できたということがよかった。

- ・純粹にパンを食べてみたいと思いました。
- ・イベントを1回きりで終わらせず、次につなげられる取り組みのステップアップができていた。
- ・足で稼いで地域を理解し、ネットワークを築くことができている。
- ・自分たちが発見した地域の魅力を「味力」と「美力」に集約したアイデアが素晴らしい。
- ・最後の言葉にぐっときました。
- ・モーリーパン、めちゃかわいくて上郷のみりよくをたくさんイベントに参加していて良いと思った。

### 【続・空き家】

- ・空き家の実態から、分析、なんとかしたい、しなければならぬという思いとその過程がよくわかった。仮説とその検証がなされていた。
- ・空き家というまちの課題に取り組み、失敗から方向転換して多くの人をまきこむことができていた点が素晴らしい。
- ・空き家に対する課題→課題解決のための提案→断念…で終わらすのではなく、次々と新しい提案をして実践された様子がわかってよかった。
- ・よくまとまっており、聞きやすかった。
- ・中学生の俳句を有効活用していただきとてもうれしかったです。高校生の活動の様子を中学生にも伝えて、地域のために何ができるのか考えさせていただきたいと思います。

**たくさんの感想をいただきありがとうございました。大変申し訳ありませんが一部抜粋とさせていただきます。**

# 地域人教育成果発表会 写真集

令和5年12月21日(木)  
飯田市鼎文化センター





# 資料

---

---

# 社会人基礎力の自己診断シート

年 組 番 氏名

★今の自分にはどの程度社会人基礎力があるだろうか？

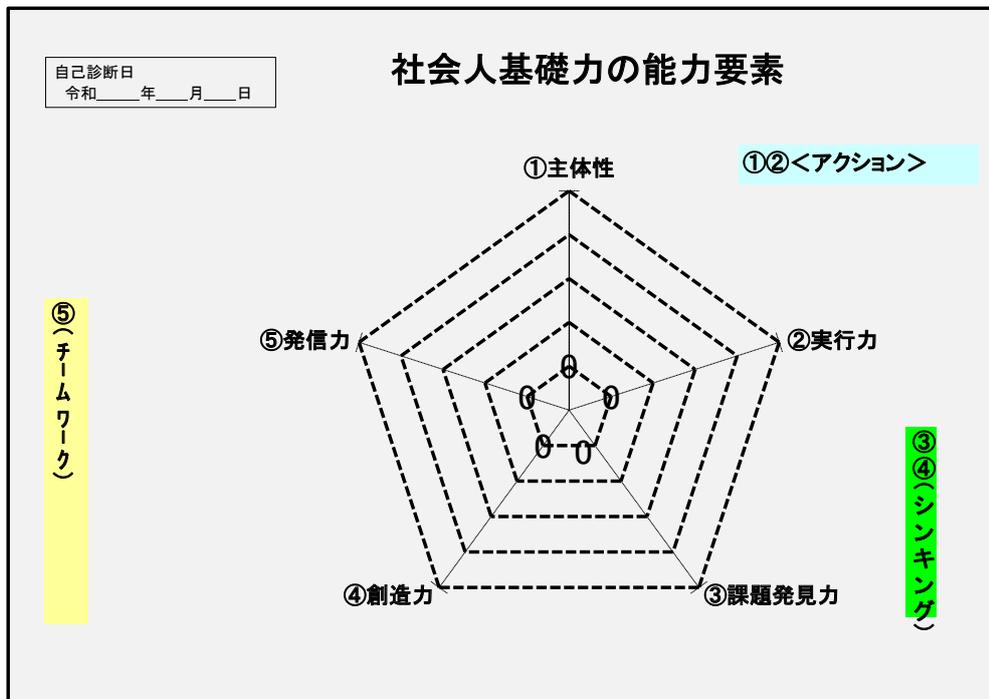
分類	能力要素	内 容	評価	自己評価
I 前に踏み出す力 (アクション)	① 主体性	物事に進んで取り込む力 例)指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り込む。	いつでも、積極的に取り込むことができる。	5
			積極的に取り込むことが、ややできる。	4
			内容によって、取り込むことができる。	3
			指示があれば、取り込むことができる。	2
			なかなか、取り込むことができない。	1
	② 実行力	目的を設定し確実に行動する力 例)言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り込む。	いつでも、自ら目標を設定し、確実にやりとげることができる。	5
自ら目標を設定し、がんばってやりとげることができる。			4	
内容によっては、やりとげることができる。			3	
言われたことを、目標を設定して行動することができる。			2	
言われたことを、目標を設定して行動することができない。			1	
II 考え抜く力 (シンキング)	③ 課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例)目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	いつでも、現状を分析し目的や課題を明らかにして明確に提案できる。	5
			現状を分析し、目的や課題を明らかにして提案できる。	4
			内容によっては、現状を分析し目的や課題を明らかにして提案できる。	3
			現状を分析し、目的や課題を明らかに出来るが、提案までできない。	2
			現状を分析、提案ができない。	1
	④ 創造力	新しい価値を生み出す力 例)既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	創造力がある	5
課題に対して、新しい解決方法を考えることができる			4	
内容によっては、新しい解決法を考えることができる。			3	
誰かと相談しながら、新しい解決法を考えることができる。			2	
新しい解決方法を考えるのは、苦手。			1	
III チームで働く力	⑤ 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力 例)自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	いつでも、自分の意見を相手に理解してもらい的確に伝えることができる。	5
			自分の意見を相手に理解してもらい伝えることができる。	4
			内容によっては、自分の意見を相手に理解して伝えることができる。	3
			自分の意見を相手に理解してもらえたか、確認しながらなら伝えることができる。	2
			自分の意見を相手に理解して伝えることができない。	1
			合計	

経済産業省「社会人基礎力に関する研究会」委員会中間報告より NPO法人「OCP総合研究所」が抜粋

## 社会人基礎力による能力要素<レーダーチャート>

★自己評価した点数を記入し、5角形になるように線でむすんでみよう！ さて、どんな5角形にたったかな？どの力が足りないだろうか？

次回の授業で自己分析をしてみよう！



## (1) 社会人基礎力調査より 5段階による自己評価の平均値 (n=74)

評価結果 (カッコ内は昨年の値)

	①課題発見力	②創造力	③発信力	④主体性	⑤実行力
学習前 (4月)	3.0 (3.0)	3.0 (2.9)	2.9 (2.9)	2.8 (3.2)	2.8 (3.1)
学習後 (1月)	4.1 (3.7)	3.8 (3.7)	3.9 (3.5)	3.9 (4.0)	3.8 (3.8)
上昇ポイント	1.1 (0.7)	0.8 (0.8)	1.0 (0.6)	1.1 (0.8)	1.0 (0.7)

## (2) 年間振りかえりアンケートより

1. 地域人教育のテーマは『交流を重視した地域連携学習 ～社会(地域)に対して当事者意識を発揮する～』でしたが、このテーマに対して、あなたの達成できたと思う事柄、達成できなかったと感じる事を書いてみましょう。

### 【達成できたこと】

- ・実際に羽場地区の中に入り、羽場地区出身ではなかった私でも羽場地区の魅力を発信するためや、課題を解決させるために、自分事として羽場地区のことを考えて一年間活動を行うことができました。今まで自分の住んでいる地域のことでも自分のこととして考えたことはあまりなく他人事として考えてきたことが多くありました。しかしこの課題研究を通して、地域の問題を他人事ではなく自分のこととして考えられる力を身に着けることができたと思います。
- ・この一年間で達成できたと思うことは、色々な人とコミュニケーションをとり、交流を深めることです。活動を始めた頃は、班のメンバーとのコミュニケーションが不十分で、自分の意見を持てなかったり、意見を言うのをためらってしまったりしていました。しかし、この一年の羽場地区班としての活動で、班のメンバーとの仲を深め、よりコミュニケーションを意識するようになりました。また、羽場について知っていくと共に、文化祭などのイベントでの地域の方との関わりも増え、ここでもコミュニケーションを多く取ることができ、交流を深めることができました。
- ・この地域人教育という長姫独自の教科である活動を通して、地域の課題を見つける発見力が身についたと思いました。でもその課題をどうやったら解決できるかを考えることがとても難しかったです。しかし、難しかったです、課題研究の班のみんなと一緒に協力し合いながら、助け合って乗り越えることができたので良かったです。
- ・私自身が住んでいる地区ではないけれど、一年間たくさんの方からお話をお聞きしたり、地域の伝統に触れ合ったりして、もし自分が住んでいたらどうしたいかなどを意識して活動することができました。自分が地域の方の立場だったらどうしていきたいかなど当事者意識をもって考えることができたと思います。数字などでのはっきりとした結果がわかる活動ではなかったけど、自分たちで1から何をしていきたいかを考えて活動してみて、課題を見つ解決したり、魅力を発信したりするのは大変で沢山の協力がないとできないというのを改めて感じました。
- ・生産量が激減している梅を広めたいと生産者さんと協力して自分たちで梅を広めるために当事者の方と同じ目線に立ち活動することができた。

- ・私が地域人教育を通して達成できたと思う事柄は、活動を始めた最初のときは、自分たちが食べるのが好き、自分たちが商品開発をしたい、という自分視点で考えていた点が、視野を広くして、協力してくれる方の立場にたってみたり、誰かのために何かをしたい！という思いが強くなったことだと思う。協力の交渉を行う際も、農家さんやお菓子屋さんの思いや、高校生に対する課題などもたくさん学ぶことができた。それぞれの課題を解決していくために意見を出し合っ、私達と協力してくれる方のお互いにいい気持ちになれるような案を考え出すことができたと感じる。
- ・座光寺の色々な企業さんであったり個人経営の方だったり協力し、自分たちがあれをしたいこれをしてほしいなどと述べるだけではなく、色々な方々からアドバイスをいただき自分たちで実践し、思い描いたことを実践に移せたことだと考えます。また座光寺以外の方とも協力することができた。
- ・自分たちの WIN だけを一方的に協力してくださった方々に押し付けるのではなく協力してくださった方々にも WIN が出るようにできたと感じている。
- ・協力して貫う立場として、企業側の視点に立ち、企業にとっても自分たちにとっても利益になるような提案ができたことだと思う。りんご飴の開発に当たって、りんごを提供していただくしろうた農園さん、飴加工をしていただくノエル洋菓子店さんとコラボの交渉を行う際も、それぞれの思いを聞きその問題の解決につながる提案をすることができた。
- ・丸山地区の方々とたくさん交流して、地区の課題について他人事ではなく、自分たちも丸山地区の一員になったつもりで改善策を一緒に考え行動することができた。
- ・課題研究を通して、お世話になった方がたくさんいたこと。特定の人だけでなく、目標に対して迷う中で、さまざまなことに挑戦してその中で関わった方がたくさんいたので、地域の方とたくさん交流できたのかなと思った。
- ・最初の段階では地域の方との交流が少なく空き家をどのように活用するのか、飯田をどうしたら活性化させることができるのかを考えていていました。しかし、研究内容が決まってくに連れて飯田市の小中学生に授業をし、一緒にカレンダーを制作したり丸山地区や橋南地区、上郷地区の文化祭で地域の人に販売することでたくさんの地域の人と交流をすることができました。

### 【達成できなかったこと】

- ・当事者意識を持つことです。最初は、実際に自分が住んでいるわけでは無いから自分にはあまり関係がない、という考えがどこかにあり、当事者意識を持つということがどういうことなのか、なかなか理解することができませんでした。しかし活動をしていく中で、地区の問題に対して、住んでいない自分でもできることがあるのだと知ることができました。そのため当事者意識を持つのに時間がかかってしまったと感じました。
- ・もっと地域の方と交流をし、地域の方の声を取り入れることができたなら良かったと感じている。
- ・地域の方との関わりは他の班と比べると少なかったなと感じました。
- ・班員の意見をしっかり聞くことを疎かにしてしまったことだと感じる。私はアイデアが思いついたらその方向性で先々のことまで周りになんの相談もせず結論のみを伝えてしまう場面が多くあった。そのため、自分の意見ばかりを取り上げていたと思うので、少し後悔が残ってしまった。
- ・地域の方々と交流して活動を進めていくことができたと思うけど、当事者意識があまり持てなかった

## 2. 「社会人基礎力の自己診断シート」を完成させ、その結果を見ながら、1年間の活動を振り返って、あなた自身が成長したこと、頑張ったこと、変わったことなどを具体的に書き出してみよう（書きにくい場合は、具体的な場面を挙げてみよう）。

- ・1年の活動を通して自分で考えて活動する力を身につけることができました。初めは地域の方と関わるのにも恥ずかしさや戸惑いがあったのですが何度も地域の中に入って活動をしていく中でこの地区の魅力を伝えるにはどうしたらいいのか、自分たちになにができるかを考え、自分ができることはなにかを考えてみんなと協力して動くことができるようになりました。
- ・成長したと感じるのは、自分の意見を持ち伝える力が身についた事です。1年間の活動を振り返ると、メンバーと話し合う機会が多くあったように感じます。なかでも地区の文化祭の話し合いをしているときに、前までは思いついても口に出せなかった意見を、自分から発言できるようになり、より良いイベントにすることができたと思います。
- ・一年生の頃は自分から課題を発見したりその課題に対してどう向き合ったらいいのかなど、全然わからなかったけど、三年生になってこの一年間を通してそこが成長できたと思いました。また、今まであまりかかわったことがなかった地域の方ともかかわることができて本当に良かったです。
- ・1年前は自分に自信がなかったのか、実行力や発信力に低い点数をつけていたが、1年後の今は課題研究を行っていくうちに自信が付き、すべて点数を上げることができた。
- ・私は話すのが好きだが、積極的に自分の意見を言ったり意見をまとめたりすることがとても苦手だった。だが、普段話さない人とも班がおなじになって、意見をどんどん言ってくれる、いのりさんやこゆきさんをみて、私もどんどん意見を言えたり自分から担当に立候補したり昔では考えられないくらい積極的になったと感じる。恥ずかしいという感情や課題研究に対して甘く見ていたところも真剣に考えるようになっておとなになったなど感じる。
- ・私は人の前で意見とか言えないし自分から行動することができなかったけど一年を通して発言したり自分で考えて行動することができるようになった
- ・はじめの頃は課題研究の授業を憂鬱に感じたり、自分が意見を出していかなければいけないというプレッシャーに駆られることがたくさんあった。なんの商品開発をするか、の話し合いの際も「りんご飴を作ろう」という意見を出したのも、どうすれば今後の話し合いや活動がスムーズに進むかを家で考えてきた上でみんなに伝えていたので、本当にこの活動に対して真剣に向き合っていたのではないかと思った。
- ・もともと人前で話すことを苦手としていたけれど、地域の人をはじめ、たくさん関わることで自分の意見を少しずつ話せるようになった。
- ・課題解決に向けてたくさんのアイデアを考えてきて、自分の考えを言葉にして伝えることが前よりもできるようになったと思う。参加者目線で考えることもできていたと思う。
- ・成長したことは、今まであまり大人の人と話したことがなかったが、今回の研究で、たくさんの企業の方、自治体の方と話し合う機会が、話すことができたこと。
- ・頑張ったことは、なるべく話し合いの時には、一人一人の意見を聞き、なるべくいろんな人の意見を採用できるようにしたこと。
- ・変わったことは、できるだけ周りを見ながら行動できるようになったこと。
- ・言われてからではなく自分から危機感を持って行動することができるようになった。
- ・私自身変わったことは、広い視野を持つことです。解決したい事柄に対して、高校生目線だけでなく、地元の方の目線・立場になって考えること、実際に地元の方の声を聞くことの大切さを再認識できました。

- ・地域を実際に見ていいところや「こうなってほしい」と思う所を発見するところが 初めのころとは比べ課題発見力が向上したと思う。
- ・発表会の原稿を作る時になかなか取りかかることが出来なかった時間があり、その時間を通していつまでも指示を待つのではなく、自らやるべきことを積極的に行うことが大切なんだと感じた。その日から自分で考えて行動するように意識した。
- ・私は自分が指示をだしたり進めたりするのがすごく苦手だったけど1年間リーダーをやったことによって自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができたと思う。また、自分たちで問題を解決するために課題を発見することができた。はじめはできないことが多くて自己診断ノートも低かったけど1年間活動をするので少し成長することができたと思う。
- ・私は自ら意見を出すのが苦手な初めの方は他の人に任せてしまっていたが、小学生に授業を行った時はスライドも原稿も小学生にわかりやすいように自分なりにまとめられたと思う。
- ・作業を分担する時に自分が今できそうなことを探して自分から取り組む事ができて良かったです。

### **3. 1年間の活動を振り返って、グループが成長したこと、頑張ったこと、変わったことなどを具体的に書き出してみよう（自分以外のメンバーがグループに貢献できたことも含めて書いてみましょう）。**

- ・全員が地区のことを考え自分が羽場地区のためになにができるか話し合い答えを出す力をつけることができたと思います。その証拠として幅広い地区の課題だけでなく少しでも自分たちの力だけに関わることができる問題を見つけ出し、それに対する活動を自分たちで計画し、考えて実行に移すことができました
- ・活動を始めたときは、消極的なメンバーが多く、話し合いや地域の方にお話を聞く場で、自分の意見を言い合ったり質問をしたりすることができないことが多くありました。しかし活動を通して、自分の意見やアイデアを言い合えるようになったり、メンバー同士のコミュニケーションも活発になり、より良い活動をする事ができたと思います。
- ・最初は自分の意見を持っていたとしても気を使って言わないことがあったりしたけど、課題研究の班がいい方向に向かうためにみんながそれぞれ感じたことやアイデアを言うようになってよかったですと思いました。
- ・先生や主事さんがいない日が多くありましたが、それがあったからこそ自分たちだけで今できることを見つけて取り組むということができたのではないかと感じています。
- ・最初は話したことがない人もいたし、話し合いってなっても意見が出なかった。でも協力していくうちにだんだん得意なものとかもわかってきて一人ひとりが頑張っていたので良かったです。いまではみんなが意見が出せるし、とても成長したと思う。
- ・仲良しの子とずっといるのは駄目だとわかっていたので、話したことがない人にも私から積極的に話しかけたり楽しい話ができすぎてすごく仲良くなれた。
- ・最初の方の活動ではみんな消極的で自分が前に立つことが多かったけど、二学期あたりからみんな積極的に活動するようになってきて、嬉しかったです。
- ・最初はまとまりとかもなかったけど座光寺の課題解決に向けて8人全員で活動していくうちに自分たちのできることを分担してやってみんなの個性が生きる活動ができました。

- ・この活動を始めた頃は他の人の様子を見ながら行動していたが皆自分から活動を行うようになっていた。
- ・私たち8人は教室でも仲はいいけど深くは関わったことのない関係性だったので、一年間親密に活動を行っていけるかという心配もあった。確かにはじめは少しぎこちなく、話し合いの中でも発言する人が特定の人になってしまったり、誰がまとめていくかもはっきりとしていなかったため、沈黙になってしまう時間もあった。しかし、話し合いの回数を重ねていく中で、一人ひとりが自分の意見を言えるようになっていった。更に、お互いの特性がわかってきたこともあり、分担して作業を行う際も、個々の能力に適した仕事をしてもらうことにより作業効率も上がった。そのためりんご飴の試作や座光寺地区運動会、丘のまちフェスティバルなどの行事ではそれぞれが活躍することができたと感じた。
- ・他の班の発表を見たことで自分たちの反省点に気付かされた。他の班は地域の「問題点」に対して向き合っていたが、座光寺班の一年間の活動内容は「地域の特産品をPRする」というところに重点を置きすぎてしまい、問題を解決するというより、元からあった座光寺の魅力を更に広めていく形になった。そのため、魅力を広めることはできたが、地域の方々を巻き込んで活動をするのではなく、自分たちで少し突っ走りすぎてしまったのではないかと感じた。最初から最後まで、座光寺地区の住民の方ともっと関わりを持ち、形に残る活動をしていければよかったと感じた。
- ・4月のときは、決められていたのは班のみで、研究する地区も研究内容も自分たちで全て探求していくことに対して、今後の一年間の展望の想像が全くわかなかった。そのため、この授業に対する熱量は、それなりに上手く行けばいいなというぐらいの気持ちだった。しかし、課題研究発表会を終え、気づいたら一瞬で終わってしまったことに気づいた。自分がここまでこの授業に真剣に取り組めると思っていなくて、自分の気持ちの変化にも驚いた。これらのことから、自分を変えてくれたこの授業に対する満足度は満点だと感じた。
- ・一人ひとりが自分の意見を持つことです。初めは、リーダーが言ったことに賛成ばかりしていた私たちも、いつの間にか、話し合いの場でプラスになるような意見が出るが増えました。たしかに、指名しなければなかなか意見が出ないこともありますが、指名した先に自分の意見を持っているということは大きな成長だと思います。
- ・初めは話し合いの際になかなか率先して進めたり、意見を出したりが上手くできなかったけれど、一緒に活動をし、コミュニケーションをとっていくうちに話し合いがしやすい雰囲気になっていったのではないかなと思います。
- ・カレンダーの販売活動として色々な地区の文化祭や行事で販売を行う中で、最初はなかなか積極的に声掛けができなかったけど、だんだん自分たちが売らないといけないんだという思いで校内販売など、積極的に売ることができたので良かった。

#### **4. 1年間の活動を振り返って、困ったことや苦労したことを教えてください（書きにくい場合は、具体的な場面をあげてみよう）。また、そのときにどのように対応したのかも教えてください。**

- ・地区内に古くからあるきねやさんという和菓子屋さんが閉店してしまうことになって、きねやさんで作られていた野点の際に用いられるお饅頭を私達と地区の他の和菓子屋さんで引き継ぎ、続けていこうとしましたが、きねやさんの技術を他の和菓子屋さんで再現するのが難しいことやきねやさんの後継者問題などにわたしたちが口を挟むのも簡単なことではなく、現実で

はなかったため断念しました。問題点の有力候補だったため、次にどのような課題を見つければいいか困ってしまいました。

- ・公民館長さんや地域の方のお話を聞いて、地区のことを知っていくほど、人口減少などの大きな問題ばかりに目が行き、高校生の私達はどんなことをすればいいのか分からなくなってしまい、“課題の解決”に向けてどんな行動をすればいいか行き詰まってしまいました。しかし主事さんに文化祭のお話を聞いて、大きな問題を解決するのではなく、今住んでいる若い世代の地区の行事の参加率を上げ、より好きになってもらうことが大切だと気づくことができました。
- ・発表の原稿を聞いて協力してくださった農家さんが、「りんご飴に合うりんご選びに結構苦戦したからそれに少しは触れてほしかった」といっていたので後輩のみんなにはあとから気づく前に大事なことを伝え忘れないようにしてほしい。発表のときのスライドに使う写真が全然取れていなかったことも後悔した。すごく可愛いポスターや看板を作ったのに写真を取っていなくてみんなに見せれなかったので後輩のみんなは写真や資料をちゃんととっておいた方がいいと思った。
- ・活動が始まって最初のうちは、みんな控えめだったため地区の方に質問をする時や、パン屋さんへ交渉に伺うとき、話し合いをする時に積極的に出ていける人が少なく、スムーズに進まないときがあった。しかし、困った時に〇〇が先人を切って前に出てくれたおかげで、みんなも少しずつ意見が出せるようになった。
- ・いくつかの企業と連携してやっていたから、スマートグラスでどこまでできるのかっていうのを共有しながらで難しかったし、大人とたくさんかわる機会があって接し方とか言葉遣いとかが慣れるまで難しかった。
- ・企業との話し合いの際に、自分たちで考えていった内容が思った以上にできないことがわかって、考え直すのが大変だった。企業の方といろいろ話をして条件の中でもできることを考えた。
- ・定まったテーマがなくて何をしたら良いかわからなかった。

## 5. 1年間の活動を振り返って、今だからこそわかる、反省事項と改善案（あれば）を教えてください（自分自身のことでも、グループ活動のことでも構いません）。また後輩への引継ぎも含めて、気を付けておくべきことを書いてください。

- ・後半の方になって焦って問題を考えてしまったり、どんなことに関わっていけばいいのかわからないままだった期間が長かったため、前半のフィールドワークの時間から地区の魅力だけではなく些細なことでも自分なりに課題点などを見つけておけばよかったと思いました。
- ・地域の大きな問題を完璧に解決しようとして、高い目標を設定するのではなく、今自分ができる最大限の行動をすることが大切なのだとわかりました。高校生が地域のために取り組む姿勢が大切だと感じた。
- ・この活動を通して、子供とのかかわりは私にとっては難しいものだと気づきました。何を話したらいいのかとか、いろいろわからなくて、なので、これからは、どうやって会話を広げたらいいのかとか、何を楽しく遊べるのか考えて行動したいと思いました。
- ・周りを気にせずもっと意見を出して話し合いに参加すればよかった。
- ・自分の意見を言う機会が結構多かったのにも関わらず、自分自身が消極的になってしまい発言することができなかったことが一番の反省点だと思った。もう少し積極的な姿勢で臨むことができていたら、自分はずっと大きく成長できたと思っている。

- ・誰か数人ががんばるのではなくみんなで一緒にがんばるために、グループ内でもっと情報共有しておくことが必要だった。
- ・最初、休みの日にも活動があると聞いて「ええ」と思ったこともあったけど、課題研究発表会でまとめを作るときに、この1年たくさん活動してきたおかげでかけることがたくさんあり、「よかった」と思ったので、活動したことは何も無駄にならなかった。
- ・テーマ設定したり何をしようか話し合うときに、気を遣ったりせずなんでも興味のあることやってみたいことをたくさん挙げるのがいいと思います。
- ・何のためにその課題解決をするのかの目標を明確にして活動に取り組む必要があると思う。
- ・一年の活動を振り返って、自分視点からみた課題点と活動で関わった方々から見える課題点は全然違うことに気が付きました。そのため自分たちが気が付かない課題点にも対応するためにしっかりとアンケートをとることが大事だと思いました。
- ・依頼をしに行くのが遅くなってしまい活動時間がなく、断念することになってしまったものもあったため、早い段階から商品案を考えたり、どこへ依頼するのかを決めていくべきだった。
- ・ちゃんと考えてなくて後々困ってしまうということがあったからもっと考えをまとめて、そのあともどうするかを考えて行動に移していかなければならないと思った
- ・自分の中で計画的に作業ができなかったのでいろんな物事に対し、まず全体を見てから計画を立てることが大事だと思った。

**6. この授業に対する、年度初めの期待感と現在の満足度を教えてください（1が最小、10が最大）。また、その満足度の理由（1年間の感想）を教えてください。**

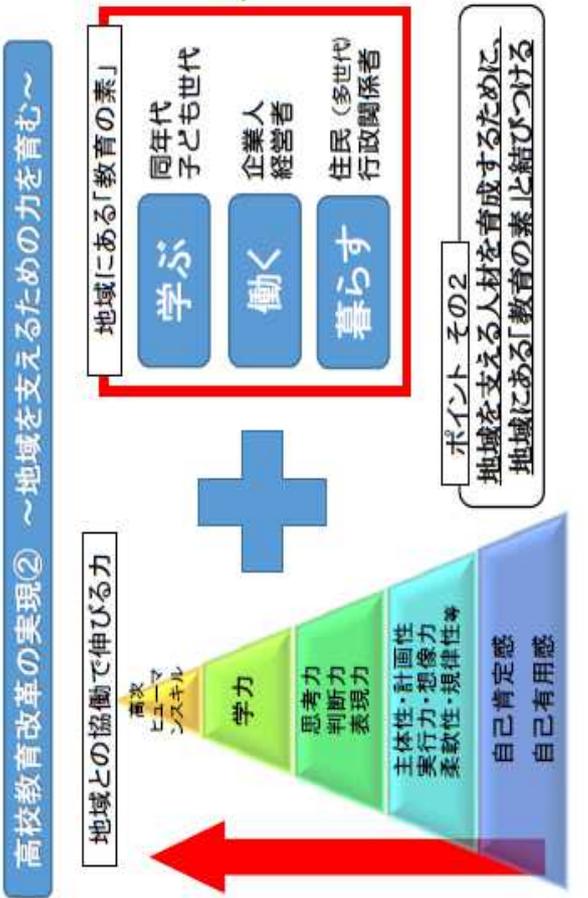
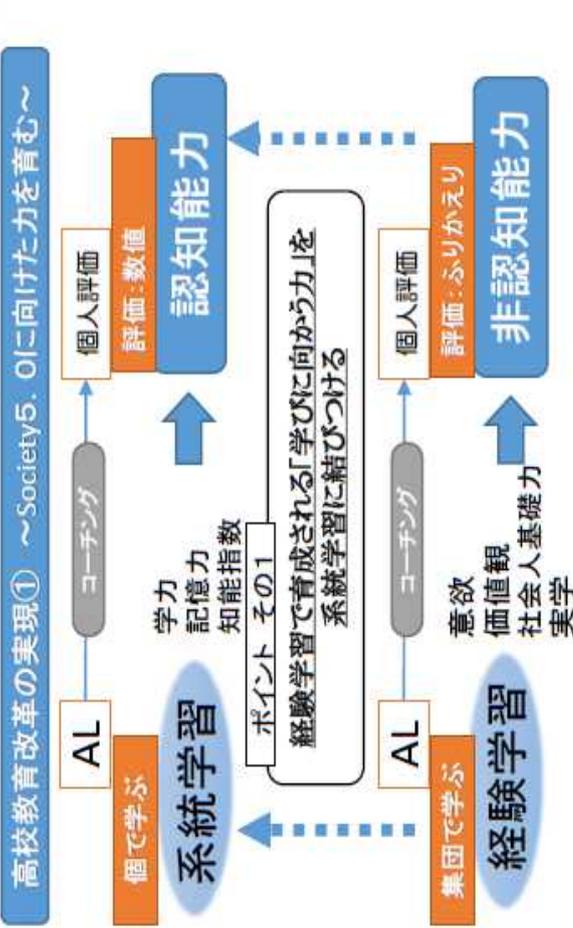
- ・初めは先輩たちのように自分たちの目的を決め、さらに自分たちのやったことをうまくまとめられるかなど心配が多かったのですが、班のメンバーで協力し、心配していたことも乗り切ることができ、地区の方からも私達の活動に対してプラスの声を聞かせていただけることも多かったため、この活動をしてよかったなという達成感を感じたからです。1年間地域の方と関わるこの授業を通して、普段の学校の中で行っている授業では学ぶことのできない問題解決力や地域について考えを深めることなど貴重な学びをすることができました。この学びを就職して社会人になってから活かしていきたいと思います。
- ・授業時間外の活動が多くて嫌になることも多かった分がんばったから達成感はめっちゃある。
- ・やる前はどんな授業なのか全くわからなかったので若干不安だった。終わってからは、経験した事を振り返ってみると良い経験だったと思う。一番影響を与えたのが最後の丘フェスで、販売を公共の場でできたのがすごい新鮮で良かったし、今までやってきたことの集大成だったし、何より楽しかった。
- ・とても楽しく時間があっという間に過ぎていきました。また実際に地域に出て地域の方と交流ができ、色んな経験ができて大満足だった。地域の方はみんな温かくて優しい方ばかりだった。最高の時間を過ごすことができた。またこの経験を、今後の人生にも活かしていきたい。
- ・始まる前や始まってすぐの頃は、期待というよりも、沢山の人のことに対する不安が大きかったが、地区のメンバーや地域の方々の優しさもあって、少しずつ楽しみながら活動することができた。今では、地域にでてたくさんの人と出会えて、初めて知ることも多く新鮮で、この活動ができて良かったと思う。まだ人と関わることに苦手意識が残っているけど、食の大切さや出会うことの楽しさなどたくさんのことを学べて少しでも自分が成長できたと感じることができた。

- ・課題研究は思ったより大変でうまくいかないことや自分たちの力じゃどうすることもできないこともあったけど高校生にしかできないことで地域の課題を解決することができたと思う。1年間楽しかったし課題研究をしたくて長姫に入学したから活動自体できてよかった。
- ・はじめは空き家について何も知らない状態で始まり、どうなるかすごく不安だったけど一年間活動することで空き家に対しての知識が増えどのようにしたら空き家問題が減っていくのか考えることができた。カレンダーは毎日目につくため私達が作ったカレンダーをきっかけに少しでも多くの人が空き家について考えてくれると嬉しいと思った。高校生だけでは空き家をどうにかすることは難しかったためできなかったことがあったけど自分たちらしく活動することができてよかった。
- ・私は、地域人教育がやりたくて商業科に入ったのもあったので、初めはとても楽しみで期待で溢れていて、いざやってみると上手くいかないことも多くあり、最終的に検証までは行うことができなかったから。けれど、とても充実した活動が行うことができて満足しています。
- ・思っていた以上に地域の人との交流が多く、課題発見から解決までのイベントやフィールドワークでいろんな人と交流できて充実感があつた。
- ・最初は高校生なんかが地域の課題を解決できるのかと不安だったが、そうではなく高校生だからこそそのアイデアが地域には必要だということが分かった。また、高校生は勉強だけが本業かと思っていたが、地域人教育を通し、地域を知り地域に貢献することの大切さに気付かされた。

## 7 自由記述欄

- ・休日に行われる行事、活動への強制参加は受験生である三年生としてはあまり肯定的に考えられません。仕方のないことではありますが、授業の一環として行うのであれば各班休日に活動する日数を定めるなどの公平性を保つことが必要だと考えます。生徒の視点からだけでなく先生方も休日の活動には給料が発生していないと思うのでその線引きは確実に必要なことであると考えます。
- ・羽場地区出身のメンバーがいないことで不安を抱いていたこと、地区について何があるのか全く知らなかったので大きくひかれなかったため期待感は低かったです。結果として、一年間自分たちが行ってきた活動にはとても満足しているものの、課題研究の活動の限界や高校生という自分たちの立場上の限界を感じるなどが多々あり、最大評価とまではいかないと感じています。
- ・この活動を通して自分自身すごく成長した。相手の立場になって考えることや、人任せにせず積極的になることなど、今まで気が付かなかった自分の弱点にも気づくことができた。
- ・自分の意見を伝えることが苦手なため、グループ内ではみんなのサポートにまわるが多かったけど、自分なりにできることを見つけてグループに貢献することができていたら嬉しいです。

# 地域と協働した学びを実現させるために ～「地域人教育」の基礎概念～



# 地域人教育ポスター

<飯田市 天竜舟下り 編>



<阿智村 昼神温泉 朝市 編>



# 飯田OIDE長姫高等学校

## 「地域人教育」活動報告集

【ダウンロード版】

閲覧には Google ドライブ のインストールが必要な場合があります。

PDFが閲覧できるパソコンおよびタブレット、スマートフォンでご覧ください。

<p><b>平成28年度</b></p> <p>2017年2月24日 発行</p> <p>170 ページ</p> <p>36.3MB</p>  <p>パスワード : Akiya2016</p>	<p><b>平成29年度</b></p> <p>2018年2月22日 発行</p> <p>164 ページ</p> <p>34.0MB</p>  <p>パスワード : Mizuhiki2017</p>	<p><b>平成30年度</b></p> <p>2019年2月28日 発行</p> <p>180 ページ</p> <p>40.4MB</p>  <p>パスワード : Akamon2018</p>
<p><b>令和元年度</b></p> <p>2020年2月28日 発行</p> <p>90 ページ</p> <p>11.1MB</p>  <p>パスワード : Curry2019</p>	<p><b>令和2年度</b></p> <p>2021年3月1日 発行</p> <p>146 ページ</p> <p>56.3MB</p>  <p>パスワード : Chikadou2020</p>	<p><b>令和3年度</b></p> <p>2022年3月2日 発行</p> <p>160 ページ</p> <p>40.4MB</p>  <p>パスワード : Zenkoku2021</p>
<p><b>令和4年度</b></p> <p>2023年2月21日 発行</p> <p>132 ページ</p> <p>57.2 MB</p>  <p>パスワード : Dango2022</p>		

## 令和5年度 地域人教育 推進委員

### [松本大学]

---

白戸 洋 (松本大学総合経営学部)  
大野 整 (松本大学地域づくり考房『ゆめ』)  
倉田 吉春 (松本大学地域づくり考房『ゆめ』)

### [飯田市役所]

---

上沼 昭彦 (飯田市公民館)  
西 しのぶ (飯田市公民館)  
三ツ井 洋樹 (飯田市公民館)  
宮田 浩司 (羽場公民館)  
山口 真奈 (丸山公民館)  
平田 玖留実 (龍江公民館)  
竹村 郁哉 (座光寺公民館)  
林 亮介 (上郷公民館)  
吉川 隆志 (鼎公民館)

### [飯田O I D E長姫高校]

---

松原 均  
吉村 恭弘  
國松 秋穂  
越 康恵  
坂下 満智子  
白木 日菜  
竹内 悠生  
林 秀孝  
原 真由美  
二木 麻友  
武藤 悠子  
山田 将晶

(生徒)

1年生: 80名 2年生: 76名 3年生: 72名

令和5年度  
飯田OIDE長姫高等学校

## 地域人教育 活動報告集

発行日 令和6年2月29日  
編集・発行 長野県飯田OIDE長姫高等学校 商業科  
〒395-0804  
長野県飯田市鼎名古熊 2535-2  
TEL 0265-22-7117(代)  
FAX 0265-53-4995  
印刷 龍共印刷株式会社 150部